

平成 25 年版

# 消 防 年 報



厚 木 市 消 防 本 部

# はじめに

この年報は、平成 24 年度（一部 24 年）中における厚木市消防の消防概要を収録したもので、消防防災行政を広く紹介することを目的に編集しました。本書を地域防災活動の推進の参考として御活用いただき、消防行政に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 8 月

厚木市消防本部

# 目 次

## 【市と消防の概要】

### 厚木市の市勢

1 位置及び地勢	1
2 面積・人口・世帯数	2
3 人口の推移	2

### 消防の概要

1 常備消防のあゆみ	3
2 消防現勢（常備）	10
(1) 消防本部・署（分署）配置図	10
(2) 常備消防力の基準	10
(3) 消防庁舎概要	11
(4) 消防の機構図	12
(5) 消防職員配置状況	13
(6) 本部・署車両配置状況	14
(7) 消防車両種類別内訳	16
3 消防予算	17
(1) 消防費前年度比較	17
(2) 消防費財源内訳	17
(3) 年度別市当初予算と消防費の比較	17
(4) 消防費と人口の比較	17

## 【総 務】

### 消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調	18
2 消防職員階級別年齢調	19
3 消防職員免許等取得状況	20
4 消防職員採用・退職状況	21
5 消防職員年度別公務災害発生状況	21
6 人事事務	22
7 衛生管理	22
8 表彰	22
9 教育・研修	23
(1) 派遣研修	23
(2) 教養研修会等	23
(3) 現地教養訓練	23

## 消防施設

1	施設整備	24
2	水利状況	25
(1)	地区別消防水利設置状況	25
(2)	耐震性貯水槽の設置状況	26

## 消防車両

1	消防車両更新状況	27
2	消防車両整備の概要	27

## 【火災予防】

1	火災予防運動	28
(1)	秋季火災予防運動	28
(2)	春季火災予防運動	28
2	防火管理講習	29
(1)	防火管理講習の実施状況	29
(2)	年度別防火管理講習修了証交付状況	29
3	防火管理者等調	30
4	消防法・火災予防条例に基づく届出処理状況	31
5	防火対象物定期点検報告制度	31
6	幼稚園児、小学生の消防署見学の推移	32
7	雑草地の指導	33
8	初期消火協力の推進	33
9	消防同意事務等	34
(1)	過去10年間の同意件数	34
(2)	月別同意件数	34
(3)	地区別及び用途別同意件数	35
10	防火対象物状況	36
11	高層建築物の状況	37
(1)	高層建築物	37
(2)	主な高層建築物	37
(3)	地区別・中高層建築物数	38
12	消防用設備等着工・設置届出状況	38
13	立入検査実施状況	39
14	予防広報映画フィルム所有一覧	39
15	危険物施設	41
(1)	危険物	41
(2)	本市の状況	41
(3)	過去10年間の危険物施設の推移	41
16	地区別危険物施設	42

17	危険物施設等立入検査状況	42
18	危険物施設の事務処理状況	43
19	少量危険物届出状況	43
20	危険物手数料	44
	(1) 手数料納入額	44
	(2) 過去 10 年間の危険物手数料の推移	44

## 【警 防】

### 火災の概要

1	火災種別死傷者発生調	45
2	火災概況調	45
3	過去 10 年間の火災件数	46
4	主要火災原因年別累年比較調	46
5	損害見積額累年比較調	47
6	全国・県・市火災発生状況調	47
7-1	月別・曜日別火災発生状況(その1)	48
7-2	月別・曜日別火災発生状況(その2)	49
8-1	時刻別火災発生状況(その1)	50
8-2	時刻別火災発生状況(その2)	51
9	月別原因別火災発生状況	52
10-1	原因別火災発生状況(その1)	53
10-2	原因別火災発生状況(その2)	54
11	月別用途別火災発生状況	55
12-1	地区別火災発生状況(その1)	56
12-2	地区別火災発生状況(その2)	57
13	月別覚知別火災発生状況	58
14	月別気象別火災発生状況	59
15	曜日別累年火災発生件数調	60
16	月別火災件数の比較調	60
17	風向と火災件数	61
18	消防相互応援件数(火災)	61
19	昭和 35 年以降の主な火災	62

### 指令・通信の概要

1	通信業務	63
	(1) 119 番受信状況	63
	(2) 月別 119 番受信状況	63
	(3) 119 番受信状況の推移	63
	(4) 指令係各種機器の現況	63
2	消防通信系統図	65

## 気 象

1 厚木市の気象状況	66
(1) 天候	66
(2) 気温	66
(3) 相対湿度	66
(4) 風向・風速	66
2 気象通報発令状況調	67
3 累年降雨量調	68

## 消防署部隊の出動・訓練概要

1 月別部隊出動状況	69
2 月別部隊訓練状況	69

## 【救 急】

### 救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制	70
2 応急手当普及啓発活動	70

### 救急活動

1 救急活動の概要	71
2 救急活動累年比較調	72
3 月別救急活動調	73
4 署所別救急活動調	74
5 月別覚知別救急件数調	75
6 曜日別救急件数調	75
7 年齢別搬送人員調	76
8 傷病程度別搬送人員調	76
9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調	77
10 救急隊員の行った応急処置件数調	77
11 一般市民の行った応急手当件数調	77
12 発生地区別救急件数調	78
13 時間別救急件数調	79
14 救急相互応援件数	79
15 救急支援出動件数	80

## 【救 助】

### 救助活動の概要

1 救助出動状況調	81
-----------	----

(1) 救助出動件数	81
(2) 地区別救助出動件数	81
(3) 消防相互応援件数(救助)	82
(4) 救助出動の推移	82
(5) 主な人命救助活動	83
2 救助技術の強化	83
3 救助関係主要機械器具等一覧表	84

## 【消防団と古式消防保存会】

### 消防団

1 厚木市消防団のあゆみ	85
2 消防団事務	89
(1) 公務災害補償	89
(2) 退職消防団員に対する報償	89
(3) 表彰	89
(4) 消防団員教養訓練等	89
3 福利厚生	90
(1) 消防団員健康診断	90
4 消防操法	90
5 消防団組織と現勢	91
6 消防団施設配置図	92
7 産業別消防団員調	93
8 消防団員退職状況	93
9 退職報償金年度別及び階級別支払状況	94
10 階級別年齢調	94
11 階級別勤務年数調	95
12 消防団員年度別公務災害発生状況	95
13 消防団員報酬	96
14 消防団員費用弁償	96
15 消防団出動状況	96
16 消防団施設一覧表	97
17 消防団車両保有状況	100
18 水防・資材倉庫施設一覧表	102

### 古式消防保存会

1 古式消防保存会のあゆみ	103
2 組織図	103

# 市と消防の概要



# 厚木市の市勢

## 1 位置及び地勢

方位	経度	地名	方位	緯度	地名
極東	東経 139° 22 57	下依知	極北	北緯 35° 31 30	上依知
極西	東経 139° 13 54	七沢	極南	北緯 35° 23 30	戸田

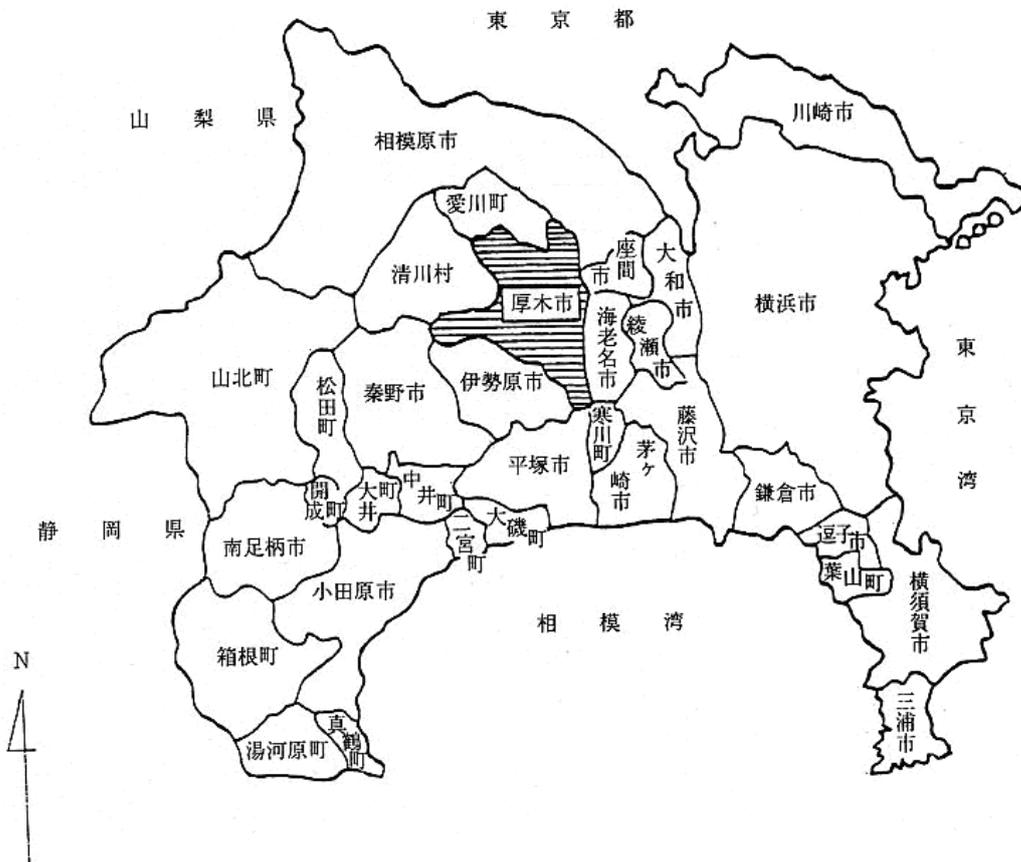
厚木市は、神奈川県中央に位置し、西に大山を境に秦野市、西から北にかけて愛甲郡清川村、愛川町に、北から東にかけては相模川をはさみ相模原市、座間市、海老名市、高座郡寒川町に、また南は平塚市、伊勢原市と6市2町1村に接している。

地勢は、西北から東南に緩やかに傾斜し、西部及び西北部は山岳地帯で数系の小山脈が南北に走っている。ことに西部においては霊峰阿夫利の峰大山がそびえ、丹沢山塊へ無限に連なっている。

市の東部は、遠く富士五湖の一つである山中湖に源を発する相模川の清流が南北に貫通し、これに併流する中津川、そして小鮎川、これら河川の流域に平野が開けている。

東西 13.76 キロメートル、南北 14.71 キロメートルの扇形に近い地形で、面積 93.83 平方キロメートルを有している。

市街地は、三河川の合流点の右岸に位置し、文化、産業、交通の要衝で東京へ 46 キロメートル、横浜へ 32 キロメートルという地理的条件に恵まれている。



## 2 面積・人口・世帯数

(平成25年4月1日現在)

区分 地区別	面積 (km <sup>2</sup> )	人 口			世帯数 (世帯)	1 km <sup>2</sup> の密度	
		計(人)	男(人)	女(人)		世帯数(世帯)	人口(人)
計	93.83	224,624	116,000	108,624	97,311	1,037	2,394
厚 木	3.597	31,829	16,396	15,433	16,006	4,450	8,849
依 知	13.952	31,465	16,613	14,852	13,573	973	2,255
睦 合	10.195	41,735	21,440	20,295	17,653	1,732	4,094
荻 野	17.276	26,925	13,714	13,211	10,864	629	1,559
小 鮎	13.376	14,980	7,715	7,265	6,166	461	1,120
南毛利	10.377	49,206	25,520	23,686	21,156	2,039	4,742
玉 川	18.223	10,624	5,266	5,358	3,968	218	583
相 川	6.316	14,003	7,398	6,605	6,084	963	2,217
緑ヶ丘	0.518	3,857	1,938	1,919	1,841	3,554	7,446

(住民基本台帳人口)

## 3 人口の推移

(各年4月1日現在)

年 別	世帯数	人 口		
		総 数	男	女
16	88,406	221,265	115,058	106,207
17	90,098	222,764	115,808	106,956
18	90,028	222,826	116,401	106,425
19	91,183	223,530	116,756	106,774
20	93,056	225,213	117,818	107,395
21	94,446	226,077	118,267	107,810
22	94,534	225,242	117,603	107,639
23	92,676	223,966	116,542	107,424
24	93,513	224,038	116,534	107,504
25	94,366	224,415	116,666	107,749

(平成22年国勢調査速報値を基準人口とした推計人口)

## 消防の概要

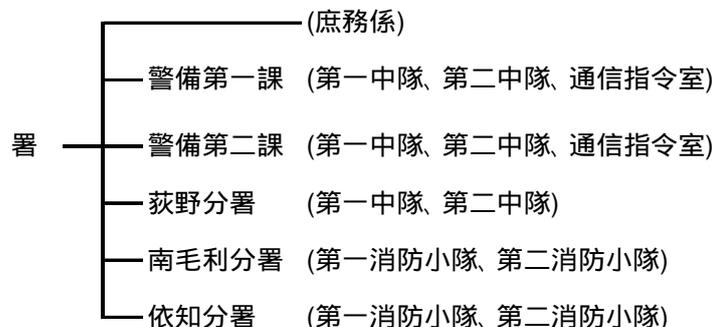
### 1 常備消防のあゆみ

昭和35年1月14日午後9時35分ごろ、中央商店街の料亭「未広」から出火した火災で8棟を全半焼(6世帯)し、繁華街で、国道に面した現場は、交通がマヒし大混乱となった。

この火災を契機として、常備消防設置の気運が一層高まり、同年3月25日「厚木市消防審議会」が設置され、同年8月の臨時市議会で部課設置条例を改正し「総務課消防係」を「消防課」に昇格、新規採用12名の消防職員を県消防学校に派遣し、卒業を待って、同年12月1日消防常備隊が発足した。

昭和35. 12. 1	水槽付消防ポンプ自動車1台を購入し消防職員19名をもって消防常備隊発足
昭和36. 6. 2	横浜市在住 福住喜代治氏から救急自動車1台寄贈される
昭和36. 6. 3	救急業務開始
昭和37. 1. 24	親子型消防ポンプ自動車1台購入
昭和37. 8. 6	指令車1台購入
昭和37. 10. 26	消防用中短波無線機(基地局1基 移動局5基2120KC)設置
昭和37. 11. 1	中型消防ポンプ自動車1台購入
昭和38. 4. 1	消防本部及び消防署設置 初代消防長 石川正治 就任 (1)組 織 署長以下42名 (2)設 備 水槽付消防ポンプ自動車1台 親子型消防ポンプ自動車1台 中型消防ポンプ自動車1台 救急自動車1台 (3)場 所 厚木市元町9-3
昭和39. 6. 10	救急自動車1台購入
昭和40. 6. 30	救助自動車1台購入
昭和40. 7. 10	特命救助隊編成(消防士長2名 消防士10名)
昭和41. 4. 1	第2代消防長 小林文雄 就任
昭和41. 8. 10	消防用超短波無線電話機(152.81MC)基地局1基 移動局13基に切替える
昭和41. 10. 1	厚木市消防署吹奏楽部発足
昭和41. 10. 29	水槽付消防ポンプ自動車1台購入
昭和43. 2. 20	救急自動車1台購入
昭和43. 4. 1	厚木市消防音楽隊発足 隊員以下19名
昭和43. 5. 20	庁用車1台購入
昭和45. 11. 24	広報車1台購入
昭和46. 4. 1	消防副士長制度採用
昭和46. 12. 27	指令車1台購入
昭和47. 2. 26	化学消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 3. 31	親子式消防ポンプ自動車1台購入
昭和47. 6. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を107名に改定
昭和47. 7. 1	厚木市消防庁舎落成 厚木市消防署の組織改革により第1警備隊、第2警備隊を設置 郵政省令の改正に基づき消防狭帯化(150.07MC)基地局1基、移動局13基に切替える

昭和47. 11. 4	はしご付消防ポンプ自動車（24m級）1台購入
昭和48. 3. 30	作業車1台購入
昭和48. 10. 5	第3代消防長 高崎正男 就任
昭和48. 11. 16	連絡車1台購入
昭和49. 1. 22	消防専用超短波無線電話機（救急波腹信方式147.76MHz）基地局1基、移動局3基設置
昭和49. 4. 1	消防本部機構改革に伴い課制を施行し警防課に危険物係を設置 ・庶務課(庶務係、装備係)・警防課(予防係、警防係、危険物係)
昭和50. 1. 7	消防ポンプ自動車1台購入
昭和50. 2. 7	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車1台寄贈される
昭和50. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を109名に改定
昭和51. 3. 31	日本損害保険協会から救急車1台寄贈される
昭和51. 11. 20	厚木市消防音楽隊の組織改革により、厚木市消防音楽隊の定数を28名に改定 隊長1名 副隊長2名 楽長1名 隊員24名
昭和51. 12. 22	指揮車1台購入
昭和52. 4. 1	厚木市消防署荻野分署設置 消防隊、救急隊を配置
昭和53. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を123名に改定
昭和53. 12. 19	消防ポンプ自動車1台購入
昭和54. 4. 1	第4代消防長 柳谷由雄 就任 厚木市消防署南毛利分署設置
昭和54. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を133名に改定
昭和54. 12. 1	厚木市消防音楽隊再編成 隊員11名
昭和54. 12. 13	消防ポンプ自動車1台購入
昭和55. 3. 17	救急自動車1台購入
昭和55. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を137名に改定 厚木市消防署依知分署設置 消防本部署機構改革 消防本部 総務課(管理係、装備係) 警防課(予防係、警防係、危険物係)



昭和55. 7. 1	清川村の救急業務実施(応援協定に基づくもの)
昭和55. 11. 23	常備消防発足20周年式典を厚木一番街空地において実施
昭和56. 3. 27	指令車 1 台購入
昭和56. 4. 1	第 5 代消防長 原川久雄 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を145名に改定
昭和56. 7. 1	第 6 代消防長 飯塚和生 就任 消防本部機構改革により地震対策室を設置する 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を161名に改定
昭和56. 9. 29	救急自動車 1 台購入
昭和56. 10. 1	厚木市消防署南毛利分署に救急隊を配置、救急業務を開始
昭和57. 4. 1	消防ポンプ自動車 1 台購入 厚木市消防署相川分署設置 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を166名に改定
昭和58. 3. 7	はしご付消防自動車(41m級) 1 台購入
昭和58. 4. 1	第 7 代消防長 村上勝 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を182名に改定 消防署機構改革 荻野分署に梯子小隊を配置し、署員を25名とする 消防テレホンサービス業務開始
昭和58. 6. 10	消防用気象観測装置 FWS-7910ED 設置
昭和59. 4. 1	厚木市消防署小鮎分署設置 消防署庶務係に査察担当(2名)配置 市機構改革により地震対策室を防災対策室と名称を変更し市長部局に組み入れる
昭和59. 7. 28	資材運搬車 1 台購入
昭和59. 12. 15	照明付救助工作車 1 台購入 火災救急指令検索装置 1 台購入
昭和60. 3. 10	119番録音装置 1 台購入
昭和60. 4. 1	消防本部警防課に査察係を設置
昭和60. 12. 3	軽作業トラック 1 台購入
昭和61. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を186名に改定
昭和61. 7. 1	第 8 代消防長 高橋卯平 就任
昭和62. 2. 13	通信指令室を 3 階に移転すると共に、電子式一斉指令装置を導入して指令体制の充実を図り、本署、各分署にファクシミリを設置する
昭和62. 2. 18	救急車 1 台購入
昭和62. 2. 20	広報用としてミニ消防自動車 1 台購入
昭和62. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から竿頭綬を受賞
昭和62. 4. 1	消防本部の機構改革に伴い予防課を設置すると共に、署指令室を指令係に名称を変更し、本部警防課に組み入れ本部を 3 課 8 係とする また、依知分署に救急隊を配置、救急業務を開始

昭和62. 7. 1	第9代消防長 村上勝 就任
昭和62. 7. 1	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和62. 9. 28	オートバイ1台、厚木さつきライオンズクラブから寄贈される
昭和63. 1. 5	はしご付消防自動車(12m級) 1台購入
平成元. 7. 1	消防署機構改革 相川、小鮎分署を課相当へ昇格 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を219名に改定
平成元. 8. 5	査察車 1台購入
平成2. 4. 1	第10代消防長 北条昌彦 就任
平成2. 10. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を233名に改定
平成2. 11. 6	救急自動車 2台購入(1台更新)
平成2. 11. 9	常備消防発足30周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成2. 11. 20	連絡車 1台購入
平成3. 3. 14	はしご付消防自動車(30m級) 1台購入
平成3. 3. 18	水槽付消防ポンプ自動車 1台購入
平成3. 3. 25	水難救助艇及びトレーラー 1台購入
平成3. 4. 1	厚木市消防署相川分署に救急隊を配置、救急業務を開始 厚木市消防署小鮎分署にはしご小隊を配置 厚木市消防署睦合分署設置(消防訓練場併設)
平成3. 4. 17	救急自動車に自動車電話を設置
平成3. 5. 1	第11代消防長 三橋知光 就任
平成3. 5. 21	第12代消防長 伊藤悟 就任
平成3. 9. 13	日本損害保険協会から化学消防ポンプ自動車 1台寄贈される
平成3. 10. 31	査察車 1台購入
平成4. 3. 4	消防本部・消防団が消防庁長官から表彰旗を受賞
平成4. 3. 13	消防ポンプ自動車 1台購入
平成4. 4. 1	第13代消防長 齋藤健一 就任
平成4. 7. 11	厚木市消防署玉川分署設置(東丹沢七沢観光案内所との複合施設)
平成4. 11. 16	救急救命士誕生
平成4. 12. 22	地図検索装置一式購入(更新)
平成5. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を240名に改定
平成5. 4. 1	第14代消防長 藤井信義 就任
平成5. 9. 21	揚州市消防隊員来厚、消防施設・設備を視察
平成6. 3. 17	高規格救急自動車 1台購入
平成6. 4. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を244名に改定
平成6. 7. 27	財団法人日本消防協会から普通小型乗用車 1台寄贈される
平成7. 1. 1	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を246名に改定
平成7. 1. 18	阪神・淡路大震災の被災地に救助工作車 1台及び隊員延べ15人を派遣し救助活動を実施
平成7. 3. 31	はしご付消防自動車(30m級) 1台購入

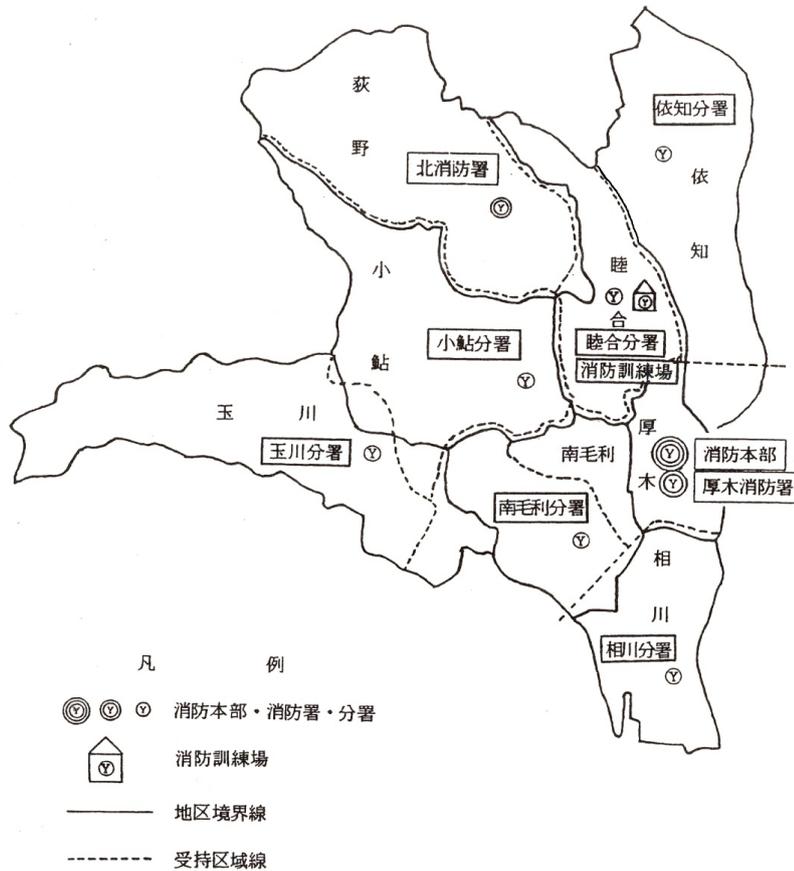
平成7.7.1	消防署機構改革 厚木市消防署を厚木市厚木消防署と名称変更するとともに、厚木市消防署荻野分署を署に格上げし、厚木市北消防署と改め、1署7分署体制から2署6分署体制とする
平成7.9.20	財団法人日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車1台寄贈される
平成7.12.29	元消防長 三橋知光氏 叙位・死亡叙勲 従五位・勲五等双光旭日章を賜る
平成8.2.16	消防ポンプ自動車1台購入
平成8.4.1	本部・署組織の一部を名称変更 (旧) (新) 総務課 消防総務課 総務課管理係 消防総務課消防総務係 庶務係 管理係
平成8.5.1	119番回線バックアップシステム設置
平成8.11.26	消防ポンプ自動車2台購入
平成9.2.25	高規格救急自動車1台購入
平成9.4.1	第15代消防長 霜島榮 就任 厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により消防職員の定数を249名に改定 消防署機構改革 厚木市厚木消防署及び厚木市北消防署にそれぞれ指揮班を配置
平成10.1.20	高規格救急自動車1台購入
平成10.2.5	消防ポンプ自動車1台購入
平成10.4.1	第16代消防長 落合次郎 就任
平成10.11.6	消防本部庁舎望楼解体
平成11.3.10	救助工作車1台購入
平成11.4.1	本市初の女性消防吏員3名採用
平成11.6.20	厚木市北消防署新庁舎建設工事着手
平成12.2.25	高規格救急自動車1台購入
平成12.3.3	消防ポンプ自動車1台購入
平成12.4.1	第17代消防長 土屋茂 就任
平成12.10.1	第18代消防長 山口正男 就任
平成12.11.3	厚木市北消防署新庁舎完成
平成12.11.15	消防本部庁舎耐震補強・改修工事完了
平成12.12.18	高規格救急自動車1台購入
平成13.1.25	救助支援車1台購入
平成13.2.1	自動車電話・携帯電話119番受信業務を開始
平成13.6.21	防災資機材運搬車1台購入
平成14.1.31	消防ポンプ自動車1台購入
平成14.4.1	第19代消防長 小島一郎 就任
平成14.6.1	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信の運用開始
平成14.6.6	防災資機材運搬車1台購入
平成14.9.1	厚木市火災予防査察規程改正
平成15.2.20	高規格救急自動車1台購入
平成15.2.20	NBC災害用資機材の整備(除染シャワー等) 防災資機材運搬車2台・高規格救急自動車1台購入

平成15. 3 . 1	厚木市雑居ビル防火安全対策連絡協議会設置
平成15. 3 . 13	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入
平成16. 1 . 29	高規格救急自動車 1 台購入
平成16. 2 . 25	屈折はしご付消防自動車 ( 15m級 ) 1 台購入
平成16. 4 . 1	第20代消防長 平本菊一 就任
平成16. 7 . 9	元消防署長 葉山英雄氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝双光章を賜る
平成16. 8 . 1	高機能消防通信指令システムの導入
平成16. 12 . 9	高規格救急自動車 1 台購入
平成16. 12 . 16	緊急消防援助隊派遣都市として消防本部が消防庁長官より褒状を受賞
平成17. 2 . 16	化学消防ポンプ自動車 1 台購入
平成17. 4 . 1	第21代消防長 鈴木太平 就任 消防本部・消防署機構改革 予防課予防係と査察係を統一し、予防査察係に名称変更 厚木消防署及び北消防署の指揮班を指揮第一担当・指揮第二担当に名称変更
平成17. 9 . 22	救急二輪車 2 台購入
平成17. 9 . 28	防災資機材運搬車 1 台購入
平成17. 11 . 1	救急二輪車 2 台の運用開始
平成17. 11 . 3	元北消防署副署長 井上雅由氏 第 5 回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成17. 11 . 7	厚木さつきライオンズクラブから自転車(マウンテンバイク) 8 台寄贈される
平成18. 2 . 27	消防ポンプ自動車 1 台購入
平成18. 2 . 28	高規格救急自動車 1 台購入
平成18. 4 . 29	元厚木消防署相川分署長 飯塚勝美氏 第 6 回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成18. 12 . 5	救助工作車 1 台購入
平成19. 2 . 26	水槽付消防ポンプ自動車 1 台購入
平成19. 4 . 1	第22代消防長 柏木孝之 就任 携帯電話・IP電話等からの119番通報に係る位置情報通知システムの運用開始 (平成18年度総務省実証実験後) 北消防署管内の救助業務を消防隊が開始(消防隊兼務)
平成19. 10 . 9	厚木市職員定数条例の一部を改正する条例の施行により初任の教育訓練を受けている消防吏員を消防職員の定数に含まないことに改定
平成19. 11 . 3	元北消防署長 金井光富氏 第 9 回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成19. 12 . 28	元相川分署中隊長兼消防小隊長 内田昇氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成20. 2 . 27	高規格救急自動車 1 台購入
平成20. 4 . 1	第23代消防長 小瀬村恒男 就任 消防本部機構改革 消防本部警防課から救急救命担当を分離し救急救命課を設置する
平成20. 4 . 29	元北消防署副署長 清水忠良氏 第10回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成20. 8 . 10	元消防長 霜島榮氏 叙位・死亡叙勲 従五位・瑞宝小綬章を賜る
平成20. 11 . 3	元厚木消防署副署長 黄金井忠男氏 第11回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成21. 1 . 15	消防ポンプ自動車 1 台購入
平成21. 2 . 19	高規格救急自動車 1 台購入
平成21. 4 . 1	北消防署睦合分署に日勤救急隊を配置、救急業務を開始

平成21. 7. 23	元相川分署長 井上倅一氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成21. 10. 7	北消防署依知分署建替えに伴う仮庁舎(旧依知公民館)への移転完了
平成22. 2. 8	高規格救急自動車1台購入
平成22. 3. 3	はしご付消防自動車(30m級)1台購入
平成22. 3. 25	元消防本部次長 守屋英和氏 叙位・死亡叙勲 従六位・瑞宝双光章を賜る
平成22. 4. 1	第24代消防長 落合俊雄 就任
平成22. 4. 20	元副小隊長 平井俊氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成22. 4. 29	元消防長 藤井信義氏 春の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成22. 6. 1	住宅用火災警報器設置推進対策本部の設置
平成22. 11. 3	元防災担当部長 坂上鎮穂氏 第15回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成22. 12. 1	常備消防発足50周年記念式典を厚木市文化会館において実施
平成22. 12. 31	元消防本部参事 潮田博之氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝双光章を賜る
平成23. 2. 28	化学消防ポンプ自動車1台購入
平成23. 3. 7	高規格救急自動車1台購入
平成23. 4. 1	第25代消防長 飯島悟 就任
	消防本部機構改革
	消防総務課装備係を警防課装備係に改める
	北消防署睦合分署の日勤救急隊を当直救急隊とする
平成23. 4. 29	元厚木消防署長 山崎正氏 第16回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成23. 8. 10	元北消防署警備第二課課長代理兼第一中隊長 三橋征男氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成23. 11. 3	元消防長 山口正男氏 秋の叙勲 瑞宝小綬章を賜る
平成23. 11. 3	元睦合分署長 長嶋義明氏 第17回危険業務従事者叙勲瑞宝単光章を賜る
平成23. 11. 9	厚木市大規模災害サポート隊発足
平成23. 12. 24	元小鮎分署長 高塚雅夫氏 叙位・死亡叙勲 正七位・瑞宝単光章を賜る
平成24. 1. 30	高規格救急自動車1台購入
平成24. 2. 2	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 3. 8	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 3. 23	消防ポンプ自動車1台購入
平成24. 4. 1	消防本部機構改革
	消防本部警防課から指令担当を分離し、指令課を設置する
平成24. 4. 1	元北消防署警備第二課長 門倉正男氏 叙位・死亡叙勲 従七位・瑞宝単光章を賜る
平成24. 4. 5	モンゴル国へ消防車・救急車を寄贈
平成24. 4. 29	元厚木消防署長 安藤勉氏 第18回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成24. 11. 9	元北消防署長 永島優氏 第19回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る
平成25. 3. 6	高規格救急自動車1台購入
平成25. 3. 19	消防ポンプ自動車1台購入
平成25. 4. 1	厚木消防署に救急隊を1隊増隊
平成25. 4. 8	派遣型救急ワークステーション運用開始
平成25. 4. 29	元厚木消防署副署長 小島澄夫氏 第20回危険業務従事者叙勲瑞宝双光章を賜る

## 2 消防現勢(常備)

### (1)消防本部・署(分署)配置図



### (2)常備消防力の基準

ここにあげた数字は、平成20年消防庁告示第2号の規定に基づき、人口密度・建築物の構造により定められた本市の必要とする消防力の比較を表示したものです。

(平成25年4月1日現在)

区 分		基準消防力 (非常用を除く)	現有消防力 (非常用を除く)	基準に対する過不足
消 防 機 材	ポンプ自動車	14	8	6
	はしご車	2	3	1
	化学車	1	2	1
	救急車	7	7	0
	救助工作車	2	2	0
人 員	消 防 職 員	308 (現有台数に対する基準)	241	67

- 1 人員には、神奈川県消防学校初任教育生(条例定数外)は含まない。
- 2 印は不足を表す。

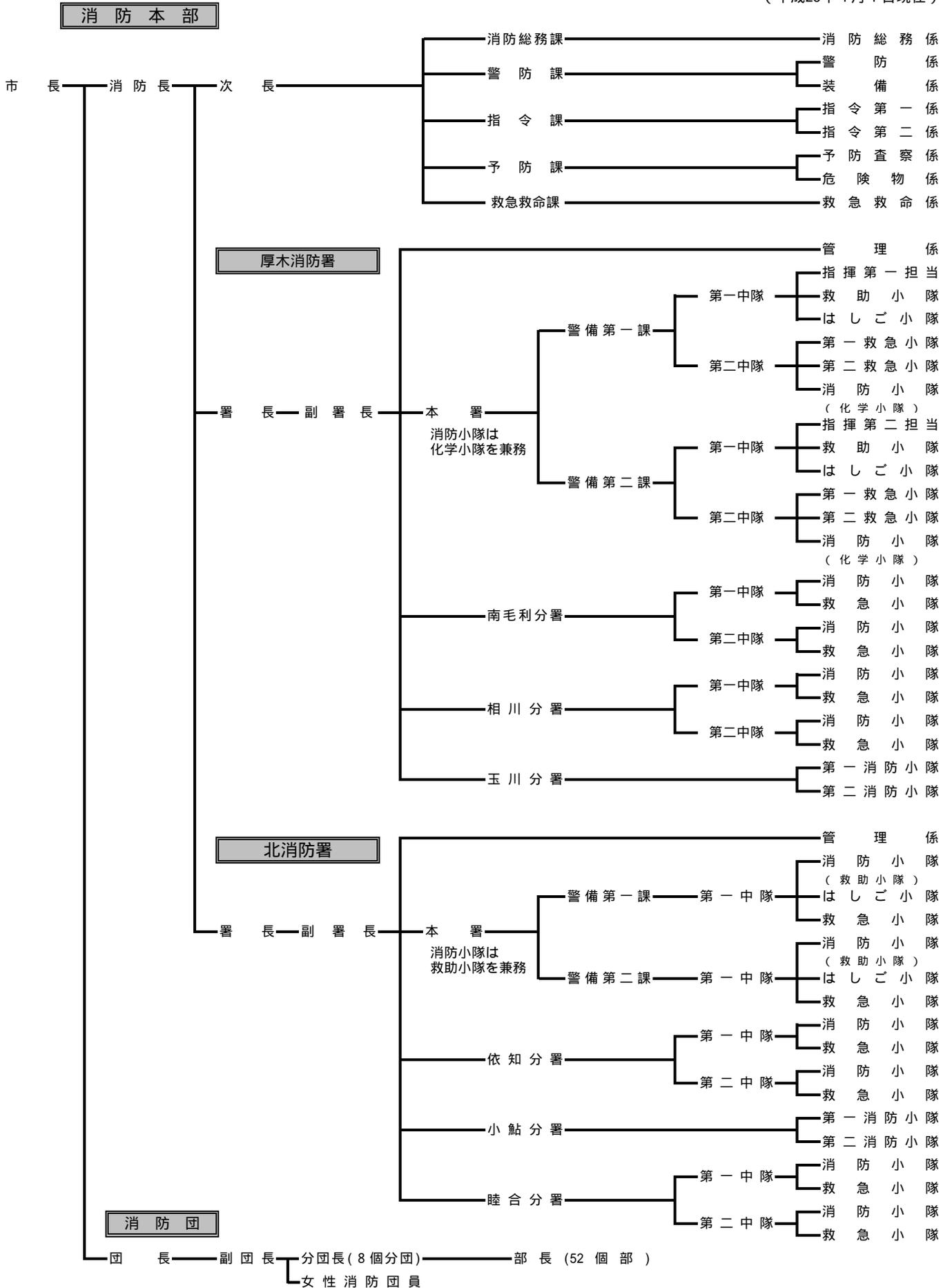
(3) 消防庁舎概要

本部署別		区分	所在地・電話番号	竣工年月日	構造	敷地面積 (m <sup>2</sup> )	建築面積 (m <sup>2</sup> )	延面積 (m <sup>2</sup> )	管轄面積 (Km <sup>2</sup> )	管轄区域
厚木市消防署	消防本部		寿町3-4-10 046-221-2331 FAX 046-223-8251	昭和47年7月1日	RC造 地下1階地上3階 訓練棟RC造 地上3階	2,248.232	793.796	2,070.18	9.36	下記以外の地域
	本署		長谷1574-3 046-248-2988 FAX 046-247-5641	昭和54年4月1日	RC造 平屋建	750.22	256.17	250.53	8.15	愛名 温水の一部 温水西(1~2) 船子の一部 長谷 愛甲の一部 愛甲(1~4) 愛甲西(1~3) 毛利台(1~3) 小野の一部 岡津古久の一部 森の里若宮
	南毛利分署		酒井1417-1 046-228-0119 FAX 046-228-5221	昭和57年4月1日	RC造 平屋建	1,074.20	361.32	360.40	7.77	南町 温水の一部 船子の一部 愛甲の一部 愛甲東(1~3) 岡田 岡田(1~5) 酒井 戸田 下津古久 上落合 長沼
	相川分署		七沢751-1 046-250-0119 FAX 046-250-9398	平成4年7月11日	RC造 2階建	2,583.08 (観光案内所含)	425.32	1,008.01	15.48	七沢 小野の一部 岡津古久の一部 森の里(1~5)
北消防署	本署		下荻野135-1 046-241-6111 FAX 046-241-3871	平成12年11月3日	RC造 2階建	2,400.95	936.60	1,626.76	18.58	及川の一部 上荻野 中荻野 下荻野の一部 鳶尾(1~5) まつかげ台 みはる野(1~2)
	依知分署		関口831( ) 046-245-0119 FAX 046-245-4281	-	RC造 2階建	1,110.70	358.22	550.48	12.66	上依知 猿ヶ島 山際 関口 中依知 下依知 金田の一部 下川入 棚沢の一部
	小鮎分署		飯山3481-1 046-247-0857 FAX 046-247-9491	昭和59年4月1日	RC造 2階建	1,322.00	375.37	443.38	14.96	飯山 上古沢 下古沢 宮の里(1~4) 温水の一部 緑ヶ丘(1~5) 森の里青山
	睦合分署		三田1475-1 046-241-2119 FAX 046-241-3165	平成3年4月1日	RC造 2階建	5,998.60 (消防訓練場含)	704.21	945.62	6.87	棚沢の一部 三田 三田南(1~3) 及川の一部 及川(1~2) 妻田の一部 妻田北(1~4) 妻田西(2~3) 下荻野の一部

北消防署依知分署は、建替えのため、旧依知公民館(厚木市関口831)を改装し、仮庁舎として使用中

(4) 消防の機構図

(平成25年4月1日現在)



## (5) 消防職員配置状況

(平成25年4月1日現在)

階級等		計	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員
所属別											
合 計		241 (248)	1	3	19	52	81	20	51	11 (18)	3
消 防 本 部		44 (51)	1	1	5	12	12	3	7	0 (7)	3
消 防 長	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
次 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
消防総務課	7	消防総務係	7	-	-	1	1	2	1	1	(7)
警 防 課	6	警防係	3	-	-	1	1	1	-	-	-
		装備係	3	-	-	-	1	-	1	-	-
指 令 課	13	指令第一係	7	-	-	1	2	3	-	1	-
		指令第二係	6	-	-	-	3	2	1	-	-
予 防 課	12	予防査察係	9	-	-	1	2	2	-	3	-
		危険物係	3	-	-	-	1	1	-	1	-
救急救命課	4	救急救命係	4	-	-	1	1	1	-	1	-
厚 木 消 防 署		113	-	1	8	23	41	9	27	4	-
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
本 署	55	管理係	1	-	-	-	1	-	-	-	-
		警備第一課	27	-	-	2	7	7	2	7	2
		警備第二課	27	-	-	2	5	10	2	8	-
南毛利分署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	5	-	3	1
		第二中隊	11	-	-	-	2	6	1	1	1
相 川 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	2	3	2	3	-
		第二中隊	11	-	-	-	3	3	1	4	-
玉 川 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	1	3	1	-	-
		第二消防小隊	6	-	-	-	1	4	-	1	-
北 消 防 署		84	-	1	6	17	28	8	17	7	-
署 長	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
副 署 長	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
本 署	26	管理係	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		警備第一課	13	-	-	1	3	3	3	1	2
		警備第二課	13	-	-	1	1	5	1	5	-
依 知 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	5	1	2	1
		第二中隊	11	-	-	-	3	3	-	4	1
小 鮎 分 署	12	第一消防小隊	6	-	-	1	2	1	-	1	1
		第二消防小隊	6	-	-	-	2	2	1	1	-
睦 合 分 署	22	第一中隊	11	-	-	1	1	5	2	1	1
		第二中隊	11	-	-	-	4	4	-	2	1

- 1 消防総務課長は消防総務係、警防課長は警防係、指令課長は指令第一係、予防課長は予防査察係、救急救命課長は救急救命係、分署長は第一中隊又は第一消防小隊に含む。
- 2 ( )内の数字は、県消防学校初任教育7人(条例定数外)を含んだもの。

## (6) 本部・署車両配置状況

	担当	名称	車両番号	車名	型式	購入年月	
消防本部	消防総務課	本部指令1号車	相模800さ3195	日産プレサ-ジュ	GF-HU30	12. 8	
		調査1号車	相模800さ6858	日産バネット	GC-SK82VN	14. 7	
	警防課	連絡1号車	相模480あ7329	日産クリッパー	GBD-U72V	17. 9	
		連絡3号車	相模501み6874	日産セレナ	DBA-C25	22. 5	
		マイクロバス	相模200さ677	日産シビリアン	PA-AHW41	19. 1	
	予防課	広報1号車	相模800さ2818	日産バネット	GC-SK82VN	12. 6	
		広報2号車	相模800す4859	日産AD	DBF-VY12	20.11	
連絡2号車		相模800さ7902	トヨタサクシード	UB-NCP51V	15. 3		
救急救命課	連絡4号車	相模480う6506	ダイハツハイゼット	GBD-S330V	19.10		
厚木消防署	本署	厚木指令1号車	相模800す4211	トヨタハイエース	CBF-TRH221K	20. 2	
		厚木水槽1号車	相模800は213	日野プロフィア	KL-FS4FMGA改	15. 3	
		厚木1号車	相模800さ2089	UDコンドル	KK-BKR71GN	12. 3	
		はしご1号車	相模800は291	日野スペースレンジャー	KL-FE1JGEA改	16. 2	
		はしご3号車	相模800は699	日野プロフィア	BDG-FH1ALXA改	22. 3	
		厚木救助1号車	相模88な3968	UDコンドル	KC-PK260FZ改	11. 3	
		厚木支援1号車	相模800さ4048	いすゞエルフ	KK-NPS72LN	13. 1	
		厚木救急1号車	相模800す5002	日産パラメディック	CBF-FPWGE50改	21. 2	
		厚木救急2号車	相模800す7823	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	25. 3	
		厚木作業1号車	相模41か7539	スバルサンバー	GD-TT2	12. 5	
		厚木資材1号車	相模800す1871	いすゞエルフ	PB-NKS81A	17.12	
	赤パイ1号車	1相模き8420	ヤマハセロー	BA-DG08J改	17. 9		
	南毛利分署	南毛利1号車	相模800さ6066	日野デュトロ	KK-XZU331M	14. 1	
		南毛利救急1号車	相模800す2065	トヨタグランピア	TC-VCH38S	18. 2	
		南毛利作業1号車	相模480う6757	ダイハツハイゼット	LE-S210P	19.10	
		南毛利査察1号車	相模800さ7901	トヨタサクシード	UB-NCP51V	15. 3	
	相川分署	相川1号車	相模800す6933	日野デュトロ	SKG-XZU685M	24. 1	
		厚木化学1号車	相模800は762	日野レンジャー	LDG-FE7JGAA	23. 2	
		相川救急1号車	相模800す6376	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	23. 3	
		相川作業1号車	相模41く9753	スバルサンバー	LE-TT2	14. 6	
		相川査察1号車	相模800す4860	日産AD	DBF-VY12	20.11	
	玉川分署	玉川1号車	相模800す2077	日野デュトロ	PD-XZU378M	18. 2	
		玉川2号車	相模88た7529	UDコンドル	KK-BKR71GN	10. 2	
		玉川作業1号車	相模41け7303	スバルサンバー	LE-TT2	15. 2	
		玉川査察1号車	相模800す3997	日産AD	DBF-VY12	19.11	
		北消防署	本署	厚木北1号車	相模800す6998	日野デュトロ	SKG-XZU640M
	はしご2号車			相模88な3755	UDピックアップ	U-CD520RN改	7. 3
	北救急1号車			相模800す5728	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	22. 2
	北救助1号車			相模800は535	日野レンジャー	ADG-FE8JJWA改	18.11
	北査察1号車			相模800す2976	日産ADバン	CBE-VFY11	18.10
	北指令1号車			相模800さ8877	日産キャラバン	LC-CQGE25	15.10
	北作業1号車			相模41き8843	スバルサンバー	GD-TT2	13. 6
	北救急2号車			相模800さ7711	トヨタグランピア	TC-VCH38S	15. 2
赤パイ2号車	1相模き8421			ヤマハセロー	BA-DG08J改	17. 9	
依知分署	依知1号車		相模800す4944	日野デュトロ	BDG-XZY378M	21. 1	
	依知救急1号車		相模800す4164	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	20. 2	
	依知2号車		相模88た3031	トヨタハイエース	GB-YY101改	7. 9	
	依知作業1号車		相模41け7304	スバルサンバー	LE-TT2	15. 2	
	依知査察1号車	相模88そ993	日産ADバン	R-VFY10	10. 9		
小鮎分署	小鮎1号車	相模800す7029	日野デュトロ	SKG-XZU640M	24. 3		
	北水槽1号車	相模800は552	日野レンジャー	ADG-FE8JGWA改	19. 2		
	小鮎作業1号車	相模480い6891	ダイハツハイゼット	LE-S210P	18. 9		
	小鮎査察1号車	相模800す5548	日産AD	DBF-VY12	21.11		
睦合分署	睦合1号車	相模830ち119	日野デュトロ	TKG-XZU640M	25. 3		
	北化学1号車	相模800は365	日野レンジャープロ	PK-FE8JGFA改	17. 2		
	睦合救急1号車	相模800す6914	トヨタハイエース	CBF-TRH226S	24. 1		
	睦合作業1号車	相模480あ7316	スバルサンバー	LE-TT2	17. 9		
	睦合査察1号車	相模800す180	日産ADバン	CBE-VFY11	16. 8		
	厚木救急3号車	相模800す537	トヨタグランピア	TC-VCH38S	16.12		

(平成25年4月1日現在)

無線	原 動 機	ポ ン プ			備 考
	気筒容積	社 名 級 別	放水量 / min	型 式	
有	2,980				
有	1,780				広報装置
無	650				
無	1,990				リース契約車両
無	4,899				乗車定員 29名
有	1,780				広報装置
有	1,490				広報装置
有	1,490				広報装置
無	650				
有	2,690				広報装置
有	20,780	日機 A - 2	2,390	2段バランスタービン	水5,000L
有	4,570	野口 A - 1	2,845	N P B F 1 1	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	7,960				1.5m屈折はしご付消防自動車
有	8,866				先端屈折 3.0mはしご付消防自動車
有	9,200				照明、クレーン、ウィンチ付
有	4,980				
有	3,490				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	2,693				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
無	650				
有	4,770				パワーゲート付
有	225				
有	4,890	日機 A - 1	2,940	V 3 0 0 0	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	3,370				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口 A - 2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	6,403	野口 A - 2	2,633	N P B 1 1 5	水2,250L、消火薬液500L
有	2,693				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	650				
有	1,490				広報装置
有	4,560	野口 A - 2	2,115	2段バランスタービン	4WD普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	4,570	野口 A - 1	2,906	N P B F 1 1	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
無	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口 A - 2	2,664	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	16,990				3.0mはしご付消防自動車
有	2,693				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	7,684				照明、クレーン、ウィンチ付
有	1,497				広報装置
有	2,380				広報装置 サイドオーニング付
無	650				
有	3,370				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	225				
有	4,000	ニッキ A - 2	2,330	R3	4WD普通ポンプ自動車 ( C D - 型 ) 水600L
有	2,690				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	1,990	富士吹ン B - 3	1,070		小型動力ポンプ付積載車
無	650				
無	1,490				広報装置
有	4,009	野口 A - 2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	7,684	野口 A - 2	2,289	2段バランスタービン	水2,000L
有	650				
無	1,498				広報装置
有	4,009	野口 A - 2	2,678	2段バランスタービン	普通ポンプ自動車 ( C D - 型 )
有	7,680	日機 A - 2	2,450	2段バランスタービン	水1,500L、消火薬液500L
有	2,693				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)
有	650				
無	1,490				広報装置
有	3,370				乗車定員 7名 (高規格救急自動車)

## (7) 消防車両種類別内訳

(平成25年4月1現在)

消 防 車 両 種 類 別	台 数
消 防 ポ ン プ 自 動 車	9 台
小 型 動 力 ポ ン プ 付 積 載 車	1 台
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
化 学 消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 台
救 助 工 作 車	2 台
救 助 支 援 車	1 台
高 規 格 救 急 自 動 車	9 台
は し ご 車	3 台
指 令 車	3 台
調 査 車	1 台
広 報 車	2 台
連 絡 車	4 台
査 察 車	7 台
赤 バ イ	2 台
作 業 車 ( 防 災 資 機 材 運 搬 車 )	9 台
マ イ ク ロ バ ス	1 台
車 両 合 計	58 台
オ ー ト バ イ ( 情 報 収 集 用 )	5 台

### 3 消 防 予 算

厚木市の平成25年度一般会計当初予算額は73,780,000千円で前年度と比較して0.2%の増となっており、消防費の当初予算額は2,786,428千円で前年度比2.8%増となり、一般会計当初予算における構成比は3.8%です。

#### ( 1 ) 消防費前年度比較

単位：千円

款・項	目	平成25年度	平成24年度	比 較	
				増	減
消防費		2,786,428	2,710,199	76,229	
	常備消防費	2,226,183	2,205,036	21,147	
	非常備 消 防 費	73,039	53,499	19,540	
	消防施設費	412,733	232,506	180,227	
	水 防 費	491	606		115
	災害対策費	73,982	218,552		144,570

#### ( 2 ) 消防費財源内訳

単位：千円

消防費	消 防 費 財 源 内 訳						率(%)
	使用料 手数料	国 庫 支出金	県支出金	諸収入	市 債	一般財源	一般財源 消 防 費
2,786,428	2,643	24,871	-	37,708	349,700	2,371,506	85.11

#### ( 3 ) 年度別市当初予算と消防費の比較

単位：億円

年度別 区分	17	18	19	20	21	22	23	24	25
市 予 算	737.3	760.3	679.6	743.8	754.7	751.8	789.2	736.0	737.8
消 防 費	30.6	31.6	28.7	31.7	31.9	27.1	27.6	27.1	27.8
割合(%)	4.2	4.2	4.2	4.3	4.2	3.6	3.5	3.7	3.8

#### ( 4 ) 消防費と人口の比較

(平成25年4月1日現在の人口 224,415 人、世帯数 94,366 世帯で計算)

単位：円

当 初 予 算 額	人口1人当たり	1世帯当たり	
市当初予算	73,780,000,000	328,766	781,849
消 防 費	2,786,428,000	12,416	29,528

総

務



# 消防職員

## 1 消防職員階級別勤続年数調

(平成25年4月1日現在)

年数別	合計	消 防 吏 員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	248	245	1	3	19	52	81	20	51	18	3
平均	19.6	-	32.0	25.3	33.8	32.1	21.9	13.8	7.1	0.9	1.0
1年未満	8	7	-	-	-	-	-	-	-	7	1
1年	11	10	-	1	-	-	-	-	-	9	1
2	4	3	-	-	-	-	-	-	2	1	1
3	3	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-
4	9	9	-	-	-	-	-	-	9	-	-
5	15	15	-	-	-	-	-	-	14	1	-
6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	3	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-
8	3	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-
9	9	9	-	-	-	-	-	1	8	-	-
10	3	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-
11	5	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-
12	3	3	-	-	-	-	1	1	1	-	-
13	5	5	-	-	-	-	-	5	-	-	-
14	5	5	-	-	-	-	1	3	1	-	-
15	4	4	-	-	-	-	3	1	-	-	-
16	7	7	-	-	-	-	2	2	3	-	-
17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
19	3	3	-	-	-	-	3	-	-	-	-
20	12	12	-	-	-	-	12	-	-	-	-
21	4	4	-	-	-	-	3	1	-	-	-
22	16	16	-	-	-	1	14	1	-	-	-
23	28	28	-	-	-	-	27	1	-	-	-
24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	5	5	-	-	-	3	2	-	-	-	-
27	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
28	3	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
29	11	11	-	-	-	6	5	-	-	-	-
30	8	8	-	-	3	5	-	-	-	-	-
31	10	10	-	-	2	8	-	-	-	-	-
32	8	8	1	-	4	2	1	-	-	-	-
33	12	12	-	-	3	9	-	-	-	-	-
34	4	4	-	-	1	3	-	-	-	-	-
35	9	9	-	1	2	6	-	-	-	-	-
36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
39	2	2	-	-	1	1	-	-	-	-	-
40	5	5	-	1	2	2	-	-	-	-	-
41	4	4	-	-	1	3	-	-	-	-	-

消防吏員には、初任教育生7人(条例定数外)を含む。

## 2 消防職員階級別年齢調

(平成25年4月1日現在)

年齢別	合計	消防職員									消防事務職員
		小計	消防正監	消防副監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	
合計	248	245	1	3	19	52	81	20	51	18	3
平均	41.0	-	59.0	57.7	56.4	52.8	42.1	35.4	28.5	22.9	41.7
18歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-
22	6	6	-	-	-	-	-	-	-	6	-
23	4	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-
24	8	8	-	-	-	-	-	-	5	3	-
25	5	5	-	-	-	-	-	-	4	1	-
26	5	5	-	-	-	-	-	-	5	-	-
27	3	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-
28	6	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-
29	10	10	-	-	-	-	-	-	10	-	-
30	6	6	-	-	-	-	-	-	6	-	-
31	7	7	-	-	-	-	-	-	6	1	-
32	6	6	-	-	-	-	-	3	3	-	-
33	5	4	-	-	-	-	-	4	-	-	1
34	7	7	-	-	-	-	-	5	2	-	-
35	4	4	-	-	-	-	-	3	1	-	-
36	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
37	9	9	-	-	-	-	8	1	-	-	-
38	9	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
39	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
40	10	10	-	-	-	-	10	-	-	-	-
41	14	14	-	-	-	-	14	-	-	-	-
42	7	6	-	-	-	-	6	-	-	-	1
43	5	5	-	-	-	-	5	-	-	-	-
44	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
45	6	6	-	-	-	-	5	1	-	-	-
46	2	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-
47	9	9	-	-	-	1	7	1	-	-	-
48	7	7	-	-	-	3	4	-	-	-	-
49	3	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-
50	11	10	-	-	-	8	2	-	-	-	1
51	7	7	-	-	-	6	1	-	-	-	-
52	4	4	-	-	-	4	-	-	-	-	-
53	11	11	-	-	3	8	-	-	-	-	-
54	5	5	-	-	1	4	-	-	-	-	-
55	5	5	-	-	2	3	-	-	-	-	-
56	7	7	-	-	4	2	1	-	-	-	-
57	7	7	-	1	2	4	-	-	-	-	-
58	8	8	-	2	3	3	-	-	-	-	-
59	8	8	1	-	4	3	-	-	-	-	-

消防吏員には、初任教育生7人（条例定数外）を含む。

### 3 消防職員免許等取得状況

(平成25年4月1日現在)

階級・所属 免許・資格		計	階 級 別 等									所 属 別									
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	消 防 事 務 職 員	本 部	厚木消防署				北消防署				
													本 署	南 毛 利 分 署	相 川 分 署	玉 川 分 署	本 署	依 知 分 署	小 鮎 分 署	睦 合 分 署	
実 員		248	1	3	19	52	81	20	51	18	3	51	57	22	22	12	28	22	12	22	
運 転 免 許	普 通	246	1	3	19	52	81	19	51	18	2	50	57	22	22	12	28	22	12	21	
	中 型	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
	大 型	149	-	1	8	31	61	16	31	1	-	26	40	7	17	6	19	16	7	11	
	大 型 二 種 免 許	34	-	-	3	13	15	2	1	-	-	7	11	2	2	1	6	3	1	1	
	大 型 特 殊	26	-	-	1	10	11	1	3	-	-	5	9	2	1	-	5	3	1	-	
	自 動 二 輪	154	1	2	12	34	52	15	34	4	-	27	40	12	15	9	17	17	7	10	
危 険 物 取 扱	甲 種	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	乙 類	4 類	146	-	-	3	5	62	18	49	9	-	21	38	16	15	6	18	16	4	12
		5 類	9	-	-	1	4	1	2	1	-	-	2	4	-	1	-	-	2	-	-
		6 類	7	-	-	1	3	1	1	1	-	-	2	3	-	1	-	-	1	-	-
	丙 種	88	1	1	12	41	27	4	2	-	-	23	21	3	8	5	10	4	5	9	
高圧ガス(乙種化学)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高圧ガス(丙種化学)		8	-	-	2	4	2	-	-	-	-	1	3	-	3	1	-	-	-	-	
消 防 設 備 士		3	-	-	-	1	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	
電 気 工 事 士		1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
陸 上 特 殊 無 線		152	1	2	13	26	34	16	49	11	-	26	37	10	16	7	21	12	9	14	
ア マ チ ュ ア 無 線		41	1	-	6	18	15	1	-	-	-	9	9	3	1	5	4	3	2	5	
2 級 ボ イ ラ ー 取 扱 者		3	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	
ボ イ ラ ー 取 扱 技 能		35	1	1	7	14	11	1	-	-	-	8	7	3	4	3	6	2	1	1	
玉 掛 技 能 講 習		42	-	-	2	7	23	3	5	2	-	8	13	3	3	-	8	5	1	1	
小 型 ク レ ー ン		60	-	1	6	20	22	6	4	1	-	10	22	2	6	1	9	8	1	1	
高 所 作 業 車		21	-	-	1	7	12	-	1	-	-	4	9	-	-	1	4	3	-	-	
ガ ス 溶 接		93	-	1	12	42	37	1	-	-	-	21	21	10	9	6	7	6	4	9	
小 型 船 舶 操 縦 士		75	-	-	6	16	38	9	6	-	-	12	16	7	7	5	15	7	2	4	
衛 生 管 理 者		7	-	1	2	1	1	1	1	-	-	2	3	-	-	-	1	1	-	-	
救 急 ( 1 3 5 H )		122	-	1	14	39	62	4	2	-	-	23	31	5	9	8	14	9	7	16	
救 急 課 程		36	-	1	3	14	16	1	1	-	-	5	6	5	2	2	3	4	1	8	
救 急 標 準 課 程		26	-	-	-	1	4	11	10	-	-	7	6	1	3	-	5	2	1	1	
救 急 科		62	-	-	-	-	18	3	33	8	-	5	19	6	9	1	7	7	3	5	
救 急 救 命 士		42	-	-	1	9	16	4	9	3	-	5	10	6	5	-	6	4	-	6	
応 急 手 当 指 導 員		203	-	1	12	49	76	15	48	2	-	29	48	20	22	12	24	20	9	19	
潜 水 士		58	-	-	3	11	22	5	15	2	-	9	18	2	10	1	10	5	-	3	
特定化学物質等作業主任者		16	-	-	-	3	6	2	5	-	-	3	3	3	1	-	2	3	-	1	

- 1 厚木消防署本署には、署長、副署長、管理係を含む。
- 2 北消防署本署には、署長、副署長を含む。
- 3 実員には、初任教育生7人(条例定数外)を含む。

#### 4 消防職員採用・退職状況

(平成25年4月1日現在)

区分	年度	21	22	23	24	25
	定員		249	249	249	249
年度当初実員		254	247	245	248	248
	採用(4月1日付け)	6	3	3	9	7
	市長部局異動(4月1日付け)	-	-	1	1	1
採用(10月1日付け)		-	-	-	-	-
市長部局異動(10月1日付け)		-	-	1	-	-
退職		10	6	6	8	-
年度末実員		244	241	238	240	-

- 1 実員には、神奈川県消防学校初任教育生(条例定数外)を含む。
- 2 市長部局異動は、市長部局からの異動者と市長部局への異動者を差し引きした人数。
- 3 平成23年度の市長部局異動(10月1日付け)は、市長部局への異動のみ。

#### 5 消防職員年度別公務災害発生状況

年度	区分	総数	負傷時の状況						治療期間		
			災害活動	演習訓練	救急業務	点検業務	消防業務	その他	1週間未満	1ヶ月未満	1ヶ月以上
21	件数	4	1	1	-	-	-	2	-	-	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	4	1	1	-	-	-	2	2	1	1
22	件数	3	1	1	-	-	-	1	-	-	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	3	1	1	-	-	-	1	1	-	2
23	件数	3	-	1	-	1	-	1	-	-	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	3	-	1	-	1	-	1	1	-	2
24	件数	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
	死者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負傷者	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-

## 6 人事事務

平成 24 年度においては、多様化する消防行政に対応する常備消防組織の確立を図るため、消防司令補、消防士長、消防副士長の各昇任試験を実施しました。

## 7 衛生管理

職員の安全及び健康管理体制の充実並びに庁舎の環境整備・衛生思想の普及について、さらなる強化を図るため、産業医による巡回相談やメンタルヘルス診断のほか職場点検を実施するとともに、定期健康診断（年 1 回）・特定業務従事者健康診断（隔日勤務者年 1 回）・B 型肝炎ワクチン接種・インフルエンザワクチン接種他各種予防接種などを実施し疾病の予防に努めています。

## 8 表彰

消防庁長官	神奈川県消防長会
永年勤続功労章 1 人	消防功労者表彰 (団体表彰) 救急活動の部 1 部隊

平成 24 年度中の初期消火等消防協力者に対する消防長表彰は、1 件で個人 2 人を表彰しました。

## 9 教育・研修

職員の資質向上を図るため県消防学校等において、教養訓練等を実施しました。

### (1) 派遣研修

平成24年度中の受講状況

区分	科目	人員	日数	区分	科目	人員	日数
消防学校 初任教育	初任教育 第208期生	8	114	消防学校 特別教育	幹部特別教育 (研修教官)	1	20
消防学校 専科教育	救急科	6	49		水難救助課程	1	5
	救助科	1	21		はしご車操作員課程	1	3
	警防科	1	10		特別救助隊員研修	1	5
	予防査察科	1	10		救急救命士研修	2	1
	特殊災害科	1	7		体力練成指導員研修	1	1
	火災調査科	1	10		その他	潜水土	1
			湖川小出力二級 小型船舶操縦士	2		2	
			予防技術者(試験)	2		1	
			小型移動式クレーン 技能講習	2		3	

### (2) 教養研修会等

- ・ 外来講師による講演(2月)

### (3) 現地・教養訓練

- ・ 水難救助合同訓練(5月)
- ・ 水防工法訓練(6月)
- ・ 潜水訓練(8月)
- ・ 山岳救助合同訓練(11月)
- ・ 軌道事故訓練(2月)
- ・ 非常用エレベーター訓練(2月)
- ・ 火災防ぎょ想定訓練(4~3月)
- ・ 機関員養成訓練(4~3月)

## 消防施設

### 1 施設整備

防火水槽 1 基を新設しました。

件名	所在地	容量 (m <sup>3</sup> )	備考
防火水槽	岡田 3 0 9 1 坊西公園	4 0	新設



防火水槽完成写真（坊西公園）

## 2 水利状況

### (1) 地区別消防水利設置状況

(平成25年4月1日現在)

地区別 区分別		合 計	厚 木	依 知	睦 合	荻 野	小 鮎	玉 川	南 毛 利	相 川	
<b>総 合 計</b>		<b>4,335</b>	<b>539</b>	<b>700</b>	<b>611</b>	<b>439</b>	<b>379</b>	<b>309</b>	<b>859</b>	<b>499</b>	
消 火 栓	公 設	2,374	250	339	393	300	222	165	478	227	
	(水利基準適合)	(1,699)	(186)	(244)	(291)	(219)	(129)	(120)	(343)	(167)	
<b>合 計</b>		<b>1,908</b>	<b>284</b>	<b>354</b>	<b>210</b>	<b>129</b>	<b>153</b>	<b>138</b>	<b>373</b>	<b>267</b>	
防 火 水 槽	公 設	小 計	670	44	126	101	73	72	59	132	63
		40t未満	204	6	62	19	25	20	18	30	24
		40～100t 未 満	443	29	64	76	48	52	41	100	33
		100t以上	23	9	-	6	-	-	-	2	6
	私 設	小 計	1,238	240	228	109	56	81	79	241	204
40t未満		208	32	51	14	10	15	2	49	35	
40～100t 未 満		993	200	172	93	45	62	73	182	166	
100t以上		37	8	5	2	1	4	4	10	3	
そ の 他	プ ー ル 等	53	5	7	8	10	4	6	8	5	
		(44)	(4)	(6)	(7)	(10)	(3)	(3)	(7)	(4)	

消火栓の( )は、水利基準適合消火栓、プールの( )は、鋼鉄製又はアルミ、FRP製でそれぞれ内数

(2) 耐震性貯水槽の設置状況

東海地震における被害想定に基づき、地震で火災が同時多発すれば、広範囲に延焼する危険が最も大きい地域を重点に耐震性貯水槽を設置しており、100トン以上の主なものは次のとおりです。

	所	在	地	貯水量 (m <sup>3</sup> )	設置 年度	型	式
1	厚木市旭町1丁目18番		あさひ公園内	100	S53	丸型	6.0m×3.9m
2	厚木市中町4丁目11番		さつき公園内	100	S54		〃
3	厚木市中町1丁目4番3号		立体駐車場西側	100	S55	丸型	6.0m×3.7m
4	厚木市緑ヶ丘3丁目4番		緑ヶ丘西公園内	100	S56		〃
5	厚木市酒井1975番地		旧農協相川支所内	100	S56		〃
6	厚木市妻田東2丁目23番		東河原第1公園内	100	S57	角型	4.0m×14.09m×2.0m
7	厚木市元町9番3号		北児童館内	100	S58	丸型	6.0m×3.7m
8	厚木市岡田4丁目19番5号		三嶋神社境内	100	S59		〃
9	厚木市妻田西1丁目24番		市場公園内	100	S60		〃
10	厚木市長沼244番地		長沼公園内	100	S61		〃
11	厚木市南町24番		すみれ公園内	100	S61		〃
12	厚木市水引2丁目9番		農協本所内	100	S62		〃
13	厚木市旭町4丁目13番		ふじみ公園内	100	S63		〃
14	厚木市林3丁目8番52号 消防団第3分団第1部器具置場敷地内			100	H元		〃
15	厚木市酒井2157番地		白髭公園内	100	H2		〃
16	厚木市三田2735番地1		睦合北公民館内	100	H3		〃
17	厚木市岡田3058番地		中丸公園内	100	H5		〃
18	厚木市寿町3丁目2番10号		厚木中央公園内	100	H6		〃
19	厚木市旭町1丁目30番		どんぐり公園内	100	H8	丸型	6.4m×3.16m
20	厚木市戸室1丁目40番		宮田公園内	100	H9		〃
21	厚木市酒井3009番地		八木間公園内	100	H10		〃
22	厚木市妻田南1丁目21番		中河原げやき公園内	100	H11		〃

# 消防車両

## 1 消防車両更新状況

(平成24年度)

車種別	台数	配属先	備考
消防ポンプ自動車	1	北消防署 睦合分署	更新
高規格救急自動車	1	厚木消防署 本署	新規

## 2 消防車両整備の概要

消防車両の保守管理は迅速整備の基本方針で、車両の機能保持を図っています。

(平成24年度)

区分	車種 合計	常備			非常備
		消防ポンプ車	救急車	その他車両	小型動力ポンプ付積載車
法定整備	184	16	12	70	86
車検	47	1	4	24	18
一般整備	95	16	28	32	19

# 火災予防



秋・春の火災予防運動をはじめ、年間計画に基づく防火対象物の立入検査、歳末火災特別警戒、消防訓練指導等を行い、市民並びに事業所等に火災予防と人命の安全確保を呼びかけ、防火意識の高揚に努めています。

## 1 火災予防運動

### (1) 秋季火災予防運動 11月9日～11月15日

#### ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災予防対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物及び危険物施設等）
- (エ) 消防演習
- (オ) 住宅用火災警報器設置促進戸別訪問
- (カ) 住宅防火診断
- (キ) 保育園（所）の園児等を対象とした防火教室

### (2) 春季火災予防運動 3月1日～3月7日

#### ア 重点目標

- (ア) 住宅防火対策の推進
- (イ) 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- (ウ) 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- (エ) 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- (オ) 林野火災予防対策の推進

#### イ 主な実施事項

- (ア) 火災予防広報の実施（各種広報媒体を活用しての広報）
- (イ) 事業所等への協力依頼
- (ウ) 立入検査の実施（特定防火対象物、営業用バス、危険物運搬車両）
- (エ) 林野火災防止標識の点検及び整備
- (オ) 児童クラブの入所者を対象とした防火教室

## 2 防火管理講習

防火対象物における防火安全の充実強化を図るため、消防法第8条第1項に規定する防火管理者を定めなければならない防火対象物のうち、甲種、乙種防火管理講習の課程を修了していない者を対象に防火管理講習を開催した。

### (1) 防火管理講習の実施状況

#### ア 甲種防火管理新規講習

(ア) 時期 6月・10月・2月の年3回

(イ) 修了証交付数 181人

#### イ 乙種防火管理講習

(ア) 時期 6月・10月・2月の年3回

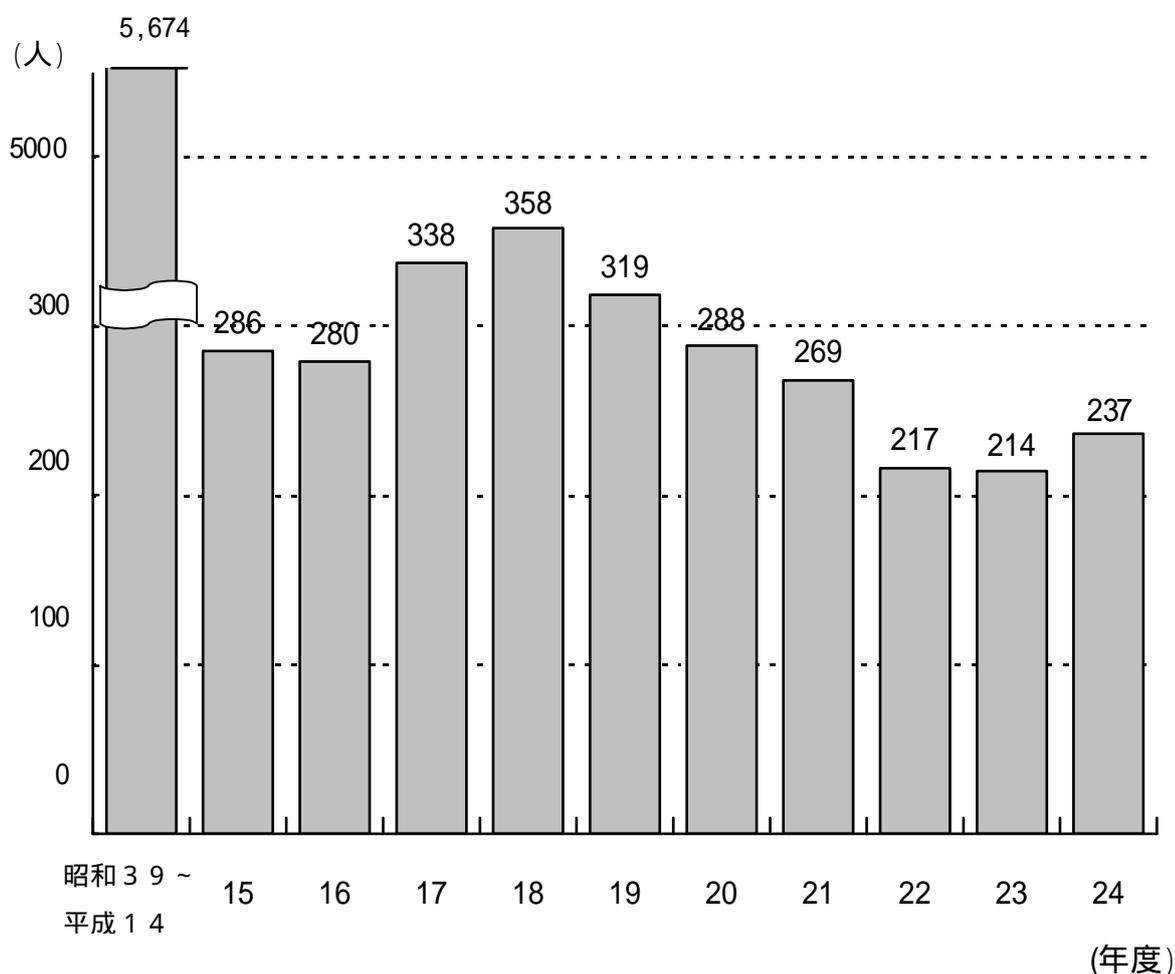
(イ) 修了証交付数 17人

#### ウ 甲種防火管理再講習

(ア) 時期 8月

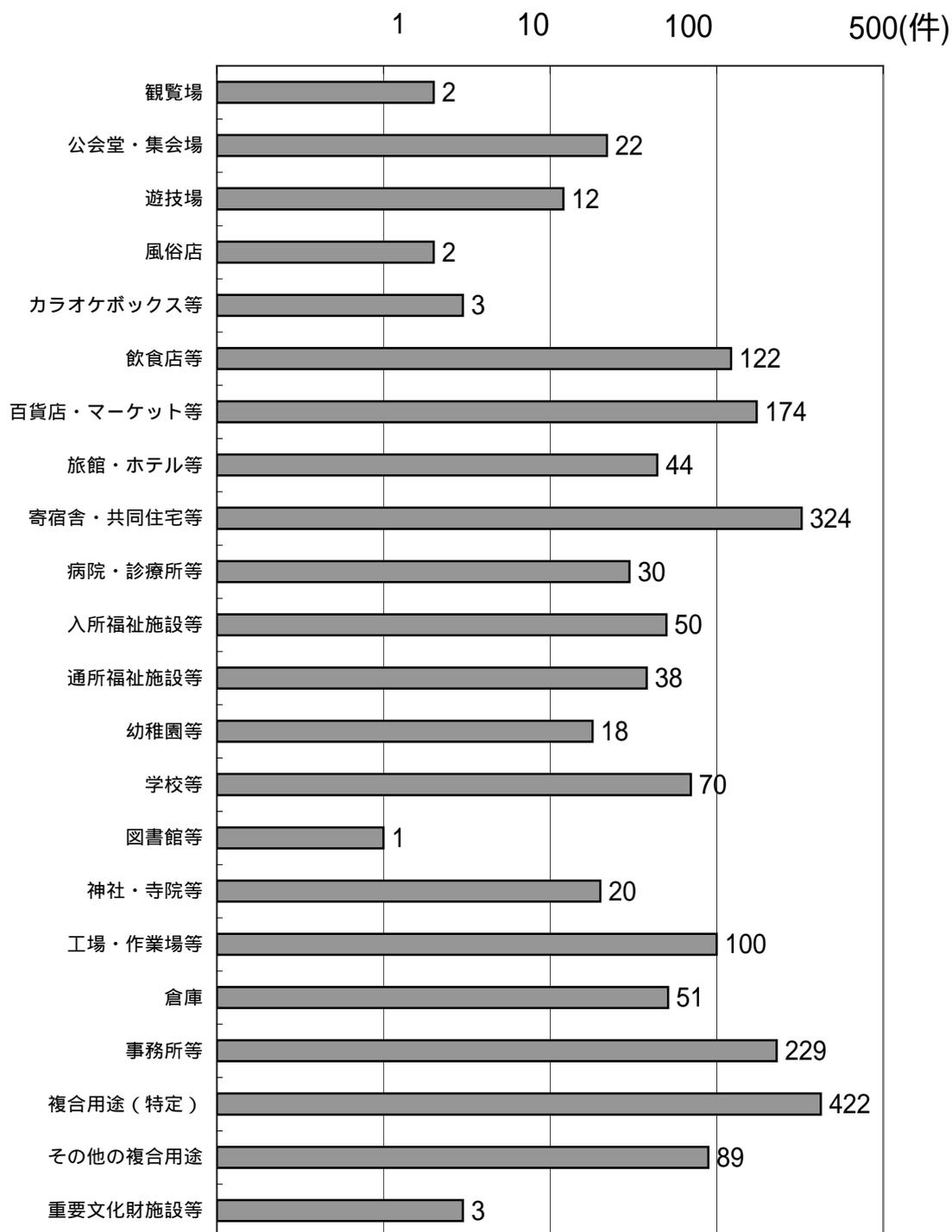
(イ) 修了証交付数 39人

### (2) 年度別防火管理講習修了証交付状況



### 3 防火管理者等調

防火管理者の選任及び消防計画の届出を必要とする防火対象物 ( 1,826 件)



(平成25年3月31日現在)

#### 4 消防法・火災予防条例に基づく届出処理状況

(平成24年度)

届 出 別	届 出 数 (件)
防 火 管 理 者 選 任 ( 解 任 ) 届	546
消 防 計 画 作 成 ( 変 更 ) 届	595
消 防 用 設 備 等 の 点 検 結 果 報 告 書	1,738
ポ イ ラ - 設 備 等	19
防 火 対 象 物 使 用 開 始	201
水 素 ガ ス を 充 て ん す る 気 球	-
催 物 開 催	5
ネ オ ン 管 灯 設 備	-
喫 煙 等 禁 止 行 為 の 解 除 承 認 申 請	19
合 計	3,123

#### 5 防火対象物定期点検報告制度

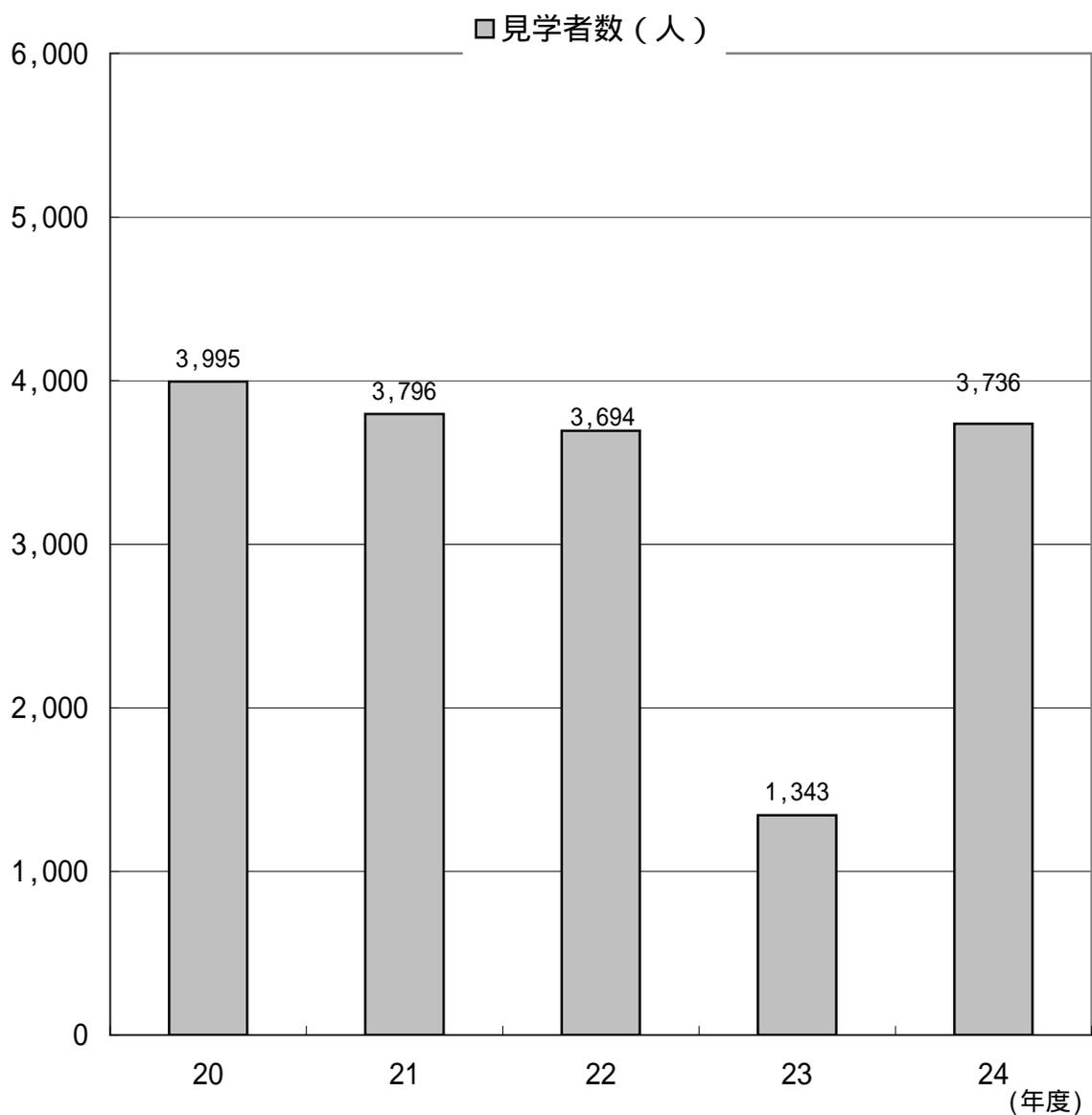
##### 実施目的及び実施対象物の状況

この制度は、旅館、ホテル等不特定多数の者を収容する防火対象物の管理権原者等による防火管理の徹底を図ることを目的に一定の規模、用途の管理権原者等に対し、点検報告を義務付けるもので、消防機関が行う法令要件に該当する旨、又は防火対象物点検基準に適合した建物である旨を「防火優良認定証及び防火基準点検済証」で表示し、広く市民に防火上の情報を提供するとともに、防火安全上の目安に活用してもらうことを目的としています。平成25年3月31日現在、46件の防火対象物に「防火優良認定証」の表示に係る通知書を交付しています。

## 6 幼稚園児、小学生の消防署見学の推移

幼稚園等の保育活動及び小学生の社会科校外学習等の一環として、消防署を見学された方々に火災等についての講話を行い、消防署員の訓練状況や消防についての知識を高めさせていただくとともに、火災予防思想の普及に努めています。

年 度	20	21	22	23	24
見学者数（人）	3,995	3,796	3,694	1,343	3,736



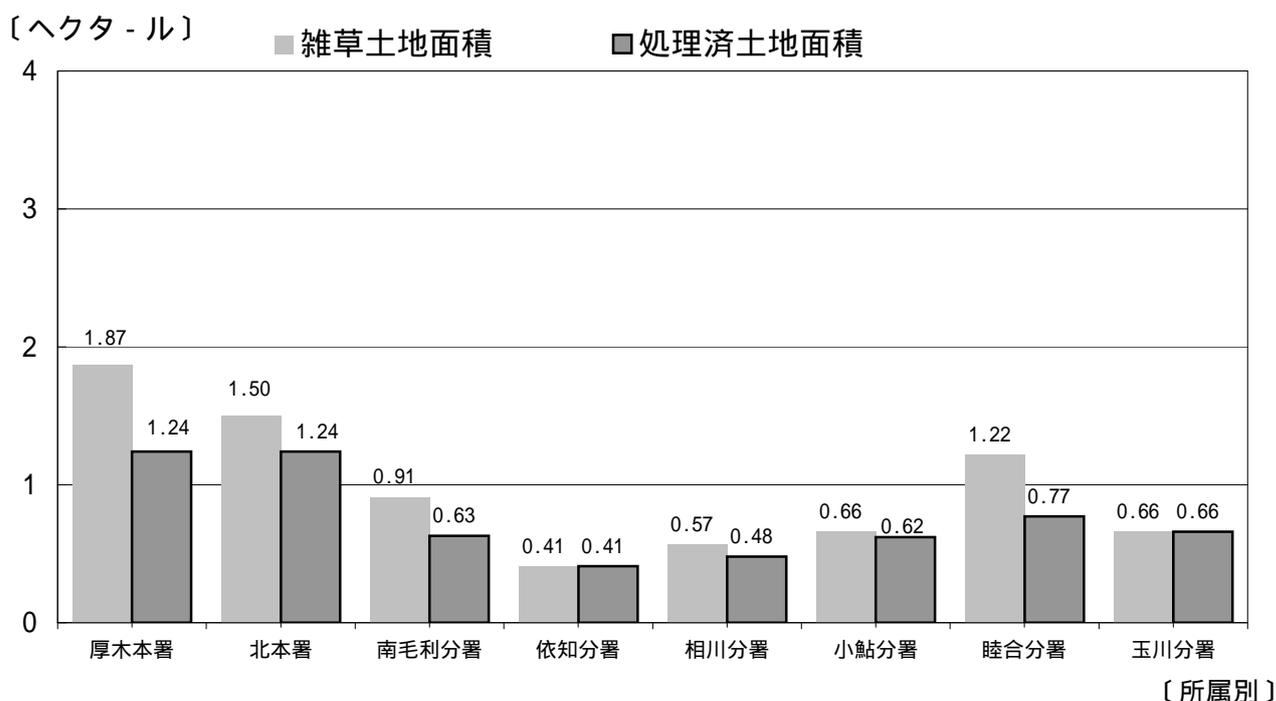
## 7 雑草地の指導

毎年10月1日から翌年3月31日までを雑草火災防止対策期間として、空き地等に繁茂している火災予防上危険な雑草処理の指導を行いました。

平成24年度中の状況は、10月上旬に実態調査を行った結果、7.80ヘクタール（所有者152人）の雑草地があり、11月に文書等による刈取り依頼、12月に刈取り指導等を行い、1月に最終調査を行った結果、6.05ヘクタール（所有者122人）の雑草地約77.6%が処理されました。

(平成24年度)  
単位：ヘクタール

所属別 土地面積等	厚木本署	北本署	南毛利分署	依知分署	相川分署	小鮎分署	睦合分署	玉川分署
雑草土地面積	1.87	1.50	0.91	0.41	0.57	0.66	1.22	0.66
処理済土地面積	1.24	1.24	0.63	0.41	0.48	0.62	0.77	0.66



## 8 初期消火協力の推進

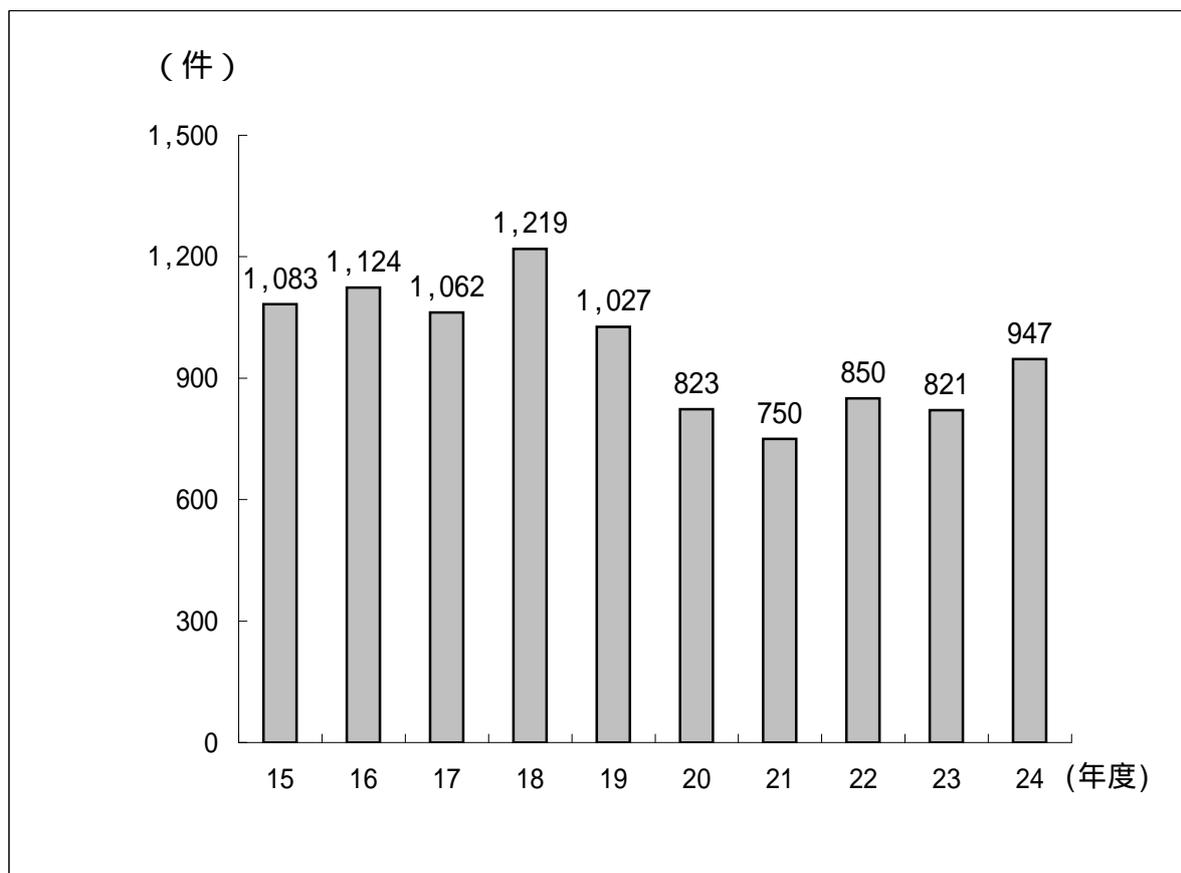
不幸にして発生した火災の被害を最小限にとどめるには、適切な初期消火活動が大切です。そこで、市民の方々などによる初期消火活動等の消防協力の推進を図るため、火災に使用した消火器の薬剤の詰め替えをしました。

(平成24年度)

消火協力のあった火災	無償で詰め替えた消火器の個数			
	建物火災	車両火災	その他の火災	合計
7件	2個		1個	3個

## 9 消防同意事務等

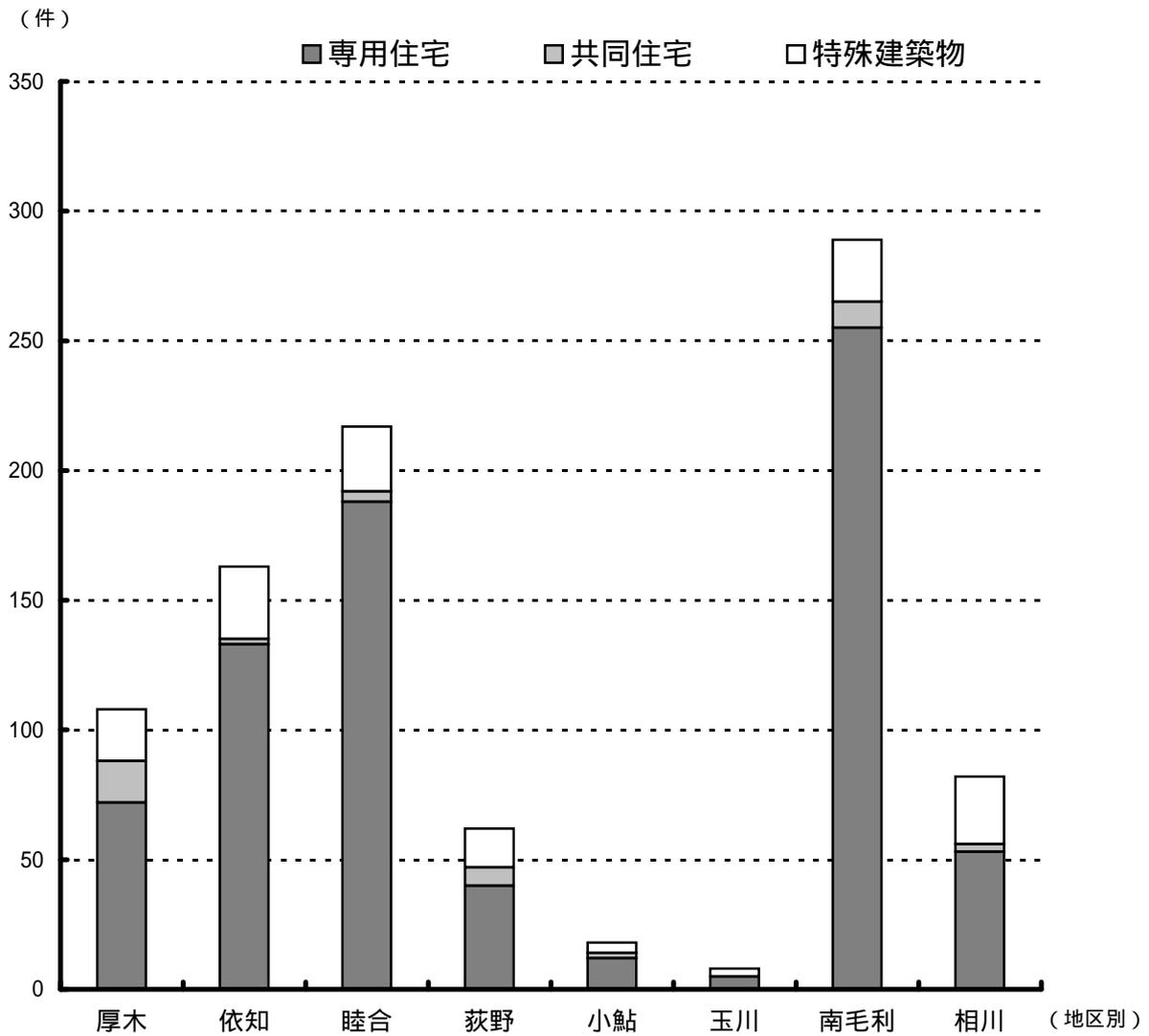
### (1) 過去10年間の同意件数



### (2) 月別同意件数

月	区分	合計件数	新築件数	増築件数	改築件数	用途変更件数	移転件数	その他の件数
4		62	60	1	-	1	-	-
5		71	68	3	-	-	-	-
6		98	95	2	-	1	-	-
7		87	83	4	-	-	-	-
8		109	106	1	1	1	-	-
9		90	88	2	-	-	-	-
10		70	64	5	-	1	-	-
11		81	79	1	-	1	-	-
12		75	74	-	-	1	-	-
1		62	59	2	-	1	-	-
2		70	65	4	-	1	-	-
3		72	70	2	-	-	-	-
合計		947	911	27	1	8	-	-

(3) 地区別及び用途別同意件数



用途 \ 地区	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	合計
専用住宅	72	133	188	40	12	5	255	53	758
共同住宅	16	2	4	7	2	-	10	3	44
特殊建築物	20	28	25	15	4	3	24	26	145
合計	108	163	217	62	18	8	289	82	947

10 防火対象物状況（消防用設備等の設置対象物数を示す。）

（平成25年3月31日現在）

消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物の区分		22年度	23年度	24年度
1	イ 劇場・映画館・演芸場等	6	6	6
	ロ 公会堂・集会場	34	36	35
2	イ キャバレー・カフェ・ダンスホール等	2	-	-
	ロ 遊技場・ダンスホール	13	14	14
	ハ 風俗営業等を営む店舗等	-	2	2
	ニ カラオケボックス等	3	3	3
3	ロ 飲食店	144	147	150
4	百貨店・マーケット等	298	307	320
5	イ 旅館・ホテル・宿泊所等	84	71	70
	ロ 寄宿舍・下宿・共同住宅	3,850	3,883	3,912
6	イ 病院・診療所・助産所	87	87	88
	ロ 老人福祉施設・自力避難困難者入所施設	39	45	54
	ハ 社会福祉施設・救護施設等	49	51	54
	ニ 幼稚園等	18	18	19
7	小学校・中学校・高等学校・大学、各種学校等	253	254	256
8	図書館・博物館・美術館等	3	3	3
9	ロ 9イ以外の公衆浴場	-	-	-
11	神社・寺院・教会等	38	38	38
12	イ 工場・作業場	702	702	703
13	イ 自動車車庫・駐車場	61	62	65
14	倉庫	1,018	1,018	1,033
15	前各項に該当しない事業場	1,133	1,138	1,153
16	イ 1～4、5イ、6、9イを含む複合用途防火対象物	779	786	786
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	549	555	559
17	重要文化財施設等	10	10	10
18	延長50m以上のアーケード	1	1	1
合 計		9,174	9,237	9,334

## 11 高層建築物の状況

### (1) 高層建築物

(軒の高さが31メートルを超える建築物及び地階を除く階数が11以上の建築物。) 数105件

### (2) 主な高層建築物

(平成25年3月31日現在)

番号	名称	所在地	階数 (地上/地下)	軒の高さ (m)	延面積 (㎡)	用途
1	厚木アクストメインタワー	岡田3050	26 / 1	107	57,400	(16)イ
2	リヴァージュ21	東町2-1	21 / 1	69	18,800	(16)イ
3	厚木ビジネスタワー	中町3-16-1	16 / 1	59	11,800	15
4	メイテック関東テクノセンター	森の里青山15	14 / 1	55	12,100	15
5	日産テクニカルセンター103号棟	岡津古久560-2	10 / 2	51	106,900	15
6	神奈川工科大学情報学部棟	下荻野1030	13 / 1	51	16,343	7
7	第1伊藤ビル	旭町1-24-13	12 / 1	50	9,700	15
8	信金中央金庫厚木システムセンター	森の里青山22	9 / 1	47	43,600	15
9	ルリエ本厚木	寿町3-1	14 / 2	46	19,800	(16)イ
10	エクセル本厚木	旭町2-1-3	14 / 1	44	8,900	(5)口
11	神奈川県消防学校(第1訓練場)	上落合57	11 / 0	44	3,800	7
12	ポレスター本厚木	泉町13-10	15 / 0	44	4,000	(5)口
13	プレール本厚木	水引2-2-30	14 / 0	43	4,500	(5)口
14	リバーツイン厚木	厚木町6-1	14 / 0	43	10,900	(16)イ
15	ルモンベル本厚木	中町3-2-18	15 / 0	43	9,500	(5)口

用途は、消防法施行令別表第一に掲げる用途区分による。

## (3) 地区別・中高層建築物数

(平成25年3月31日現在)

地区	階層	階層																合計 (棟)
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階	16階	21階	26階	
厚木		562	134	159	97	79	49	34	13	12	18	10	17	3	1	1	-	1,189
依知		208	30	10	4	3	2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	259
睦合		357	61	66	9	6	3	1	1	-	-	2	1	-	-	-	-	507
荻野		83	16	45	2	4	6	1	2	1	-	1	-	-	-	-	-	161
小鮎		80	18	8	2	5	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	116
玉川		51	31	9	7	2	4	3	1	-	-	-	1	-	-	-	-	109
南毛利		436	98	67	32	16	3	4	1	4	3	-	4	-	-	-	-	668
相川		167	42	53	7	6	2	1	2	1	-	-	-	-	-	-	1	282
合計 (棟)		1,944	430	417	160	121	70	46	21	18	22	13	23	3	1	1	1	3,291

## 12 消防用設備等着工・設置届出状況

(平成24年度)

設備名	着工届出数	設置届出数
消火器	-	88
屋内消火栓設備	19	12
スプリンクラー設備	38	36
泡消火設備	4	4
不活性ガス消火設備	3	1
ハロゲン化物消火設備	3	2
粉末消火設備	6	4
屋外消火栓設備	9	6
動力消防ポンプ設備	-	-
自動火災報知設備	179	179
ガス漏れ火災警報設備	-	-
漏電火災警報器	-	1
消防機関へ通報する火災報知設備	13	13
非常警報設備(ベル)	-	5
非常警報設備(放送)	-	36
避難器具	11	12
誘導灯	-	106
誘導標識	-	2
消防用水	-	2
排煙設備	-	3
連結散水設備	-	-
連結送水管	-	8
非常コンセント設備	-	1
パッケージ型消火設備	-	1
合計	285	522

### 13 立入検査実施状況

(平成24年度)

用途別 概要	防火対象物数	立入検査 実施数	指導対象物数	指導事項数	指導事項内容						
					設備 関係	消防 関係	建築物 関係	火気使用 関係	電気 関係	危険物 関係	防火管理 関係
観覧場・集会場等	41	19	5	8	1	0	-	-	-	5	2
物品販売店舗	320	50	31	114	30	2	2	-	3	55	22
旅館・ホテル	70	91	53	108	22	7	-	-	-	74	5
共同住宅	3,912	576	96	177	101	2	-	1	5	43	25
病院等	88	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場・倉庫等	1,736	105	8	19	13	1	-	-	-	2	3
複合用途(特定)	786	30	17	108	10	2	-	-	-	85	11
上記以外の対象物	2,381	414	106	277	73	3	5	3	4	166	23
その他	-	101	-	-	-	-	-	-	-	-	-
危険物施設等	-	88	47	131	8	5	-	7	111	-	-
合計	9,334	1,477	363	942	258	22	7	11	123	430	91

(注) その他は営業用等のバス(70台)、住宅防火診断(31件)を実施。

### 14 予防広報映画フィルム所有一覧

(貸出しに必要なもの 申込書 認定証 身分証明書等 は提示するか写しを添付)

題名	種類	映写時間(分)	備考
クマさんのマイホーム	16mm	16	児童用
動物村の消防士	16mm	20	
わんわん火事だわん	16mm	18	
ぼくは子象の消防隊	16mm	17	
火事のある日	16mm	20	
トラちゃんの消防隊長	16mm・VHS	15	
119ちゃんの安全点検	16mm	15	
ウルトラマンキッズの消防隊	16mm	18	
火事と子馬	16mm	22	
森と子どもの歌	VHS	15	
わたしたちの防火	VHS	35	
ケンちゃんと防災家族	VHS	18	
スーパーマリオの消防隊	VHS	10	
ドラゴンボール悟空の消防隊	VHS	11	
マリーベルの火の用心	VHS	11	
タイムスリップ 1923	VHS	15	
レッツゴーなかまたち	VHS	15	
消火ロボゼウス	16mm・VHS	15	
忍たま乱太郎の地震用心火の用心	VHS	11	
ちびまるこちゃんの火の用心	VHS	14	
レスキューQ太のかつやく	16mm・VHS	15	
忍たま乱太郎の消防隊	VHS	22	
ちびまる子ちゃんの地震を考える	VHS	13	
カルガモ親子の火の用心	VHS	13	
しましまとらのしまじろうの消防隊	VHS	10	

題 名	種 類	映写時間(分)	備 考	
千日前火災「断たれた避難路」	1 6 mm	20	ビル火災関係	
ジョエルマビルの惨事	1 6 mm	16		
炎とビル(酒田火災)	1 6 mm	26		
ビル火災からの脱出	1 6 mm	16		
煙の恐ろしさ	16mm・VHS	25		
東京消失	1 6 mm	50		
高層住宅火災から生命を守る	V H S	17		
火災のあとに残るもの	16mm・VHS	28		
恐ろしいガス火災	1 6 mm	26		ガス火災関係
地震の時どうする	1 6 mm	16		地震関係
急襲 津波災害に備える	V H S	25		
地震の知識と対策	V H S	23		
地震だ！火を消せ!!(手話付き)	V H S	25		
地震！パニックを避けるために(＂)	1 6 mm	23		
1 9 9 5 阪神大震災	V H S	22		
阪神大震災の教訓	V H S	20		
家庭の地震対策 1	V H S	10		
職場の地震対策 2	V H S	10		
マグニチュード 明日への架け橋	V H S	90	その他	
防火管理で火の用心	V H S	18		
職場を守る自衛消防	1 6 mm	20		
ある防火管理者の悩み	1 6 mm	34		
大型店舗防火管理の知識	V H S	20		
防火の知識と避難誘導ホテル・旅館	1 6 mm	20		
防火管理者のしごと	V H S	20		
火災から職場を守るには	V H S	17		
力をあわせて防火管理	V H S	20		
あなたは今日から防火管理者	V H S	20		
危険物の取扱い	1 6 mm	20		
街の中の危険物	1 6 mm	20		
工場防火を考える	1 6 mm	25		
友情は燃えて	1 6 mm	35		
火災の恐怖から守れ！老人と子供	V H S	15		
旅館・ホテルの自衛消防活動	V H S	30		
防災シルバーシート	1 6 mm	18		
火災その時あなたは	V H S	20		
火災の悲劇を防ぐ	V H S	22		
火災を断つ	V H S	19		
いざという時こうする	V H S	16		
火の用心 7つのポイント	1 6 mm	20		
消防署のしごと	1 6 mm	20		
火災！あなたの工場は大丈夫？	V H S	27		
猛煙からの脱出	V H S	20		
もしもそのとき...火災を科学する	V H S	30		
煙火災と有毒ガス	V H S	19		
家族でガッテン	V H S	25		
ドラマでわかる初期対応	V H S	26		
あなたのお宅は安心ですか？	V H S	18		
あなたと防災	V H S	20		
住宅火災 あなたの家庭は大丈夫？	V H S	20		
住宅火災から学ぶ	V H S	25		
うっかり町の屋根の下	V H S	25		
うっかり町は大騒ぎ	V H S	20		
家族d e 防火	V H S	20		
防火対策と防火製品	V H S	17		
火災・煙・有毒ガス	V H S	22		
ホテル旅館・ビルの防火対策	V H S	16		
住宅火災から命を守る	V H S	21		
出来ることから始めよう	V H S	20		

## 15 危険物施設

### (1) 危険物

一般的に危険物とは、引火性物質、爆発性物質、毒劇物あるいは放射性物質な危険性のあるものを称している場合が多く、消防法上の危険物は消防法第2条第7条において「別表第一の品名欄に掲げる物品で、同表の性質欄に掲げる性状を有するもの。」と定義されています。

なお、消防法では指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いを原則的には禁止して定数量以上の危険物を貯蔵、取り扱う場合は許可を受けなければならないと規定し、貯蔵、取扱いの許可を受けた施設が「危険物施設」であります。

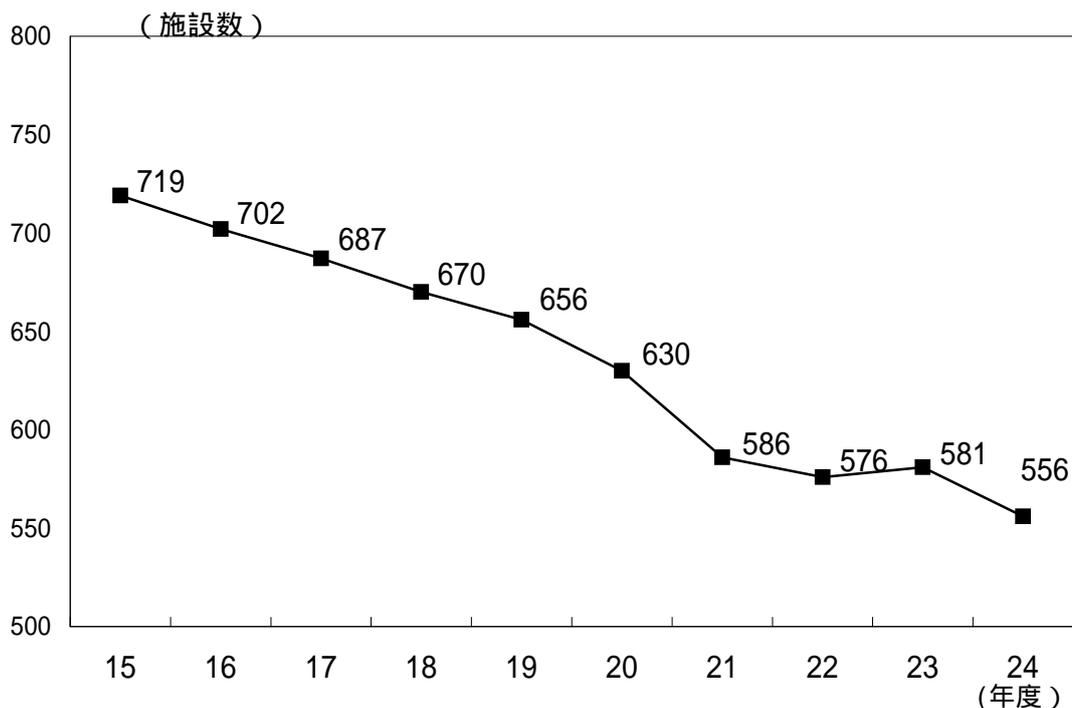
また、危険物はあらゆる生活分野に浸透している石油製品等に代表されるよう社会生活の向上に大きく貢献している反面、ひとたびその取扱い等を誤ると火災や事故等の災害を引き起こす潜在的な危険性を有しています。

### (2) 本市の状況

本市の危険物施設数は、平成25年3月31日現在556施設で、過去10年間で163施設減少しております。施設の減少要因としては、地下タンクを廃止する施設や燃料を電気などの代替エネルギーに変更する施設が増加したことが考えられます。

施設別にみると地下タンク貯蔵所が122施設(21.9%)で最も多く、次に一般耳101施設(18.2%)、屋内貯蔵所が95施設(17.1%)の順となり、また、地区別には依知地区及び南毛利地区に施設が多く設置されていますが、これは両地区に工業あり工場等が多数存在しているためです。

### (3) 過去10年間の危険物施設の推移



## 16 地区別危険物施設

(平成25年3月31日現在)

施設別		地区別									構成比(%)
		合計	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	相川	緑ヶ丘	
合計		480	48	173	52	34	50	56	61	6	99
製造所		7	-	6	-	-	1	-	-	-	1.5
貯蔵所	屋内	83	3	32	7	5	5	18	11	2	17.3
	屋外タンク	35	-	24	1	-	6	1	3	-	7.3
	屋内タンク	11	4	4	-	-	-	1	2	-	2.3
	地下タンク	96	16	33	4	6	8	14	14	1	20.0
	簡易タンク	6	-	1	-	3	1	1	-	-	1.3
	移動タンク	47	6	3	19	5	3	-	11	-	8.4
	屋外	29	-	23	-	-	6	-	-	-	6.0
取扱所	給油(営業)	42	4	10	7	6	5	1	9	-	8.8
	給油(自家)	34	1	7	4	5	6	3	7	1	7.5
	第1種販売	2	2	-	-	-	-	-	-	-	0.4
	第2種販売	1	-	-	1	-	-	-	-	-	0.2
	一般	87	12	30	9	4	9	17	4	2	18.1

## 17 危険物施設等立入検査状況

(平成24年度)

施設別	計	製造所	貯蔵所						取扱所			
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油	第1種販売	第2種販売	一般
施設数	523	7	95	38	12	122	7	47	91	2	1	101
検査実施施設数	88	1	1	2	-	24	-	33	17	-	-	10
延べ人員	226	3	3	6	-	56	-	99	37	-	-	22
指導施設数	47	1	-	-	-	21	-	1	14	-	-	10
指導事項数	131	1	-	-	-	52	-	1	33	-	-	44

移動タンク貯蔵所の検査実施施設数は、他市町村長の許可施設を含む。

## 18 危険物施設の事務処理状況

消防法の規制を受ける危険物施設の平成24年度中における設置許可、変更許可及完成検査の事務取扱い件数は163件あり、このうち設置及び変更許可は86件、完成検査は77件でした。

また、届出等の事務取扱い件数は245件で、そのうち主なものは危険物製造所等資提出（取扱者関係を含む）が142件、次に保安監督者選任（解任）届が55件となります。

(平成24年度)

施設別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所					取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	第 1 種 販 売	第 2 種 販 売	一 般
合 計		370	4	36	8	1	5	24	1	154	-	-	137
許 可	設 置	5	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	1
	変 更	67	1	2	1	-	-	6	-	27	-	-	30
完 成	設 置	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1
	変 更	61	2	2	1	-	-	6	-	24	-	-	26
仮 使 用		47	1	1	1	-	-	-	-	10	-	-	34
小 計		183	4	7	3	-	1	12	-	64	-	-	92
種類、数量変更届		6	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	1
譲 渡 引 渡 届		7	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	1
廃 止 届		19	-	4	-	-	-	4	-	5	-	-	6
保安監督者選任(解任)届		53	-	12	4	-	2	-	-	28	-	-	7
資 料 提 出	取 扱 者 関 係	6	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	4
	そ の 他	96	-	8	1	1	2	2	1	55	-	-	26
小 計		187	-	29	5	1	4	12	1	90	-	-	45

## 19 少量危険物届出状況

(平成24年度)

施設別 区分	合 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外 貯 蔵 所	販 売 所	取 扱 所
平成24年度届出数	23	6	-	-	1	1	-	15
平成24年度廃止届出数	14	2	-	2	1	1	-	8
届出済施設累計	936	124	123	90	136	167	4	292

## 20 危険物手数料

### (1) 手数料納入額

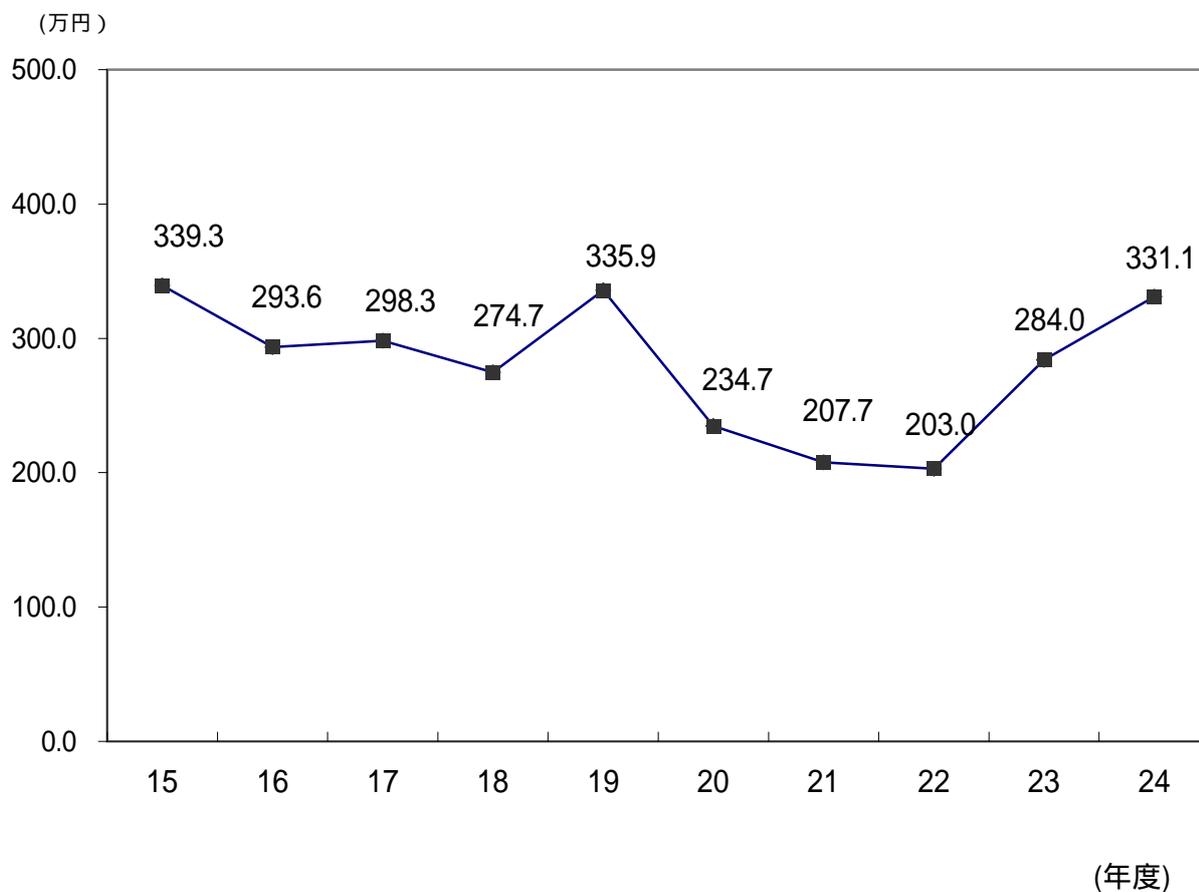
指定数量以上の危険物を貯蔵又は取扱いをする場合、及び指定数量以下の少量危険物を貯蔵又は取扱いをするタンクの水張検査等を受ける場合の市条例に基づく手数料納入額です。

(平成24年度)

区分	合計	許 可 及 び 完 成 検 査			タンク検査		仮貯蔵・仮取扱・仮使用		
		設置許可		完成検査	水張	水圧	仮貯蔵	仮取扱	仮使用
金額(円)	3,311,600	202,000		888,000	-	88,000	-	37,800	280,800
					-	-			

タンク検査欄の下段は、指定数量未満の危険物等の手数料納入額

### (2) 過去10年間の危険物手数料の推移



警

防



## 火災の概要

平成24年中の火災は57件で、前年に比べ26件減少となっている。これは、約6日に1件の割合で火災が発生したことになる。

この火災件数を種別ごとにみると、建物火災が33件（全火災の57.9%）、林野火災1件（1.8%）、車両火災6件（10.5%）、その他の火災17件（29.8%）となっている。これらを前年と比較すると、建物火災が4件、林野火災が3件、車両火災が3件、その他の火災が16件減少した。

また、火災による死傷者については、死者無、負傷者4人で前年に比べ死者が4人減少、負傷者は6人の減少となっている。

損害見積額は、27,007千円で、前年と比較すると97,402千円の減額となっている。

なお、出火原因別の出火件数を多い順にみると、放火（疑い含む。）15件、こんろ9件、たばこ7件と続いている。放火（疑い含む。）の件数は、全体の26.3%を占めている。

### 1 火災種別死傷者発生調

死傷者等		火災種別				合計
		建物	林野	車両	その他	
23年	件数	37	4	9	33	83
	死者	3	-	-	1	4
	負傷者	10	-	-	-	10
24年	件数	33	1	6	17	57
	死者	-	-	-	-	-
	負傷者	4	-	-	-	4

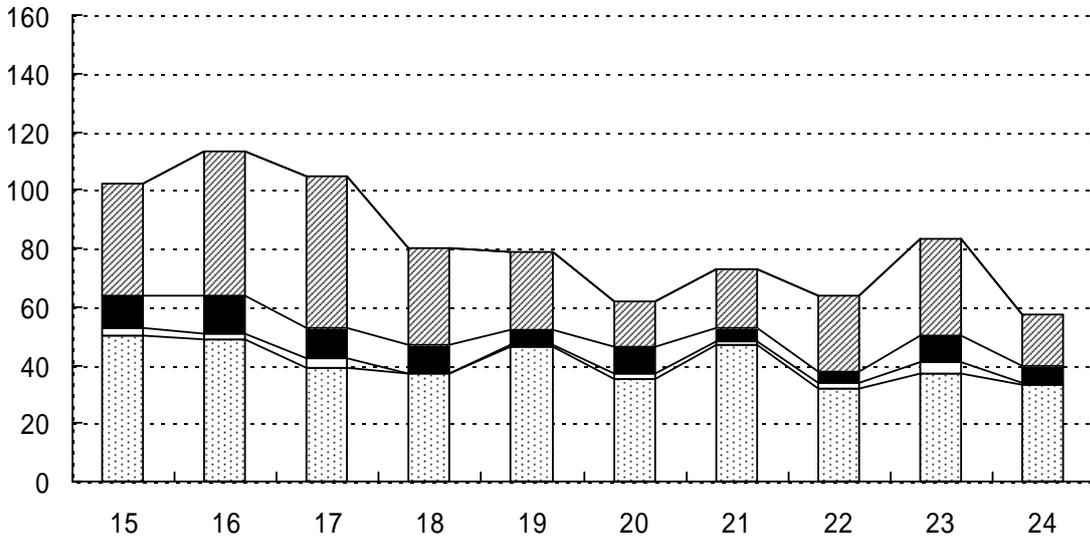
### 2 火災概況調

平成25年1月1日 人口 224,924人

区分	件数等	摘要
火災発生件数	57件	建物33、林野1、車両6、その他17（件）
建物焼損面積	193m <sup>2</sup>	平成23年 1,180m <sup>2</sup>
林野焼損面積	0 a	平成22年 8 a
建物焼損棟数	33棟（類焼含む）	全焼4、半焼1、部分焼10、ぼや18（棟）
損害額	27,007(千円)	平成23年 124,409（千円）
り災世帯数	10世帯	全損0世帯、半損1世帯、小損9世帯
死者	無	平成23年 4人
負傷者	4人	平成23年 10人
1日当たり発生件数	0.16件	平成23年 0.10件
1日当たり建物焼損面積	0.5m <sup>2</sup>	平成23年 3.2m <sup>2</sup>
1日当たり林野焼損面積	0.000a	平成23年 0.004 a
1日当たり建物焼損棟数	0.082棟	平成23年 0.126棟
1日当たり損害見積額	74(千円)	平成23年 341（千円）
1日当たりのり災世帯数	0.03世帯	平成23年 0.1世帯
市民1人当たりの損害見積額	120(円)	平成23年 554（円）
1件当たりの損害見積額	474(千円)	平成23年 1,498（千円）

### 3 過去10年間の火災件数

■ 建物 □ 林野 ■ 車両 ▨ その他



種別 \ 年別	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
建 物	50	49	39	37	46	35	47	32	37	33
林 野	2	2	3	-	1	2	1	2	4	1
車 両	11	16	11	10	5	9	5	4	9	6
そ の 他	38	49	52	33	27	16	20	26	33	17
合 計	101	116	105	80	79	62	73	64	83	57

### 4 主要火災原因別累年比較調

年別 \ 区分	たばこ	たき火	火遊び	こんろ	放火	放火の疑い	風呂かまど	ストーブ	ライター・マッチ	煙突・煙道	電灯・電話等の配線	配線器具	その他	不明・調査中	合計
19	4	2	2	17	11	15	1	2	2	-	-	-	11	12	79
20	7	2	4	10	15	6	-	1	2	-	-	1	11	3	62
21	9	5	3	10	6	9	-	2	-	-	4	-	19	6	73
22	7	6	2	8	9	6	1	2	1	2	-	-	13	7	64
23	2	8	6	3	10	8	2	2	-	-	2	1	12	27	83
24	9	5	2	9	12	3	1	-	1	-	2	2	4	7	57

## 5 損害見積額累年比較調

(単位:千円)

年別 火災種別	20	21	22	23	24
建 物	77,698	202,644	241,667	105,930	24,121
林 野	-	-	-	-	-
車 両	770	3,429	699	6,705	2,468
そ の 他	158	3,861	2,704	11,774	418
合 計	78,626	209,934	245,070	124,409	27,007

## 6 全国・県・市火災発生状況調

(平成24年中)

種分 区分	火 災 件 数							損害額 (千円)
	合 計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	
全 国	44,102	25,525	1,176	4,534	86	1	12,780	89,269,740
神奈川県	2,296	1,336	6	218	4	-	732	3,113,429
厚木市	57	33	1	6	-	-	17	27,007





8 - 1 時刻別火災発生状況 (その1)

時刻別	火災種別	火災件数					焼損棟数										り災世帯数				焼損面積					
		建物	屋外					火元					類焼					全損	半損	小損	計	り災人員	焼損床面積(m <sup>2</sup> )	焼損表面積(m <sup>2</sup> )	林野(a)	その他(a)
			船舶	航空機	車両	林野	その他	計	爆発	全焼	半焼	部分焼	ぼや	計	全焼	半焼	部分焼									
00 - 01		2				1	3			1	1	2							1	1	2	2	64	1		
01 - 02		1				1	2				1	1														
02 - 03																										
03 - 04		2					2				2	2														
04 - 05		1		1			2				1	1												4		
05 - 06		1		1			2	1				1											20			
06 - 07		2					2				2	2								1	1	5				
07 - 08																										
08 - 09																										
09 - 10						1	1																			
10 - 11		2				2	4			1	1	2											21	1		3
11 - 12		3				1	4			2	1	3								1	1	1	1	6		2
12 - 13																										
13 - 14						1	1																			
14 - 15		2				2	4			1	1	2											1			
15 - 16		3				4	7	1		1	1	3								2	2	8	27	7		
16 - 17		1				1	2				1	1														
17 - 18		3			1		4			1	2	3								1	1	2		2		
18 - 19		2					2				1	1	2							2	2	6	3			
19 - 20		3		2		1	6				1	2	3											3		
20 - 21		2		1		1	4				1	1	2							1	1	5		9		
21 - 22																										
22 - 23		2				1	3	1		1		2											52			
23 - 24		1		1			2	1				1											4			
不明																										
合計		33		6	1	17	57	4	1	10	18	33							1	9	10	29	193	33		5

50

8 - 2 時刻別火災発生状況（その2）

火災種別 時刻別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
00 - 01		1		2,760	1,604					25		4,389
01 - 02		1										
02 - 03												
03 - 04				7	26							33
04 - 05				52	1,335			1,968		18		3,373
05 - 06				100	1			102				203
06 - 07				1	5							6
07 - 08												
08 - 09												
09 - 10												
10 - 11				2,267	111					25		2,403
11 - 12		1		78	4					7		89
12 - 13												
13 - 14												
14 - 15				195	11					202		408
15 - 16				563	517							1,080
16 - 17										1		1
17 - 18		1		80	306							386
18 - 19					23							23
19 - 20				5,696	615			196		140		6,647
20 - 21				98	25			200				323
21 - 22												
22 - 23				7,352	192							7,544
23 - 24				67	30			2				99
不明												
合 計		4		19,316	4,805			2,468		418		27,007

## 9 月別原因別火災発生状況

原因別	月												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
たばこ	2			1			1	2				1	7
こんろ	1	1	1		1	1	3					1	9
かまど													
風呂かまど											1		1
炉													
焼却炉													
ストーブ													
こたつ													
ボイラー													
煙突・煙道													
排気管		1						1					2
電気機器											1		1
電気装置													
電灯・電話等の配線				1				1					2
内燃機関													
配線器具		1										1	2
火あそび												2	2
マッチ・ライター								1					1
たき火	1			1	1		1					1	5
溶接機・溶断機													
灯火					1								1
衝突の火花													
取灰		1											1
火入れ	1												1
放火	3	1	1	1			2			1		3	12
放火の疑い	1			1	1								3
その他													
不明・調査中				1		2	1	2		1			7
合計	9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57



10 - 2 原因別火災発生状況（その2）

火災種別 原因別 原因別	死傷者			損害額(千円)								
	死者	負傷者	30日死者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
たばこ				24	51			102		50		227
こんろ				2,896	259			8				3,163
かまど												
風呂かまど				67	30							97
炉												
焼却炉												
ストーブ												
こたつ												
ボイラー												
煙突・煙道												
排気管								190				190
電気機器					1,335							1,335
電気装置												
電灯・電話等の配線					21					140		161
内燃機関												
配線器具				2	5							7
火あそび												
マッチ・ライター		1		78	3							81
たき火										7		7
溶接機・溶断機												
灯火				65								65
衝突の火花												
取灰				8						2		10
火入れ												
放火		1		6,010	487					1		6,498
放火の疑い				52				1,968		18		2,038
その他												
不明・調査中		2		10,114	2,614			200		200		13,128
合 計		4		19,316	4,805			2,468		418		27,007

# 1 1 月別用途別火災発生状況

用途別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
住宅			1		1		1	2		1		2	8
併用住宅													
共同住宅	1						2	1		1		1	6
劇場													
公会堂													
キャバレー													
遊技場												1	1
性風俗店													
カラオケボックス等													
料理店													
飲食店		1			1	1							3
物品販売店舗						1							1
旅館													
病院													
グループホーム等													
福祉施設													
幼稚園													
学校	2												2
図書館													
特殊浴場													
公衆浴場													
停車場													
神社・寺院													
工場											1		1
スタジオ													
駐車場													
航空機格納庫													
倉庫								1					1
事務所		1		1			1						3
複合用途（特定）							2					1	3
複合用途（非特定）		1		1									2
地下街													
準地下街													
文化財													
その他	1										1		2
計	4	3	1	2	2	2	6	4		2	2	5	33
自動車車両		2		2				2					6
鉄道車両													
船舶													
航空機													
林野												1	1
その他	5		1	2	2	1	2	1				3	17
計	5	2	1	4	2	1	2	3				4	24
合計	9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57

1 2 - 1 地区別火災発生状況（その1）

地区別	火災種別		火災件数					焼損棟数										り災世帯数				焼損面積								
			屋 外					火 元					類 焼					全 損	半 損	小 損	計	り災人員	焼損床面積 (m <sup>2</sup> )	焼損表面積 (m <sup>2</sup> )	林 野 (a)	そ の 他 (a)				
	建 物	船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	計	爆 発	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や										計			
厚木地区	7					1	8				1	6	7										1	1	2	3				
依知地区	8			3		4	15		1		3	4	8										4	4	11	45	6			3
睦合地区	1			1		2	4				1		1														5			
荻野地区	6					1	7		1		1	4	6													49	5			
小鮎地区	1					2	3		1				1													4				
玉川地区	3			1		1	5			1	2		3										1	1	2	64	9			
南毛利地区	6				1	2	9		1		2	3	6										2	2	10	28	8			2
相川地区	1			1		4	6					1	1											1	1					
合 計	33			6	1	17	57		4	1	10	18	33										1	9	10	29	193	33		5

1 2 - 2 地区別火災発生状況（その2）

57

火災種別 地区別	死傷者			損害額(千円)								
	死 者	負 傷 者	30 日 死 者	建 物		船 舶	航 空 機	車 両	林 野	そ の 他	爆 発	合 計
				建 造 物	収 容 物							
厚木地区				242	167					140		549
依知地区		1		2,902	1,476			2,170		18		6,566
睦合地区								102		32		134
荻野地区				12,889	667					1		13,557
小鮎地区				67	30							97
玉川地区		2		2,843	1,935			8		25		4,811
南毛利地区				373	528					2		903
相川地区		1			2			188		200		390
合 計		4		19,316	4,805			2,468		418		27,007

### 1 3 月別覚知別火災発生状況

(平成24年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災報知専用電話 (NTT加入を除く 固定電話から)	2			1		1	2			1	1	1	9
火災報知専用電話 (NTT加入の 固定電話から)	2	3	2	1	1			2				2	13
火災報知専用電話 (携帯電話から)	3	1		3	3	2	3	3		1	1	4	24
加入電話 (固定電話から)													
加入電話 (携帯電話から)	1												1
警察電話													
駆け付け通報													
事後聞知	1	1		1			3	2				2	10
その他													
合計	9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57

1 4 月別気象別火災発生状況

(平成24年中)

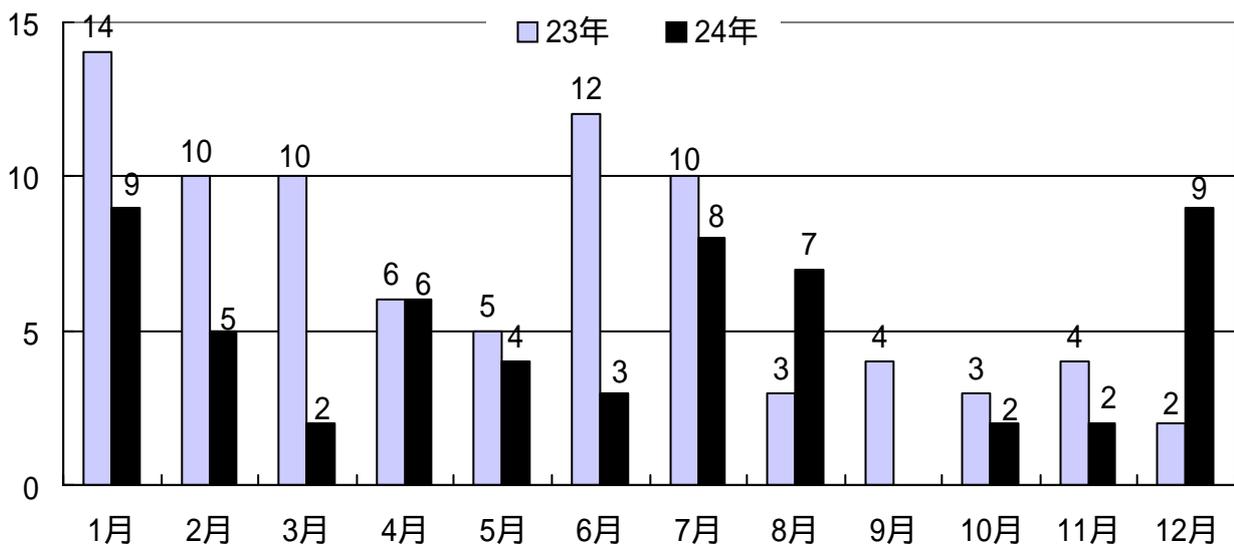
月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
		気象別													
風速別	1 m未満	4	2		2			1	2			2	3	16	
	1 m以上	4			1	1	2	3	2		1		5	19	
	2 m以上	1	1	1		3		2			1		1	10	
	3 m以上		2	1	1		1	2	2					9	
	4 m以上								1					1	
	5 m以上				1									1	
	6 m以上														
	7 m以上														
	8 m以上				1										1
	9 m以上														
	10 m以上														
	15 m以上														
不明															
合計		9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57	
湿度別	30%未満	2	1	1							1		2	7	
	30%以上	2		1		3		1	2				3	12	
	45%以上	2			1		1		1				1	6	
	55%以上		1		1			2	1		1		1	7	
	65%以上	1	2		1			1	1			1		7	
	75%以上	2	1		1		2	2	2				2	12	
	85%以上				2	1		2				1		6	
不明															
合計		9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57	
天気別	晴	7	4	2	1	2	1	4	6		1	1	6	35	
	曇	2	1		4	1	2	3	1		1	1	3	19	
	雨				1	1		1						3	
	雪														
	その他														
不明															
合計		9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9	57	

### 15 曜日別累年火災発生件数調

曜日 年別	日	月	火	水	木	金	土	不明	計
15	19	15	16	9	14	17	11	-	101
16	19	12	14	21	15	9	26	-	116
17	22	15	13	15	7	14	19	-	105
18	9	12	10	13	12	11	13	-	80
19	14	10	7	12	14	11	11	-	79
20	7	11	10	6	6	8	14	-	62
21	12	12	12	14	9	10	3	1	73
22	10	12	6	5	6	9	15	1	64
23	12	14	6	9	10	12	20	-	83
24	6	8	11	7	8	8	9	-	57

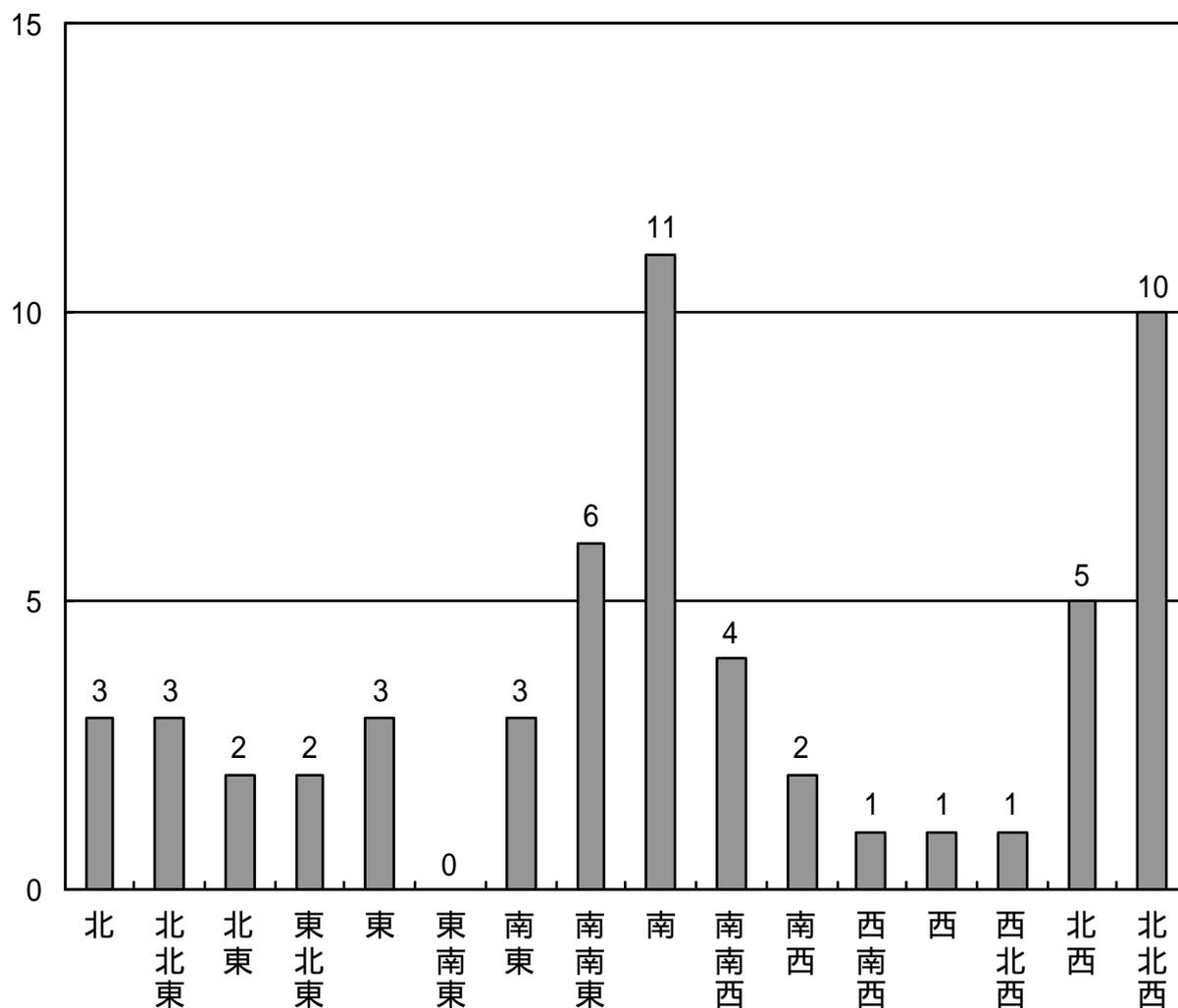
### 16 月別火災件数の比較調

月別 年別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
23年	14	10	10	6	5	12	10	3	4	3	4	2
24年	9	5	2	6	4	3	8	7		2	2	9



# 17 風向と火災件数

(平成24年中)



# 18 消防相互応援件数 (火災)

(平成24年中)

区分	応援市町村											
	横浜市	相模原市	平塚市	綾瀬市	海老名市	伊勢原市	大和市	秦野市	座間市	愛川町	清川村	合計
応援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2
東名高速	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
受援	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2
東名高速	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2

19 昭和35年以降の主な火災

(平成24年12月31日現在)

発生年月日	出火時分	出火場所	用途	全焼	半焼等	焼損面積(m <sup>2</sup> )	損害額(千円)	焼死者
S35.1.14	21:35	厚木1847	料亭 他	7	1	1,476	12,832	-
36.12.12	13:25	飯山524	住宅	4	3	417	2,045	-
37.4.5	1:00	厚木2573	住宅	3	1	234	2,058	-
10.5	20:45	厚木1812	組合事務所	2	3	700	4,374	-
38.12.13	12:34	厚木1332	住宅	1	-	12	6	1
39.3.12	1:00	金田916	工場	-	1	380	12,393	-
4.6	15:10	岡田1357	住宅	3	2	335	1,128	1
9.8	10:12	厚木1300先	米軍ジェット戦闘機	1	-	-	不明	1
10.20	19:30	厚木316	店舗・工場	1	-	549	17,772	-
40.1.21	12:20	上古沢74	林野	-	-	10(アール)	-	4
41.3.24	18:19	金田982	工場	2	1	5,219	331,025	-
6.14	22:43	飯山3061	工場	1	2	1,456	136,982	-
44.12.18	1:27	旭町4-16-10	住宅	-	1	25	1,210	1
45.1.7	12:20	飯山2367	学校	1	2	640	20,390	-
5.21	8:26	中町2-12-13	飲食店	1	-	756	28,903	-
7.8	20:16	幸町8-8	住宅	-	1	40	973	1
11.13	4:30	上依知2677	住宅	1	-	84	1,465	4
46.5.12	16:35	三田984	住宅	1	-	139	5,678	1
10.5	18:30	温水2200	工場	1	-	1,855	82,663	-
47.1.27	1:00	寿町1-9-1	住宅	4	3	348	17,684	-
2.20	1:14	厚木794-2	住宅	1	1	236	11,217	1
48.8.18	0:10	酒井2191	住宅	1	-	33	1,484	1
49.1.20	21:59	妻田247	住宅	3	-	535	58,249	-
5.25	10:30	中依知88-1	工場	1	-	3,942	218,443	-
50.4.30	23:42	金田871	工場	1	-	389	65,648	-
51.11.9	0:10	中町1-7-11	倉庫・住宅	1	3	201	23,543	-
52.1.20	23:27	温水2200	工場	1	-	1,865	59,533	-
6.29	2:20	寿町2-2-20	倉庫	1	-	509	30,703	-
53.1.30	13:58	妻田559-3	住宅	1	-	32	1,950	3
3.29	9:29	下依知49-4	住宅	-	1	28	3,609	1
54.2.12	7:30	金田160-2	住宅	1	-	150	17,978	1
5.17	3:50	旭町3-17-15	住宅	1	-	62	7,257	1
56.2.4	18:34	下荻野1150-2	住宅	-	1	23	2,591	2
2.24	4:40	金田519	住宅	-	1	52	3,463	1
5.5	16:48	三田3-4	住宅	3	-	132	30,909	1
57.1.9	3:04	飯山3061-3	工場	1	-	355	51,144	-
12.24	22:29	下荻野231	住宅	1	-	49	10,267	1
59.6.5	2:48	上荻野2688	工場	1	-	3,320	150,270	-
12.16	14:17	金田62-2	工場	2	-	727	73,277	-
60.4.19	10:41	恩名437	住宅	1	-	220	22,929	1
61.2.25	16:54	寿町2-8-18	住宅	1	1	457	32,487	-
62.8.4	3:20	戸田933	牛舎	3	-	582	35,272	-
63.11.11	17:21	猿ヶ島101	住宅	4	3	397	25,220	-
H元.6.20	21:15	三田2003	工場	1	-	2,399	272,534	-
7.1	1:15	飯山278	作業場	1	-	961	47,606	-
2.1.16	3:42	岡津古久910	事務所他	3	-	659	16,907	-
4.5.2	16:00	妻田西1-31-38	住宅(かや葺き)	1	3	273	34,631	-
9.18	21:10	森の里5-14-11	建築中住宅	1	4	167	15,790	-
5.1.22	20:45	愛甲375	住宅	1	-	416	39,400	-
2.18	11:27	下川入404-3	作業場	1	1	428	19,900	-
6.10.27	2:45	中町2-10-15	店舗	-	3	438	150,358	-
7.9.19	9:32	下荻野972-2	住宅	1	1	40	4,600	1
11.19	0:15	及川111	住宅	2	3	333	20,212	-
8.4.11	19:32	関口75	作業場	1	-	376	23,539	-
6.3	0:48	三田975	倉庫	2	-	217	10,974	-
9.7.24	13:05	金田378	住宅	1	1	137	16,658	-
10.1.31	23:37	上古沢1894	住宅	3	-	271	7,571	-
12.2.7	2:07	上依知592-14	倉庫	10	3	720	150,175	-
13.10.16	1:37	下川入216	作業場他	4	11	932	174,081	-
14.10.22	15:10	中町3-1-17	複合用途	-	1	132	24,764	-
15.10.24	19:00	下依知300	倉庫	-	1	2,232	225,205	-
16.6.9	3:24	金田699-1	工場	1	-	931	149,309	-
17.10.18	13:04	上依知421	工場	1	2	365	22,848	-
18.7.29	0:42	船子607-40	住宅	1	5	186	19,167	-
19.12.13	5:20	上依知1323	住宅	1	-	104	5,299	2
20.11.13	20:57	林3-14-43	住宅	1	2	134	20,966	1
21.5.27	10:31	温水2263-6	住宅	2	1	122	17,558	1
22.11.2	13:37	岡津古久560	工場	-	1	378	116,115	-
23.4.2	1:50	下依知1094	住宅	1	-	192	68,184	2

## 指令・通信の概要

### 1 通信業務

指令課では、24時間2交替勤務を行って、火災・救急その他の災害発生による119番の受信、消防隊等への出動命令、出動部隊との無線交信による災害状況等の把握及び出動部隊への防ぎよ活動上必要な情報伝達、救急病院との連絡等、消防通信全般を総轄しています。

「火事と救急は119」でおなじみの119番通報ですが、本来の目的である災害出動に伴う緊急通報以外に、火災や救急の問い合わせや、いたずら、消防機関に対する相談などといった誤った使用が多く見受けられます。

平成24年中の119番受信総件数は、15,693件で、前年に比べると267件増加し、1日の平均受信件数は、43件となっています。また、携帯電話等からの受信件数は、6,427件(全受信の41%)あり増加の傾向にあります。

#### (1) 119番受信状況(平成24年中)

( )内は、携帯電話等からの受信件数(内数)

種別	受信件数	比率(%)	種別	受信件数	比率(%)
火災	168 ( 110 )	1.1	いたずら	102 ( 50 )	0.6
救急	10,052 ( 4029 )	64.1	まちがい	619 ( 352 )	3.9
その他の災害	211 ( 114 )	1.3	試験・その他	3,114 ( 1056 )	19.9
問い合わせ	1,427 ( 716 )	9.1	計	15,693 ( 6,427 )	100

#### (2) 月別119番受信状況(平成24年中)

( )内は、携帯電話等からの受信件数(内数)

月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	1,339 (508)	1,240 (492)	1,321 (478)	1,230 (529)	1,299 (567)	1,212 (510)	1,386 (578)	1,305 (570)	1,223 (516)	1,288 (510)	1,325 (564)	1,525 (605)	15,693 (6,427)

#### (3) 119番受信状況の推移

( )内は、携帯電話等からの受信件数(内数)

年別	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
件数	14,459 (5,232)	14,725 (5,626)	14,703 (5,798)	15,426 (6,202)	15,693 (6,427)

#### (4) 指令係各種機器の現況

##### ア 高機能消防指令システム

指令台(PD9502A)3台・自動出動指定装置・地図等検索装置・長時間録音装置・非常用指令設備・指令制御装置・指令情報送信装置・指令情報出力装置・署所端末・災害状況等自動案内装置・順次指令装置・音声合成装置・出動車両運用監理装置・システム監視装置・電源設備(無停電電源設備含む)・遠隔録音装置・119番補助受付装置・電子メール指令装置・消防情報支援装置・災害現場支援情報検索装置

- イ 指揮台 (PD9503A) 1台
- ウ 動画像伝送受信装置
- エ NTT発信地表示装置
- オ 携帯・IP電話発信位置表示装置  
 携帯電話:(NTTドコモ・au・ソフトバンクモバイル・イーモバイル)  
 IP電話:(NTT-IP・KDDI・ソフトバンクテレコム・フュージョン)
- カ 表示盤  
 (ア) 車両運用表示盤  
 (イ) 多目的情報表示装置(東芝DL P50 インチ4面マルチプロジェクタ)  
 (ウ) 支援情報表示盤  
 (エ) 50インチプラズマディスプレイ(災害対策室・多目的情報表示装置連動)
- キ 無線統制台 (PD2234A)

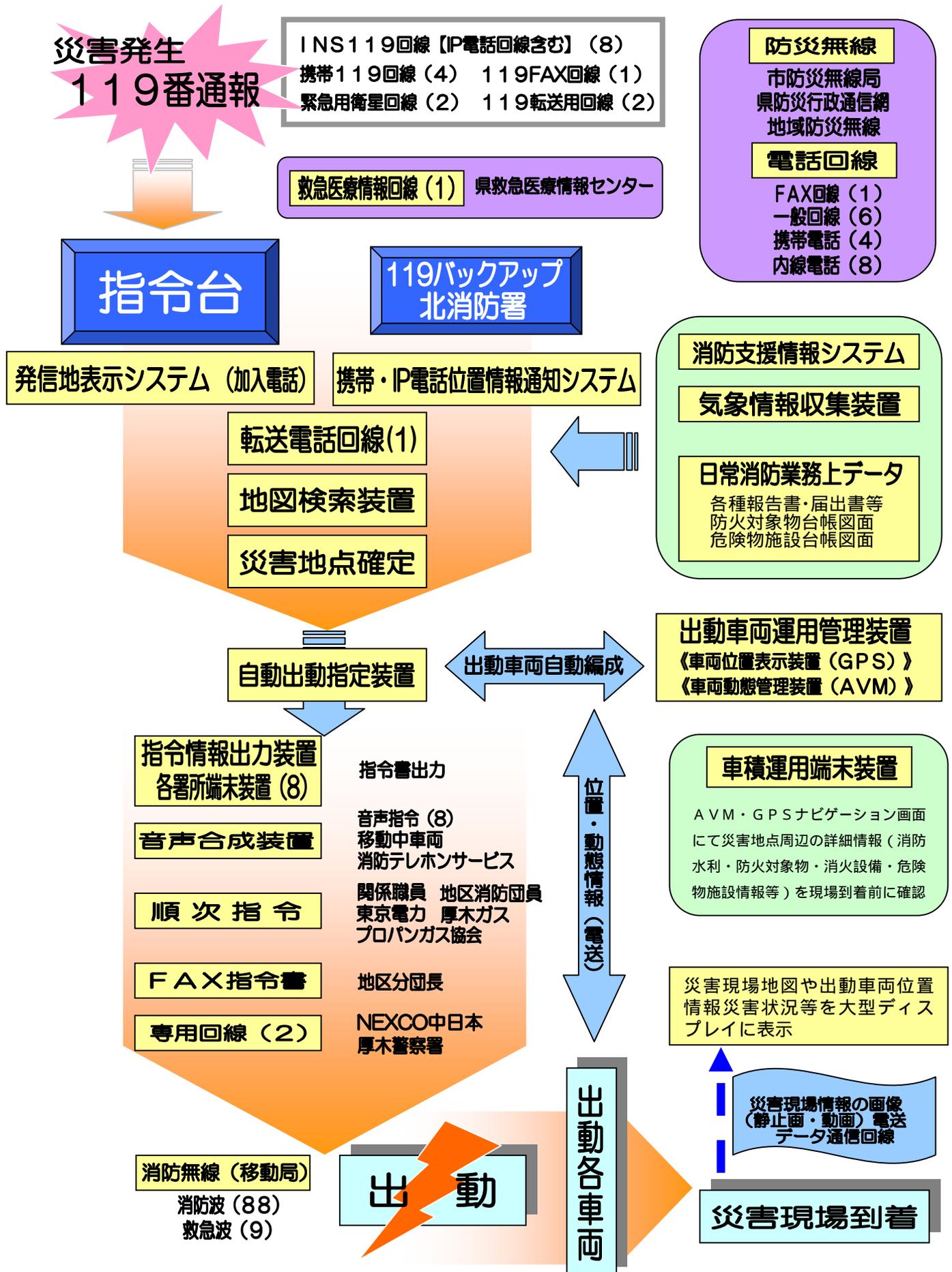
【 局数及び周波数 】

局名	波名	消防波	救急波
		市町村波(1)150.07MHz "  (2)151.43MHz 県波 152.77MHz 全国波(1)150.73MHz "  (2)148.75MHz "  (3)154.15MHz	147.76MHz 143.76MHz
基地局		2	2
半固定局		8 (分署6、北署1、指令室1)	
移動局		79 (内携帯43)	9

- ク 庁舎監視カメラ装置
- ケ 気象情報収集装置 (FWS-5803型)
- コ 救急医療情報システム
- サ 聴覚障害者専用緊急通報用ファクシミリ
- シ 市防災行政無線台 (富士通RC7100)
- ス 市地域防災無線装置
- セ 県防災行政通信網 (ファクシミリ付)
- ソ 消防団幹部等災害連絡用ファクシミリ (リコー)
- タ 震度情報表示盤
- チ 防災テレビ
- ツ 受令機
- テ Em - NET (緊急情報ネットワークシステム)
- ト J - ALERT (全国瞬時警報システム)

## 2 消防通信系統図

### 高機能消防通信指令システムフロー図



# 気 象

## 1 厚木市の気象状況

### (1) 天候 (9時現在調)

(平成24年中)

月別 区分	合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
晴(日数)	184	20	16	15	13	16	9	11	23	13	13	18	17
曇(日数)	130	9	6	10	9	11	13	17	7	13	16	8	11
雨(日数)	49	1	5	6	8	4	8	3	1	4	2	4	3
雪(日数)	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### (2) 気 温 ( )

(平成24年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高気温	35.3	12.2	15.3	19.0	24.4	27.7	29.6	34.9	35.3	32.6	30.2	21.8	16.1
最低気温	-3.5	-3.5	-3.5	-0.5	1.8	8.7	14.6	17.1	22.6	17.9	9.7	1.9	-2.0
平均気温	15.3	3.6	4.6	8.0	13.7	18.5	20.8	25.8	27.8	24.9	18.7	11.4	5.8

### (3) 相対湿度 (%)

(平成24年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高湿度	97.5	97.5	97.5	95.8	95.0	93.3	97.5	92.5	90.8	93.8	92.7	95.5	96.6
最低湿度	5.5	18.6	12.4	5.5	5.5	22.4	26.3	39.4	31.1	35.8	19.9	10.2	13.3
平均湿度	64.5	60.1	57.9	62.0	64.1	65.3	69.3	70.8	67.4	70.2	63.1	63.2	60.5

### (4) 風向・風速 (M/S)

(平成24年中)

月別 区分	記録	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平均風向	北北西	北	北	北	北北西	北北西	北北西	南南東	南	北北西	北北西	北	北
平均風速	1.8	1.5	1.6	2.0	2.1	1.9	1.9	2.1	2.0	2.2	1.8	1.3	1.5
瞬間最大風速 及び 風向	31.8	16.4	16.8	20.4	28.9	21.5	31.8	15.7	17.4	29.6	17.2	14.9	16.2
	南南東	北北西	南西	南南西	南南東	西南西	南南東	南南西	南南西	南南東	南西	西南西	南西

## 2 気象通報発令状況調

(平成24年中)

種別	月別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	合計		436	45	39	26	35	49	23	36	28	54	19	36
警 報	暴風	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大雨	12	-	1	-	-	3	2	1	1	4	-	-	-
	洪水	9	-	-	-	-	1	2	1	1	4	-	-	-
	波浪	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	21	-	1	-	-	4	4	2	2	8	-	-	-
注 意 報	強風	8	-	2	1	2	-	1	-	-	1	-	1	-
	大雨	47	-	-	-	1	8	4	6	6	13	4	4	1
	洪水	45	-	-	-	1	7	4	5	6	13	4	4	1
	大雪	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	雷	80	2	3	6	8	11	4	15	9	10	4	5	3
	乾燥	20	1	5	3	2	1	-	-	-	-	-	4	4
	濃霧	12	-	1	3	3	-	-	-	-	-	-	2	3
	霜	6	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
	低温	25	14	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
	その他	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計	249	21	18	15	21	27	13	26	21	37	12	20	18
情 報	台風について	5	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1	-	-
	地震について	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	雨について	21	-	4	-	-	8	-	2	-	6	1	-	-
	雪について	8	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	その他	131	20	13	11	14	10	3	6	4	2	5	16	27
	小計	166	24	20	11	14	18	6	8	5	9	7	16	28

### 3 累年降雨量調

年区分		月別												
		合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
15年	降水日数	114	6	7	9	14	7	8	19	9	7	9	14	5
	月間総雨量	1,820.5	97.0	39.5	152.5	139.5	146.0	58.0	252.5	349.5	123.5	166.5	241.0	55.0
16年	降水日数	102	3	4	7	10	11	7	9	11	13	16	7	4
	月間総雨量	1,690.5	9.5	33.0	70.0	75.5	125.0	99.0	80.5	113.0	166.0	715.0	122.0	82.0
17年	降水日数	102	6	8	11	9	7	10	11	9	11	14	4	2
	月間総雨量	1,401.5	53.5	57.5	82.0	78.5	70.5	134.0	318.0	202.0	175.5	204.0	22.5	3.5
18年	降水日数	123	7	9	8	10	17	12	14	10	10	10	9	7
	月間総雨量	1,762.5	49.0	134.5	97.5	137.5	153.5	230.5	205.5	157.5	129.5	213.0	101.0	153.5
19年	降水日数	108	6	5	6	15	10	7	19	8	9	10	6	7
	月間総雨量	1,477.5	49.5	42.5	62.0	112.5	127.5	85.0	404.5	83.0	291.0	115.5	28.0	76.5
20年	降水日数	120	6	8	10	12	14	12	9	17	11	8	7	6
	月間総雨量	1,975.5	18.0	42.5	118.0	207.0	333.0	211.5	76.5	393.0	256.5	197.5	64.5	57.5
21年	降水日数	125	8	8	12	6	11	16	16	7	8	12	15	6
	月間総雨量	1,553.5	146.0	69.5	90.5	167.5	162.5	177.0	137.0	168.0	58.0	180.0	137.0	60.5
22年	降水日数	125	4	12	15	15	12	13	10	6	12	12	8	6
	月間総雨量	1,876.5	12.0	118.5	196.5	198.0	104.5	146.5	107.0	126.0	386.0	210.0	71.5	200.0
23年	降水日数	117	1	10	8	8	13	12	13	15	13	10	7	7
	月間総雨量	1,471.5	1.0	111.0	75.5	64.0	223.5	133.0	78.5	245.5	254.5	147.0	86.5	51.5
24年	降水日数	120	7	8	11	12	10	16	10	5	13	11	7	10
	月間総雨量	1,698.0	45.0	125.0	148.5	151.0	242.0	252.0	158.0	21.5	232.5	98.5	137.0	87.0

雨量の単位：ミリメートル

消防署部隊の出動・訓練概要

1 月別部隊出動状況

月別 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12		
	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員	件数	車両	人員			
合計	10,522	11,480	34,887	863	931	2,842	822	896	2,727	845	890	2,693	801	868	2,652	830	913	2,770	793	846	2,580	949	1,167	3,498	934	1,026	3,121	808	840	2,550	880	947	2,889	909	973	2,970	1,088	1,183	3,595
火災	57	322	1,082	8	39	131	6	35	117	2	11	36	6	27	95	4	30	99	3	22	77	8	40	134	7	35	117	-	-	-	2	18	59	2	18	64	9	47	153
救急	10,201	10,201	30,603	833	833	2,499	799	799	2,397	828	828	2,484	775	775	2,325	803	803	2,409	766	766	2,298	908	908	2,724	903	903	2,709	787	787	2,361	860	860	2,580	882	882	2,646	1,057	1,057	3,171
救助	110	730	2,348	7	38	127	7	42	141	10	46	153	9	54	184	10	59	192	5	34	118	15	197	558	12	68	222	6	25	85	12	63	226	8	45	151	9	59	191
警戒	124	187	719	15	21	85	10	20	72	5	5	20	9	10	40	6	8	30	5	7	28	15	18	70	12	20	73	12	25	92	5	5	20	17	28	109	13	20	80
風水害	30	40	135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	8	7	13	40	14	17	59	3	4	12	-	-	-	3	3	12	1	1	4	-	-	-	-	-	-

2 月別部隊訓練等状況

月別 種別	合計			1			2			3			4			5			6			7			8			9			10			11			12			
	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員	回数	時間	人員				
合計	2,942	5,262	12,973	146	201	586	156	229	598	180	314	719	361	757	1,720	380	903	1,889	328	660	1,490	203	344	786	226	348	852	285	465	1,323	239	361	1,075	259	426	1,143	179	255	792	
消防操法	31	56	154	2	4	8	2	5	12	1	1	4	-	-	-	1	1	7	2	4	7	-	-	-	1	1	4	8	17	40	9	17	46	3	3	15	2	4	11	
梯子車 架てい操法	91	153	346	5	6	17	4	5	17	8	15	31	7	11	15	-	-	-	9	17	31	7	9	25	15	24	57	13	27	62	7	13	28	9	17	31	7	9	32	
揚水、放水	88	114	375	3	4	14	9	12	37	8	13	34	13	16	53	4	4	16	9	15	44	1	1	4	6	6	24	9	11	36	10	11	46	8	11	35	8	12	32	
走行	724	936	2,451	57	72	203	56	68	190	45	62	148	63	93	218	61	50	173	54	65	179	65	84	216	74	100	247	76	105	264	56	72	204	65	90	232	52	75	177	
消防器具	386	579	1,587	40	61	162	35	56	124	27	42	94	35	46	113	13	18	42	28	41	116	26	31	102	33	52	139	32	52	145	49	84	257	36	51	151	32	45	142	
梯子車 現地架てい	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
救助	794	2,161	4,199	7	12	29	18	34	78	49	108	223	172	476	977	251	768	1,449	122	361	627	29	83	133	26	59	110	24	47	123	38	75	163	42	111	203	16	28	84	
救助器具	214	327	951	10	15	52	15	27	65	19	36	88	13	23	57	7	7	24	21	33	94	11	20	41	26	38	101	32	45	154	20	27	100	21	32	91	19	26	84	
救命ボート	14	36	123	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	34	119	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4
救急	481	659	1,958	19	23	80	15	20	64	20	29	76	43	55	147	41	52	157	58	78	239	47	63	169	44	67	166	60	94	284	44	56	179	59	82	251	31	42	146	
礼式	31	28	209	1	1	7	2	2	11	2	2	14	2	3	21	1	1	7	-	-	-	1	1	7	-	-	-	4	4	17	5	4	40	7	6	51	6	4	34	
潜水	17	55	106	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	14	1	1	7	15	51	85	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水防	24	47	147	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	45	143	1	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
演習	19	47	166	2	3	14	-	-	-	1	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	1	3	12	9	24	83	5	9	46	
地震初動 態勢訓練	28	65	201	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	-	-	1	2	4	26	62	194	-	-	-	-	-	-	-	-		

救 急



# 救急救命

## 1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制

救急現場から医療機関への搬送途上で救急救命士等が行う応急処置の質の向上のため、厚木市消防本部は、湘南・県央の一部・県西地区の15消防本部を統轄する湘南地区メディカルコントロール協議会に加盟し、活動しています。

主な活動内容は、医師による救急救命士への指示及び救急隊員への指導・助言、救急活動の医学的観点からの事後検証体制の充実、病院実習等の再教育及び各種研修会の開催となっています。

### 救急救命士の教育（病院実習）状況 （平成24年度）

区分	人数	区分	人数
救急救命士の再教育実習	6	生涯教育講座 （救急セミナー）	247
気管挿管病院実習	1		
薬剤投与病院実習	2		

### 事後検証実施状況

一次検証	件数	二次検証	件数
	9,466		196

### 指示・指導・助言実施状況

件数
197

一次検証とは、救急技術指導者（消防職員）が部隊活動、医学的判断、処置について検証を行う。  
二次検証とは、一次検証の中から心肺停止症例、重症外傷症例等について検証医師が検証を行う。

## 2 応急手当普及啓発活動

救急車が到着するまでの間、救急現場に居合わせた人の一刻も早い応急手当が、傷病者救命のために大変重要なこととなるため、市民の方々に心肺蘇生法の実技指導を中心とした各種講習会を実施しています。また、だれでもが自動体外式除細動器（心臓の不整脈等が原因で発生する心肺停止傷病者へ電気ショックを行う医療機器）の使用ができることとなり、応急手当等の技術習得に市民の関心が、年々高まっています。

### 救命講習会実施状況

	平成6年度～累計		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
普及員	13	355	1	42	1	31	2	41	4	92
上級	28	941	2	53	2	39	1	28	2	62
普通	1,398	32,759	93	2,248	105	2,135	103	2,312	120	2,767
一般	1,013	34,419	87	2,409	72	2,498	87	2,851	105	5,035
合計	2,452	68,474	183	4,752	180	4,703	193	5,232	231	7,956

応急手当普及員講習の件数及び受講者数については、普及員再講習の件数及び受講者数を含む。

## 救急活動

### 1 救急活動の概要

平成 24 年中の救急出動件数は 10,201 件で、救急業務を開始後、初めて 1 万件を超える件数となり、前年に比べ 319 件 (3.1%) の増、搬送人員は 9,508 人で、前年に比べ 192 人増となり、1 日当りの平均は、出動件数が 27.9 件、搬送人員は 26 人で、これは約 51 分に 1 回の割合で救急車が出動したことになります。

事故種別ごとの出動件数は、急病が 6,363 件で全体の 62.4% を占め、次いで一般負傷 1,352 件で全体の 13.3%、交通事故 1,246 件で全体の 12.2% の順になっております。

\* 表中にある事故種別は、次のように区分しています。

火 災・・・火災現場において、直接火災に起因して生じた事故をいう。

自然災害・・・暴風、豪雨等の自然現象に起因する災害による事故をいう。

水 難・・・水泳中 (運動競技によるものを除く) の溺者又は水中転落等の事故をいう。

交 通・・・交通機関相互の衝突等若しくは歩行者が交通機関に接触したこと等による事故をいう。

労働災害・・・工場等において就業中発生した事故をいう。

運動競技・・・運動競技中に発生した事故をいう。

一般負傷・・・他に分類されない不慮の事故をいう。

加 害・・・故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。

自損行為・・・故意に自分自身に傷害等加えた事故をいう。

急 病・・・疾病によるもので救急業務として取り扱ったものをいう。

そ の 他・・・医療機関から医療機関へ搬送されたもの又は災害現場へ医師、看護師等を搬送したものをいう。

不 搬 送・・・傷病者搬送拒否、容態回復等をいう。

\* 表中にある傷病者程度は、次のように分類しています。

死 亡・・・初診時において、死亡が確認されたもの。

重 症・・・傷病の程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの。

中 等 症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。

軽 症・・・傷病の程度が入院を必要としないもの。

そ の 他・・・医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

## 2 救急活動累年比較調

(平成24年中)

事故種別	区分 \ 年別	20	21	22	23	24
		合計	救急件数	8,935	9,055	9,640
	搬送人員	8,315	8,431	9,022	9,316	9,508
火災	救急件数	43	63	53	67	60
	搬送人員	4	12	9	12	3
自然災害	救急件数	-	-	-	4	4
	搬送人員	-	-	-	4	2
水難	救急件数	2	8	7	8	4
	搬送人員	-	3	1	4	2
交通	救急件数	1,290	1,366	1,388	1,285	1,246
	搬送人員	1,330	1,409	1,405	1,340	1,283
労働災害	救急件数	123	82	108	118	103
	搬送人員	120	80	106	119	103
運動競技	救急件数	72	69	74	70	73
	搬送人員	73	65	74	71	73
一般負傷	救急件数	1,061	1,067	1,203	1,248	1,352
	搬送人員	1,001	1,004	1,132	1,186	1,286
加害	救急件数	91	109	101	91	94
	搬送人員	71	89	92	85	93
自損行為	救急件数	158	178	164	160	138
	搬送人員	133	143	130	128	109
急病	救急件数	5,286	5,392	5,800	6,082	6,363
	搬送人員	4,940	5,033	5,471	5,783	5,960
その他	救急件数	809	721	742	749	764
	搬送人員	643	593	602	584	594
不搬送件数		748	762	744	720	824

不搬送件数は内数

### 3 月別救急活動調

(平成24年中)

月別	区分	計	救急事故種別										
			火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
	救急件数	10,201	60	4	4	1,246	103	73	1,352	94	138	6,363	764
合計	搬送人員	9,508	3	2	2	1,283	103	73	1,286	93	109	5,960	594
1	救急件数	833	7	-	-	70	5	4	115	6	7	570	49
	搬送人員	771	-	-	-	77	5	4	104	6	6	530	39
2	救急件数	799	6	1	-	100	4	2	94	5	11	514	62
	搬送人員	743	-	1	-	98	4	2	90	6	9	481	52
3	救急件数	828	4	-	-	84	15	4	104	8	9	529	71
	搬送人員	774	-	-	-	93	15	4	95	6	6	500	55
4	救急件数	775	4	3	-	92	8	5	101	4	16	489	53
	搬送人員	732	1	1	-	95	8	5	96	4	13	467	42
5	救急件数	803	6	-	-	105	10	8	104	13	15	481	61
	搬送人員	727	-	-	-	104	11	8	100	15	11	435	43
6	救急件数	766	5	-	-	93	8	10	110	8	12	459	61
	搬送人員	716	-	-	-	95	8	10	107	8	8	428	52
7	救急件数	908	8	-	3	117	9	6	119	9	12	563	62
	搬送人員	843	-	-	1	122	8	6	114	8	10	528	46
8	救急件数	903	4	-	1	110	11	6	108	10	9	572	72
	搬送人員	845	1	-	1	116	11	6	104	7	8	541	50
9	救急件数	787	1	-	-	102	7	9	107	8	13	468	72
	搬送人員	729	-	-	-	106	7	9	99	7	10	440	51
10	救急件数	860	3	-	-	133	9	9	128	9	9	504	56
	搬送人員	808	1	-	-	132	9	9	122	11	9	469	46
11	救急件数	882	3	-	-	125	9	6	129	2	12	533	63
	搬送人員	833	-	-	-	126	9	6	125	2	8	502	55
12	救急件数	1057	9	-	-	115	8	4	133	12	13	681	82
	搬送人員	987	-	-	-	119	8	4	130	13	11	639	63

#### 4 署所別救急活動調

(平成24年中)

事故種別	区分 署別	計	厚 木 消 防 署			北 消 防 署		
			本 署	南毛利分署	相川分署	本 署	依知分署	睦合分署
合 計	救急件数	10,201	2,766	1,784	1,187	1,555	1,281	1,628
	搬送人員	9,508	2,514	1,697	1,133	1,448	1,207	1,509
火 災	救急件数	60	14	12	6	9	11	8
	搬送人員	3	-	2	-	-	1	-
自然災害	救急件数	4	-	-	-	2	2	-
	搬送人員	2	-	-	-	1	1	-
水 難	救急件数	4	1	1	1	-	1	-
	搬送人員	2	1	-	1	-	-	-
交 通	救急件数	1,246	312	202	203	162	165	202
	搬送人員	1,283	308	214	213	168	173	207
労働災害	救急件数	103	21	16	17	12	26	11
	搬送人員	103	21	15	18	12	26	11
運動競技	救急件数	73	16	9	6	19	10	13
	搬送人員	73	16	9	6	19	10	13
一般負傷	救急件数	1,352	392	234	142	211	153	220
	搬送人員	1,286	369	224	139	201	148	205
加 害	救急件数	94	28	14	9	14	10	19
	搬送人員	93	27	14	8	14	10	20
自損行為	救急件数	138	36	26	21	25	16	14
	搬送人員	109	29	21	17	17	12	13
急 病	救急件数	6,363	1,677	1,131	680	1,007	851	1,017
	搬送人員	5,960	1,553	1,078	649	935	805	940
その他	救急件数	764	269	139	102	94	36	124
	搬送人員	594	190	120	82	81	21	100
不 搬 送 件 数		824	275	114	79	120	93	143

不搬送件数は内数

## 5 月別覚知別救急件数調

(平成24年中)

月別 覚知別	計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
合計	10,201	833	799	828	775	803	766	908	903	787	860	882	1057
119	9,555	790	758	780	722	756	715	855	835	733	805	818	988
加入電話	456	31	29	31	39	27	37	39	46	38	42	44	53
東名 専用電話	7	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	2	1
かけつけ 通報	43	4	4	5	2	4	4	1	8	2	2	4	3
消防 専用電話	19	1	-	1	3	4	2	2	-	2	1	3	-
その他	121	7	8	11	9	12	8	11	14	9	9	11	12

## 6 曜日別救急件数調

(平成24年中)

曜日別	計	救 急 事 故 種 別										
		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	10,201	60	4	4	1,246	103	73	1,352	94	138	6,363	764
日	1,514	7	-	2	141	8	31	221	21	24	971	88
月	1,509	6	-	-	180	19	4	160	15	27	978	120
火	1,425	9	3	1	180	16	9	193	17	19	862	116
水	1,449	11	1	-	195	19	5	218	9	16	870	105
木	1,420	13	-	1	181	11	6	169	12	17	917	93
金	1,460	5	-	-	170	17	3	198	14	17	887	149
土	1,424	9	-	-	199	13	15	193	6	18	878	93

## 7 年齢別搬送人員調

(平成24年中)

年齢区分	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,508	3	2	2	1,283	103	73	1,286	93	109	5,960	594
新生児 (生後28日以内)	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	36
乳幼児 (29日以上7歳未満)	481	-	-	-	40	-	-	151	-	-	268	22
少年 (7歳以上18歳未満)	454	-	-	-	160	-	31	73	9	1	163	17
成人 (18歳以上65歳未満)	4,367	2	1	2	939	93	40	360	75	97	2,543	215
高齢者 (65歳以上)	4,167	1	1	-	144	10	2	702	9	11	2,983	304

## 8 傷病程度別搬送人員調

(平成24年中)

傷病程度	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	9,508	3	2	2	1,283	103	73	1,286	93	109	5,960	594
死亡	147	-	-	1	4	1	-	7	1	17	115	1
重症	696	-	-	-	27	8	2	39	-	12	442	166
中等症	4,101	-	1	1	300	38	35	470	26	36	2,807	387
軽症	4,564	3	1	-	952	56	36	770	66	44	2,596	40
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

9 傷病程度別年齢区分別搬送人員調

(平成24年中)

傷病程度	計	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
合計	9,508	39	481	454	4,367	4,167
死亡	147	-	1	1	48	97
重症	696	13	12	10	254	407
中等症	4,101	23	165	148	1,584	2,181
軽症	4,564	3	303	295	2,481	1,482
その他	-	-	-	-	-	-

10 救急隊員の行った応急処置件数調

(平成24年中)

区分 事故種別	対応 象急 人処 員置	合 計	応急処置												特定行為等				
			小 計	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	心 肺 蘇 生	酸 素 吸 入	気 道 確 保	血 圧 測 定	血 中 酸 素 飽 和 度 測 定	心 電 図	そ の 他	小 計	除 細 動	輸 液	気 道 確 保	薬 剤 投 与
合計	9,473	28,260	27,806	136	1,135	10	-	196	1,789	151	8,978	9,286	3,533	2,592	454	22	179	144	109
急病	5,950	17,565	17,212	26	37	6	-	151	1,385	115	5,651	5,815	2,890	1,136	353	22	137	115	79
交通	1,278	4,103	4,088	18	727	-	-	6	64	3	1,253	1,272	139	606	15	-	6	5	4
一般 負傷	1,274	3,641	3,595	70	269	1	-	18	65	8	1,164	1,251	166	583	46	-	17	16	13
その他	971	2,951	2,911	22	102	3	-	21	275	25	910	948	338	267	40	-	19	8	13

特定行為中の気道確保は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して行ったもの。

11 一般市民の行った応急手当件数調

(平成24年中)

事故種別	計	止血	気道確保	人工呼吸	心肺蘇生	その他
合計	605	114	36	1	89	365
急病	304	13	33	1	74	183
交通	66	8	-	-	-	58
一般負傷	185	78	2	-	7	98
その他	50	15	1	-	8	26

12 発生地区別救急件数調

(平成24年中)

地区名	計	救急事故種別											
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一搬負傷	加害	自損行為	急病	その他	
合計	10,201	60	4	4	1,246	103	73	1,352	94	138	6,363	764	
小計	10,037	60	4	3	1,193	102	73	1,337	94	137	6,289	745	
厚木	2,168	17	0	-	208	10	9	329	33	19	1,275	268	
依知	1,428	11	3	2	195	33	4	167	13	18	956	26	
睦合	1,722	5	1	1	227	10	13	222	14	25	1,096	108	
荻野	1,086	8	-	-	92	1	20	152	11	14	721	67	
小鮎	549	2	-	-	51	10	10	71	5	9	360	31	
玉川	263	3	-	-	20	1	3	26	2	-	128	80	
南毛利	1,868	11	-	-	265	12	7	248	13	38	1,151	123	
相川	579	2	-	-	117	18	3	65	2	11	353	8	
緑ヶ丘	159	-	-	-	12	6	-	22	-	2	108	9	
宮の里	61	-	-	-	2	-	-	11	-	1	47	-	
森の里	154	1	-	-	4	1	4	24	1	-	94	25	
小計	164	-	-	1	53	1	-	15	-	1	74	19	
管外	清川	116	-	-	1	13	1	-	14	-	1	67	19
	他都市	3	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-
東名高速	44	-	-	-	37	-	-	1	-	-	6	-	
小田原厚木路	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	

### 13 時間別救急件数調

(平成24年中)

時間別	計	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	10,201	60	4	4	1,246	103	73	1,352	94	138	6,363	764
0~2	516	5	-	-	29	-	-	55	13	14	376	24
2~4	404	2	-	-	19	3	-	31	11	7	312	19
4~6	446	1	-	-	36	1	-	39	3	8	337	21
6~8	682	7	-	-	109	7	-	84	4	9	439	23
8~10	1,060	3	1	1	134	11	4	145	1	8	690	62
10~12	1,115	5	-	-	123	17	19	167	8	10	646	120
12~14	1,063	2	-	1	127	16	18	164	6	9	597	123
14~16	1,050	12	-	-	140	20	18	157	6	14	567	116
16~18	1,082	2	-	2	190	13	6	150	8	13	585	113
18~20	1,110	8	2	-	189	8	4	148	5	22	658	66
20~22	912	5	1	-	96	3	3	127	13	15	609	40
22~24	761	8	-	-	54	4	1	85	16	9	547	37

### 14 消防相互応援件数(救急)

(平成24年中)

区分	計	横	相	平	綾	海	伊	大	秦	座	愛	清	町
		浜市	模原市	塚市	瀬市	老名市	勢原市	和市	野市	間市	川町	川村	田市
応援	120	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	116	-
東名高速	26	-	-	-	1	8	8	-	9	-	-	-	-
受援	3	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-
東名高速	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

東名高速応援の件数については、東名高速道路上に出動した厚木市地内の件数(18件)は含めてない。

15 救急支援出動件数

(平成24年中)

出動基準	小東田名原厚木道路路	線国道129号・246号	全 (C 疑い P 含む A 。症 例)	救急隊到着遅延	集団救急事故	その他			合計	ドクターヘリ要請に伴う支援出動
						救急隊長の要請	指令係長の判断	重症患者に伴う支援出動		
件数	30	59	302	19	-	70	32	393	905	8

救

助



## 救助活動の概要

平成24年中の救助出動件数は、110件で前年に比べ11件の減少となっている。事故種別による出動件数は、建物等による事故が33件、火災が26件、その他の事故23件、交通事故が22件、ガス及び酸欠事故が3件、水難事故2件、風水害等自然災害が1件の順となっている。

活動件数は、89件で前年に比べ3件の増加（救助出動件数に対する活動件数の率は、80.9%）となっている。また、被救助人員は、70人で前年に比べ6人の減少となっている。建物等による事故による被救助人員が27人で全体の38.6%を占め、交通事故及びその他の事故による被救助人員は、ともに18人で全体の25.7%となっている。

地区別救助出動件数では、5地区が10件以上で、その中でも、厚木地区が22件で最も多く、全体の21.5%を占め、続いて睦合地区の20件、依知地区の18件と続いている。

### 1 救助出動状況調

#### (1) 救助出動件数 (平成24年中)

区分 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害等 自然災害	建物等	ガス及 び酸欠	その他	計
出動件数	26	22	2	1	33	3	23	110
延べ出動隊員数	803	376	317	20	438	53	347	2,354
活動件数	26	13	2	1	28	2	17	89
延べ活動隊員数	126	85	239	12	150	9	114	735
被救助人員	3	18	2	-	27	2	18	70

#### (2) 地区別救助出動件数 (平成24年中)

区分 \ 地区別	厚木	依知	睦合	荻野	小鮎	玉川	南毛利	相川	東名	応援等	計
火災	5	6	1	4	1	3	5	1	-	-	26
交通事故	2	3	4	4	-	1	2	2	3	1	22
水難事故	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
風水害等自然災害	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
建物等による事故	11	4	8	2	1	-	6	1	-	-	33
ガス及び酸欠事故	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	3
その他	4	2	6	3	2	2	2	1	-	1	23
計	22	18	20	13	5	6	16	5	3	2	110

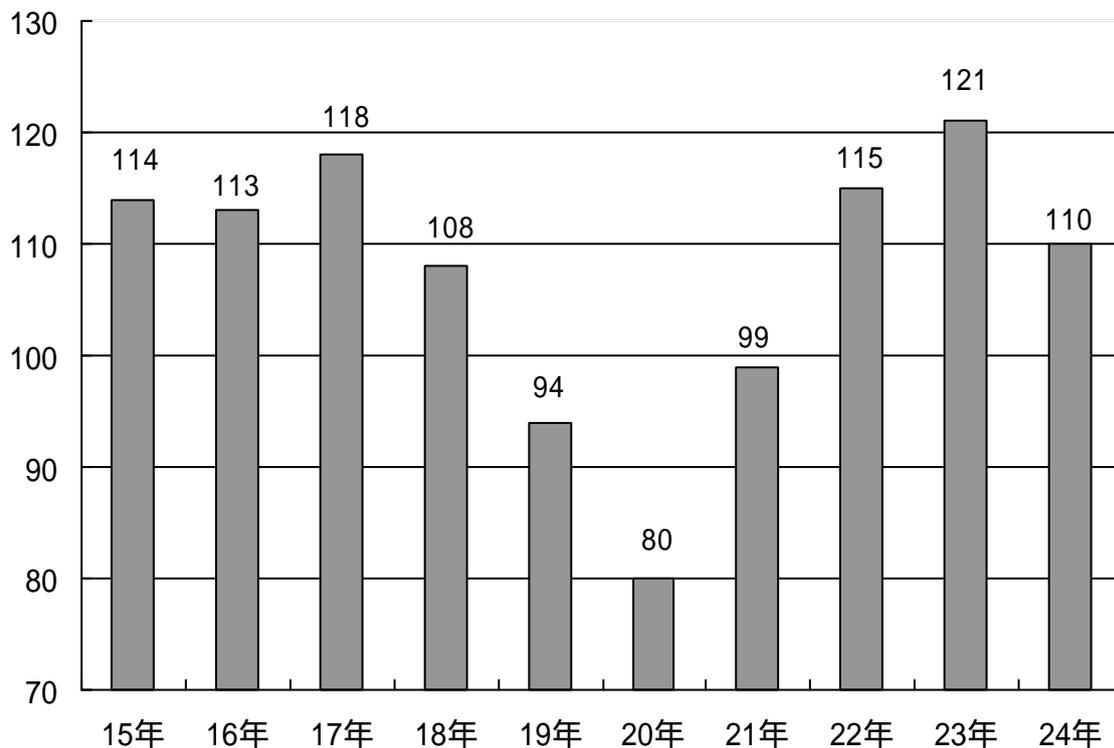
東名の件数については、市内件数を含める。

(3) 消防相互応援件数（救助）

(平成 24 年中)

区分	応援市町村									
	横浜市	相模原市	海老名市	伊勢原市	座間市	秦野市	愛川町	寒川町	清川村	計
応援	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2
東名高速	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2
受援	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
東名高速	4	-	-	-	-	-	-	-	-	4

(4) 救助出動の推移



## (5) 主な人命救助活動

(平成24年中)

発生日	時 分	種 別	事故概要及び活動状況	使用資機材
3月22日	(覚 知) 12時39分 (救 出) 14時43分	山岳救助	ハイカーが下山中転倒し負傷したもの。要救助者接触後、航空機特別応援に基づき川崎市消防局航空隊のヘリコプターを要請、パーティカルストレッチャーに縛着した要救助者を同時介添えでホイストにて救出し、荻野運動公園に待機していた救急隊に引継ぎ救助完了する。	1 山岳資器材 2 パーティカルストレッチャー
7月5日	(覚 知) 13時33分 (救 出) 7月10日 9時13分	水難事故	相模川で遊泳中に流されたもの。救命ボート、徒歩にて検索及び潜水検索活動を実施。圏央道橋脚付近に浮かんでいる要救助者を発見し救出する。5日間延べ83隊290人出動の活動となった。	1 潜水器具一式 2 救命ボート 3 スバリ 4 浮標 5 各種ロープ類
8月21日	(覚 知) 14時40分 (救 出) 16時03分	その他の事故(労働災害)	工場内で崩れた鉄板(230枚・23t)に作業員が下敷きになったもの。工場内天井クレーン(20t)及びマット型空気ジャッキにより間隙を作り救出する。	1 マット型空気ジャッキ 2 敷板等 3 ベルトスリング等

## 2 救助技術の強化

多種多様化する人命救助事案に対して身体の鍛錬と救助技術を習得するとともに、他都市との合同訓練を通じ、大規模災害への広域的な連携強化を図ることを目的とする。

(平成24年中)

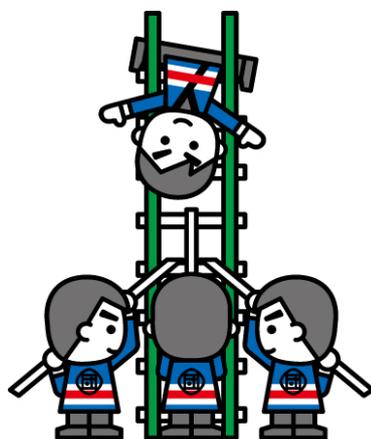
訓練等区分	月 日	場 所	参加人員	内 容
水難救助合同訓練	5月28日	海老名市社家 4587番地西側 相模大堰	33人	3市・1町(厚木市・海老名市・座間市・愛川町)合同により、基本・応用・想定訓練を実施
第40回全国消防救助技術大会	8月7日	東京都江東区 豊洲6丁目 区画整理地内	5人	ほふく救出 1組 3人 ロープ応用登はん 1組 2人
国際消防救助隊 県内合同訓練	11月7日	横浜市消防 訓練センター	7人	国際消防救助隊訓練に参加し実災害に即した実践的な訓練を実施
川崎市消防局航空隊 合同山岳救助訓練	11月10日 11月11日	七沢弁天の森 キャンプ場東側 南沢林道 他	61人	航空機(ヘリコプター)を活用した実践的山岳救助訓練を実施
緊急消防援助隊 関東ブロック訓練	11月29日 11月30日	埼玉県新座市 陸上自衛隊 朝霞訓練場	7人	大規模地震を想定した実践的な救助訓練及び野営訓練を実施

3 救助関係主要機械器具等一覧表

(平成25年4月1日現在)

用途	一般救助用								重量物排除用			
名称	かぎ付はしこ	三連はしこ	ワイヤーはしこ	空気式救助マット	救命索発射銃	救助縛帯	サバイバースリング	平担架	マンホール救助器具	救助用簡易起重機	(スプレッター) 油圧救助器具	救助用油圧ジャッキ
数量	7	15	2	1	3	19	6	20	2	1	2	2
用途	重量物排除用				切断用							
名称	可搬式ウィンチ	マット型空気ジャッキ	チェーンブロック	油圧救助器具 (カッター)	エアソー	エンジンカッター	電動カッター	酸素溶断機	チェーンソー	鉄筋カッター		
数量	7	3	1	5	3	23	1	2	31	15		
用途	測定用				破壊用			呼吸保護用				
名称	複合ガス検知器 (酸素濃度測定器含む)	放射能測定器 (ポケット型含む)	有毒ガス測定器	マルチガスモニター ポケット型	可燃性ガス警報器	削岩機	ハンマードリル	空気呼吸器	酸素呼吸器	簡易呼吸器	防毒マスク	
数量	10	49	3	7	8	2	2	84	2	2	57	
用途	隊員保護用											
名称	送排風機一式	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱防護服	放射能防護服	陽圧式化学防護服	化学防護服	防毒衣		
数量	7	27	15	15	19	6	10	20	79	4		
用途	水難救助用				画像探索機				その他			
名称	潜水器具一式	救命胴衣	救命ボート	船外機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	ファイバースコープ型	画像探索機 型	除染設備一式	ワンタッチテント	エアータント	
数量	10	59	4	5	3	1	1	5	1	5	3	

# 消防団と古式消防保存会





昭和14. 1. 24	勅令（第20号）により「警防団令」が発令された。この令により各町村の警防団は4月1日から発足することになり、明治27年勅令に基づく「消防組規制」によって誕生し、さらに発展してきた各町村の消防組も「消防組規制」の廃止とともに「防空、水火災消防その他の警防に従事」する警防団に改組され、戦時体制に協力することになる
昭和22. 4. 30	勅令（第185号）「消防団令」が制定公布され、従来の警防団は廃止
昭和22. 12. 23	法律（第226号）「消防組織法」が施行され、従来、警察に属していた消防は完全に分離独立し、消防は市町村の責任に移り、市町村長がこれを管理することになる
昭和30. 2. 1	町村合併促進法に基づき、厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村を合併して厚木市が発足、同時に厚木市消防団を設置 初代消防団長 木下信勝 氏就任 (1) 組織 団長以下613名（12個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 21台 手引動力ポンプ 6台
昭和30. 7. 8	依知村、相川村を合併、これらの消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下865名（16個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 34台 手引動力ポンプ 8台
昭和31. 8. 15	2代目消防団長 新戸裕治 氏就任
昭和31. 9. 30	荻野村を合併、荻野村消防団を厚木市消防団に統合 (1) 組織 団長以下975名（18個分団） (2) 設備 消防ポンプ自動車 4台 小型動力ポンプ 39台 手引動力ポンプ 8台
昭和32. 6. 11	消防団員等公務災害補償責任共済に加入
昭和33. 2. 1	3代目消防団長 山本総三郎 氏就任
昭和33. 4. 1	4代目消防団長 向島孝秋 氏就任 組織改革により団長以下1,010名とする
昭和35. 4. 1	常備隊発足計画により消防団の縮小を実施 (1) 組織 団長以下618名（18個分団）
昭和37. 1. 7	消防団と消防常備隊の出初め式を厚木市総合グラウンドで挙行
昭和39. 4. 1	消防団組織改革により団長以下555名（8個分団） 中型消防自動車2台、オート三輪車搭載可搬ポンプ3台を新たに配置し、少数精鋭とした
昭和39. 6. 30	消防団員退職報償金支給責任共済に加入
昭和40. 10. 17	第1回消防団員家族慰安会を実施
昭和46. 6. 1	消防団の組織改革を実施 (1) 組織 8個分団 52個部 団長以下564名
昭和49. 10. 12	第1回消防団分団別対抗ソフトボール大会を実施

昭和51. 4. 1	5代目消防団長 吉村博 氏就任
昭和53. 4. 29	元副団長 平井實 氏 昭和53年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 4. 29	元分団長 片倉三衛 氏 昭和55年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和55. 7. 30	第1回消防団員健康診断を実施
昭和55. 8. 1	消防団出動区分の見直しを実施
昭和56. 4. 1	消防団員福祉共済に加入
昭和56. 4. 29	元分団長 井上泰一 氏 昭和56年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
昭和57. 4. 1	6代目消防団長 小泉阿栗 氏就任
昭和57. 11. 3	元団長 吉村博 氏 昭和57年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和59. 4. 1	7代目消防団長 小瀬村初男 氏就任
昭和59. 10. 24	消防団再編成小委員会を設置し、今後の消防団組織を検討
昭和60. 8. 11	第1回厚木市消防団消防操法大会を実施
昭和61. 9. 1	第7回6都県市合同防災訓練開催
昭和62. 4. 29	元副団長 飛川正春 氏 昭和62年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
昭和63. 4. 1	消防団再編成小委員会の答申に基づき消防団組織を改正し、本部付団員を解消し各分団へ再配置した
昭和63. 11. 3	8代目消防団長 和田美正 氏就任 元分団長 大塚喜代忠 氏 昭和63年秋の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成元. 11. 3	元分団長 浅岡昭二 氏 平成元年秋の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成2. 10. 14	第1回厚木市消防団員家族運動会を実施
平成3. 4. 29	元分団長 堀池勲 氏 平成3年春の消防関係生存者叙勲 勲七等青色桐葉章を賜る
平成3. 8. 13	9代目消防団長 関野靖穂 氏就任
平成3. 8. 26	厚木市消防団訪中(揚州市)
平成4. 9. 27	厚木市消防団訪中(揚州市)
平成5. 4. 29	元団長 小泉阿栗 氏 平成5年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成6. 4. 1	10代目消防団長 萩原隆行 氏就任
平成6. 4. 29	元分団長 成瀬佳三 氏 平成6年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成7. 4. 29	元分団長 坂本榮一 氏 平成7年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る
平成9. 4. 29	元団長 関野靖穂 氏 平成9年春の消防関係生存者叙勲 勲六等単光旭日章を賜る
平成11. 4. 29	元分団長 青木鐵雄 氏 平成11年春の消防関係生存者叙勲 勲六等瑞宝章を賜る

平成14. 4 . 1	11代目消防団長 森久保純生 氏就任
平成15. 1 . 22	携帯電話の電子メール活用による災害情報配信運用開始
平成15. 3	服制準則に準拠した冬作業服の更新
平成15. 2 . 7	日本消防協会特別表彰「まとい」受章
平成15. 12	団活動環境の改善として防寒衣を新規導入
平成16. 12 . 16	団活動環境の改善として防火帽を更新
平成17. 4 . 1	女性消防団員任用のため厚木市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例を施行し、定員を579人に改定するとともに、60歳定年制を導入
平成17. 7 . 1	本市初の女性消防団員任用（20名）
平成17. 11 . 20	市制50周年記念 第1回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成18. 2 . 24	消防団地域活動表彰受賞
平成18. 4 . 1	12代目消防団長 森屋昭一 氏就任
平成18. 4 . 29	元副分団長 北條正博 氏 平成18年春の消防関係生存者叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成18. 11 . 19	第2回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成19. 11 . 18	第3回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成20. 4 . 1	下川入第1・2・3自治会が睦合北地区自治会連絡協議会から依知北地区自治会連絡協議会へ所属が変更となったことに合わせて、厚木市消防団第3分団第6部を第2分団第10部に変更
平成20. 11 . 16	第4回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成21. 11 . 15	第5回あつぎ消防フェスティバルを開催
平成22. 1 . 18	元副分団長 井上一男 氏 死亡叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22. 3 . 1	総務省消防庁から消防団救助資機材搭載型車両1台を無償で借り受ける
平成22. 4 . 1	13代目消防団長 堀池春夫 氏就任
平成22. 11 . 3	元消防団長 萩原隆行 氏 秋の叙勲 瑞宝単光章を賜る
平成22. 11 . 7	あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成23. 4 . 1	厚木市消防団協力事業所表示制度を制定
平成23. 11 . 6	第2回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成24. 11 . 9	厚木市消防団協力事業所表示証交付式を挙行
平成24. 11 . 11	第3回あつぎ消防団ふれあい広場を開催
平成25. 4 . 29	元副分団長 小泉勝敏 氏 春の叙勲 瑞宝単光章を賜る



## 2 消防団事務

### (1) 公務災害補償

平成 24 年度中の補償状況 消防団員 0 人

### (2) 退職消防団員に対する報償

平成 24 年度中の退職消防団員は 6 人であり、5 年以上勤務の退団者 2 人に、退職報償金と感謝状を、5 年未満勤務の退団者 4 人には、礼状と記念品をそれぞれ贈り、その労をねぎらいました。

### (3) 表彰

ア	消防庁長官	
	永年勤続功労章	1 人
イ	神奈川県知事	
	勤続章(30年)	4 人
	勤続章(20年)	12 人
ウ	厚木市消防団長	
	功績表彰	43 人
	功労表彰	8 人
	分団表彰	1 分団
	部表彰	7 個部
エ	日本消防協会長	
	竿頭綬	厚木市消防団
	精績章	2 人
	勤続章(30年)	4 人
オ	神奈川県消防協会長	
	功績章	6 人
	勤続章(20年)	12 人
カ	厚木市表彰条例に基づく表彰	
	一般表彰	32 人

### (4) 消防団員教養訓練等

消防団幹部研修	1 人(6月)
消防団副団長研修	1 人(7月)
女性消防団員等研修	2 人(9月)
正副消防団長研修会	3 人(10月)
消防団分団長特別研修	1 人(10月)
団員指導員研修	1 人(10月)
団指導者講習(県消防学校)	8 人(11月)
団員幹部地震対策特別講習	3 人(12月)
団員専科教育「機関科」	7 人(1月)

### 3 福利厚生

#### 消防団員健康診断

過酷な消防業務に携わる団員の日常における健康状態を把握するため、35歳以上の自営業等に携わる団員を対象とした健康診断（診察、身体計測、尿検査、血液検査、心電図、胸部レントゲン）を平成24年8月に実施した。

受診者 76人

### 4 消防操法

#### 第48回神奈川県消防操法大会

実施日	平成24年7月24日（火）
実施場所	神奈川県消防学校屋外訓練場
成績	小型ポンプ操法の部 優良賞 第3分団



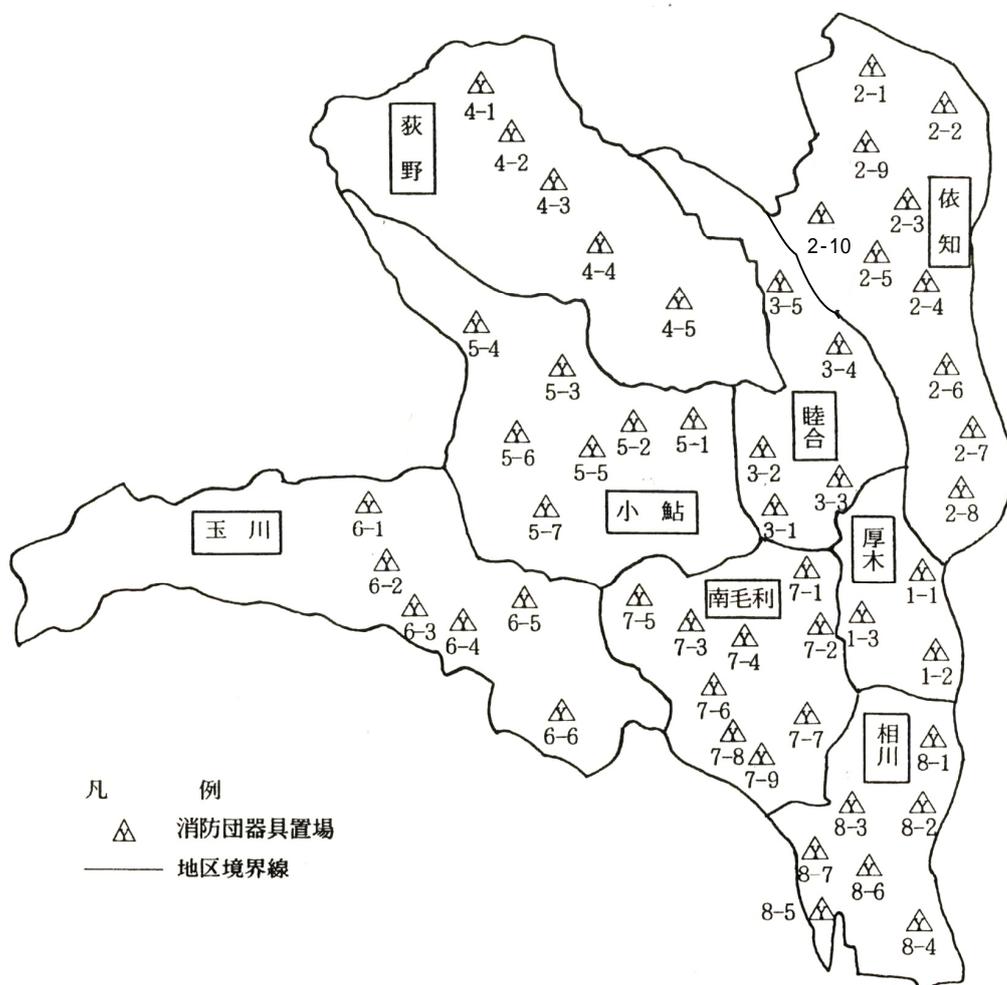
## 5 消防団組織と現勢

消防団員 ..... 定員579名、実員561名  
 団・分団・部数 ..... 1団、8個分団、52個部  
 小型動力ポンプ付積載車 ..... 52台

(平成25年4月1日現在)

階級と実員								ポンプ台数	
団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	団員	計	消防ポンプ自動車	積載小型動力ポンプ付
1	2	8	8	52	52	438	561	-	52
消防団本部	女性消防団員	1	2	-	-	-	10	13	-
第1分団 (厚木地区)	3個部	-	-	1	1	3	3	35	43
第2分団 (依知地区)	10個部	-	-	1	1	10	10	78	100
第3分団 (睦合地区)	5個部	-	-	1	1	5	5	42	54
第4分団 (荻野地区)	5個部	-	-	1	1	5	5	41	53
第5分団 (小鮎地区)	7個部	-	-	1	1	7	7	55	71
第6分団 (玉川地区)	6個部	-	-	1	1	6	6	49	63
第7分団 (南毛利地区)	9個部	-	-	1	1	9	9	72	92
第8分団 (相川地区)	7個部	-	-	1	1	7	7	56	72

## 6 消防団施設配置図



## 7 産業別消防団員調

(平成25年4月1日現在)

区分 総数等	農	林	水	鉱	建	製	飲食店・小売業・卸売業	金	不	運	電	サ	公	そ
	業	業・狩猟業	産養殖業	業	設業	造業		融・保険業	動産業	輸・通信業	気・ガス・水道業	ービス業	務	の他
561	22	-	-	1	85	104	54	43	10	33	16	75	71	47
(率)	3.9	-	-	0.2	15.2	18.5	9.6	7.7	1.8	5.9	2.9	13.4	12.7	8.4

## 8 消防団員退職状況

区分 年度別	計	在職年数						
		5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
17	103	24	24	32	10	6	5	2
18	9	2	6	-	-	-	1	-
19	106	30	30	34	10	2	-	-
20	9	7	1	1	-	-	-	-
21	84	20	22	25	10	4	2	1
22	10	3	6	-	-	1	-	-
23	75	18	20	23	9	3	1	1
24	6	4	1	1	-	-	-	-

## 9 退職報償金年度別及び階級別支払状況

(単位：円)

年度別		19	20	21	22	23	24
区分							
団 長	人員	-	-	1	-	-	-
	金額	-	-	929,000	-	-	-
副 団 長	人員	-	-	-	-	-	-
	金額	-	-	-	-	-	-
分 団 長	人員	1	-	6	-	1	-
	金額	463,000	-	2,775,000	-	799,000	-
副分団長	人員	-	-	-	-	-	-
	金額	-	-	-	-	-	-
部 長	人員	28	1	27	2	11	-
	金額	6,963,000	233,000	6,885,000	308,000	2,916,000	-
副 部 長	人員	11	-	5	-	4	-
	金額	2,089,000	-	1,082,000	-	1,007,000	-
団 員	人員	36	1	25	5	41	2
	金額	6,444,000	144,000	4,230,000	935,000	8,591,000	377,000
合 計	人員	76	2	64	7	57	2
	金額	15,959,000	377,000	15,901,000	1,243,000	13,313,000	377,000

退職報償金は、5年以上在職し、消防団活動を続けて退職した場合に、その労苦に報いるため、支給することになっています。

## 10 階級別年齢調

(平成25年4月1日現在)

階 級 年 齢	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	長	団	分	長	部	長
合 計	561	100.0	1	2	8	8	52	52	438
20歳未満	1	0.2	-	-	-	-	-	-	1
20歳以上25歳未満	6	1.1	-	-	-	-	-	-	6
25歳以上30歳未満	29	5.2	-	-	-	-	-	-	29
30歳以上35歳未満	79	14.1	-	-	-	-	2	3	74
35歳以上40歳未満	117	20.9	-	-	-	1	12	13	91
40歳以上45歳未満	165	29.4	-	-	-	-	19	21	125
45歳以上50歳未満	87	15.5	-	-	2	2	12	10	61
50歳以上55歳未満	49	8.7	-	-	3	4	4	3	35
55歳以上	28	5.0	1	2	3	1	3	2	16
平 均	40.9	-	59.0	58.0	53.3	50.3	43.3	42.5	40.9

## 11 階級別勤務年数調

(平成25年4月1日現在)

階級 年数	合 計	比 率 (%)	団	副	分	副	部	副	団
			長	団 長	団 長	分 団 長	長	部 長	員
合 計	561	100.0	1	2	8	8	52	52	438
5 年 未 満	162	28.9	-	-	-	-	1	-	161
5 年 以 上 10 年 未 満	223	39.8	-	-	-	-	20	33	170
10 年 以 上 15 年 未 満	79	14.1	-	-	-	1	17	11	50
15 年 以 上 20 年 未 満	63	11.2	-	-	1	5	11	5	41
20 年 以 上 25 年 未 満	20	3.6	-	1	3	1	2	2	11
25 年 以 上 30 年 未 満	10	1.7	-	1	3	-	1	1	4
30 年 以 上	4	0.7	1	-	1	1	-	-	1
平 均	8.2	-	31.0	24.0	24.8	17.8	11.9	9.8	7.0

## 12 消防団員年度別公務災害発生状況

年 度 別	区 分	負 傷 時 の 状 況									治 療 期 間		
		総 数	火 災	水 災	訓 練	特 別 警 戒	点 検 整 備	警 防 調 査	救 急	そ の 他	1 週 間 未 満	1 ヶ 月 未 満	1 ヶ 月 以 上
19	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-
20	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
21	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	3	1	-	2	-	-	-	-	-	2	1	-
22	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	2
23	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
24	死 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	負 傷 者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### 13 消防団員報酬

(平成25年4月1日現在)  
(単位：円)

階級 報酬	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	副部長	団員
年額	115,000	100,500	80,500	54,500	49,500	40,500	39,500

### 14 消防団員費用弁償

(平成25年4月1日現在)  
(単位：円)

種別	火災	水防	その他の災害	警戒	訓練
出動1回につき	3,400	3,400	3,400	2,700	2,700

### 15 消防団出動状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

区分	出動別	合計	火災	風水害	訓練・演習	特別警戒等	その他	管外応援
	計	件数	260	73	1	78	62	44
	人員	6,711	1,374	12	1,545	2,678	1,084	18
本団	件数	45	25	-	6	10	4	-
	人員	159	75	-	30	39	15	-
1分団	件数	25	6	-	3	6	10	-
	人員	722	170	-	80	215	257	-
2分団	件数	28	12	-	5	5	5	1
	人員	1,117	324	-	180	430	178	5
3分団	件数	64	7	-	43	6	8	-
	人員	1,151	84	-	580	284	203	-
4分団	件数	21	6	-	4	5	6	-
	人員	623	157	-	111	263	92	-
5分団	件数	28	4	-	6	15	2	1
	人員	725	130	-	134	408	40	13
6分団	件数	16	4	1	4	5	2	-
	人員	629	127	12	155	303	32	-
7分団	件数	20	6	-	4	5	5	-
	人員	1,006	244	-	145	388	229	-
8分団	件数	13	3	-	3	5	2	-
	人員	579	63	-	130	348	38	-

災害件数については、1災害に対して複数の分団が出動している災害も含んでいます。

16 消防団施設一覽表

(平成25年4月1日現在)

器 具 置 場								ホ ー ス 乾 燥 塔						
分団	部	所在地	延(占有)面積(m <sup>2</sup> )	器具置場面積(m <sup>2</sup> )	待機室面積(m <sup>2</sup> )	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線
1	1	東町8-10	83.19	29.25	53.94	昭和58年3月	鉄骨造2階 カラー石綿スレート葺	東町8-10	鉄骨	1	13	昭和58年3月	有	無
	2	旭町3-14-4	53.98	30.00	23.98	平成5年3月	鉄筋コンクリート造 1階の一部	旭町3-14-4	鉄骨	1	12	平成5年3月	有	無
	3	水引1-1-3	78.00	39.00	39.00	平成17年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	水引1-1-3	鋼管	1	12	平成17年2月	有	無
2	1	上依知290-2	50.92	28.98	21.94	昭和61年10月	木造平屋 カラー鉄板葺	上依知290-2	コンクリート	1	12	昭和61年10月	有	無
	2	猿ヶ島199-2	47.78	28.13	19.65	昭和60年2月	木造平屋 カラー鉄板葺	猿ヶ島83-2	鉄骨	4	13	昭和35年7月	有	有
	3	山際982-2	49.89	27.41	22.48	昭和60年11月	鉄骨造2階 複合施設	山際982-2	コンクリート	1	12	昭和60年11月	有	無
	4	関口31	76.23	36.12	40.11	平成16年3月	鉄骨造2階 複合施設	関口31	コンクリート	1	12	平成16年3月	有	無
	5	関口305-4	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	関口305-4	コンクリート	1	12	昭和61年8月	有	有
	6	中依知661-6	57.96	28.98	28.98	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中依知661-6	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	無
	7	下依知902	48.02	24.84	23.18	昭和63年3月	木造2階 カラー鉄板葺	下依知902	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有
	8	金田685-3	50.51	28.98	21.53	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	金田685-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	有
	9	山際805-4	100.80	45.00	55.80	平成12年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	山際805-4	コンクリート	1	12	平成12年1月	有	無
	10	下川入1366-3	66.24	33.12	33.12	平成4年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	下川入1366-3 下川入1005-3	コンクリート 鉄骨	1 4	12 15	平成4年3月 昭和30年4月	有 有	無 有
3	1	林3-8-52	92.75	34.43	58.32	平成2年2月	鉄骨造2階 カラー石綿コロニアル葺	林3-8-52	鋼管	1	12	平成15年9月	有	無
	2	及川473-3	73.71	35.65	38.06	平成10年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	及川473-3	コンクリート	1	12	平成10年2月	有	有
	3	妻田西2-6-16	79.92	38.88	41.04	平成18年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	妻田西2-6-16	鋼管	1	12	平成18年12月	有	無
	4	三田2727-2	75.60	37.80	37.80	平成21年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	三田2727-2	鋼管	1	12	平成21年12月	有	無
	5	棚沢1593-6	75.75	34.97	40.78	平成13年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	棚沢1593-6	コンクリート	1	12	平成13年2月	有	有

		器 具 置 場				ホ ー ス 乾 燥 塔								
分 団	部	所 在 地	延(占有)面積(m <sup>2</sup> )	器具置場面積(m <sup>2</sup> )	待機室面積(m <sup>2</sup> )	設置年月	構 造	所 在 地	構 造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線
4	1	上荻野1325-2	52.92	26.46	26.46	平成3年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	上荻野1325-2	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無
	2	上荻野1203-2	43.05	23.18	19.87	昭和59年3月	木造2階 カラー鉄板葺	上荻野1203-2	コンクリート	1	12	昭和59年3月	有	無
	3	上荻野36-1	43.05	23.18	19.87	昭和59年3月	木造2階 カラー鉄板葺	上荻野1-2	鉄 骨	4	12	昭和47年3月	無	有
	4	中荻野743-7	93.57	48.03	45.54	平成2年3月	木造2階 カラー石綿スレート葺	中荻野743-7	コンクリート	1	12	平成2年3月	有	有
	5	下荻野773-2	72.78	34.90	37.88	平成8年12月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	下荻野773-2	コンクリート	1	12	平成8年12月	有	無
5	1	飯山272-5	80.40	40.20	40.20	平成3年3月	木造2階 石綿スレート葺	飯山272-5	コンクリート	1	12	平成3年3月	有	無
	2	飯山1228-3	46.37	26.50	19.87	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山1228-3	コンクリート	1	12	昭和62年3月	有	無
	3	飯山4586-5	44.30	25.96	18.34	昭和61年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	飯山4586-5	コンクリート	1	12	昭和61年3月	有	有
	4	飯山5100-1	53.80	26.90	26.90	昭和62年8月	木造2階 カラー鉄板葺	飯山5100-1	鉄 骨	4	12	昭和44年1月	有	有
	5	飯山3141-9	79.50	34.78	44.72	平成2年1月	木造2階 石綿スレート葺	飯山3141-9	コンクリート	1	12	平成2年1月	有	無
	6	上古沢77-2	43.05	23.18	19.87	昭和59年2月	木造2階 カラー鉄板葺	上古沢77-2	コンクリート	1	12	平成11年2月	有	有
	7	下古沢328-1	45.95	23.18	22.77	平成元年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	下古沢328-1	コンクリート	1	12	平成元年3月	有	有
6	1	七沢1274	79.92	38.88	41.04	平成20年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	七沢1274	鋼 管	1	12	平成20年12月	有	無
	2	七沢1523-7	51.34	28.98	22.36	昭和59年2月	木造2階 カラー鉄板葺	玉 川 分 署 に 併 設						
	3	七沢199-8	76.33	26.08	50.25	平成元年2月	鉄骨一部木造2階 石綿スレート葺	七沢199-8	コンクリート	1	12	平成元年2月	有	無
	4	小野839-1外	83.72	41.86	41.86	平成9年2月	木造2階 亜鉛メッキ鋼葺	小野839-1	コンクリート	1	12	平成9年2月	有	無
	5	小野2161-1	53.82	28.98	24.84	昭和60年3月	木造2階 カラー鉄板葺	小野2161-1	コンクリート	1	12	昭和60年3月	有	有
	6	岡津古久878-1	47.96	24.78	23.18	昭和51年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	岡津古久879	鉄 骨	4	12	昭和45年3月	無	有

器 具 置 場							ホ ー ス 乾 燥 塔								
分団	部	所在地	延(占有)面積(m <sup>2</sup> )	器具置場面積(m <sup>2</sup> )	待機室面積(m <sup>2</sup> )	設置年月	構造	所在地	構造	脚数	高さ(m)	設置年月	サイレン	防災無線	
7	1	戸室2-5-17	60.48	30.24	30.24	平成4年3月	鉄骨造2階 石綿スレート葺	戸室2-5-17	コンクリート	1	12	平成4年3月	有	無	
	2	恩名3-4-25	48.86	28.99	19.87	昭和59年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	恩名3-4-25	コンクリート	1	12	昭和59年2月	有	無	
	3	温水西2-2-20	43.89	25.26	18.63	昭和47年11月	木造平屋 カラー鉄板葺	温水1681-1	鋼管	1	14.5	平成15年2月	有	有	
	4	温水612	49.68	24.84	24.84	昭和63年3月	鉄骨造2階 複合施設	温水612	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有	
	5	愛名36-8	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	愛名36-8	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無	
	6	長谷1574-3	43.92	24.16	19.76	昭和62年8月	鉄骨造2階 複合施設	南毛利分署に併設							
	7	船子1250-2	46.37	23.18	23.19	昭和63年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	船子1250-2	コンクリート	1	12	昭和63年12月	有	無	
	8	愛甲西1-3-5	75.92	34.39	41.53	平成11年1月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	愛甲西1-3-5	コンクリート	1	12	平成11年1月	有	有	
	9	愛甲東2-8-2	46.74	23.19	23.55	昭和62年9月	木造2階 カラー鉄板葺	愛甲東2-8-2	鉄骨	4	12	昭和50年3月	有	有	
8	1	岡田4-19-16	53.82	28.98	24.84	昭和59年10月	木造2階 カラー鉄板葺	岡田4-19-16	鉄骨	4	16	昭和41年2月	有	有	
	2	酒井2090-8	80.38	39.95	40.43	平成5年3月	木造2階 ガルバリウム鋼板葺	酒井2090-8	コンクリート	1	12	平成5年3月	有	無	
	3	酒井940-1	75.67	37.17	38.50	平成14年2月	鉄骨造2階 カラー鉄板葺	酒井940-1	コンクリート	1	12	平成14年2月	有	無	
	4	戸田1202-3	62.10	33.12	28.98	平成6年3月	木造平屋 亜鉛メッキ葺	戸田1202-3	コンクリート	1	12	平成6年3月	有	有	
	5	長沼160-2	46.37	23.19	23.18	昭和62年3月	木造平屋 カラー鉄板葺	長沼160-2	コンクリート	1	12	昭和63年3月	有	有	
	6	下津古久716-3	48.02	26.49	21.53	昭和61年12月	木造平屋 カラー鉄板葺	下津古久716-3	コンクリート	1	12	昭和61年12月	有	無	
	7	上落合555-2	81.14	39.89	41.25	平成17年12月	鉄骨造2階 ガルバリウム鋼板葺	上落合555-2	鋼管	1	12	平成17年12月	有	無	

# 17 消防団車両保有状況

(平成25年4月1日現在)

分団	部	車両番号	型式	購入年月	ポンプ性能		
					社名	馬力	級別
1	1	相模800す5003	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す5004	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800さ1674	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
2	1	相模800す866	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模88た7372	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	3	相模88た5310	ニッサン GB-SK2F23	平成8年12月	トーハツ	37	B 3
	4	相模800す4185	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800さ3972	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ9166	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	7	相模88た7371	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	8	相模800さ1675	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800す1890	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	10	相模800す1891	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
3	1	相模800す867	ニッサン TC-SH4F23	平成17年3月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800す5755	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5761	ニッサン PDG-SZ5F24	平成22年2月	マキタ沼津	43	B 2
	4	相模800さ3973	ニッサン GE-SH4F23	平成13年1月	トーハツ	46	B 3
	5	相模800す4186	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
4	1	相模800さ6011	ニッサン KG-SR8F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800さ7546	ニッサン GE-SH4F23	平成15年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模800さ1676	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模88た7374	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	5	相模88た9465	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	購 入 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
5	1	相模800す1892	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	62	B 2
	2	相模800さ9167	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	3	相模88た9464	ニッサン GB-SK4F23	平成11年1月	トーハツ	40	B 3
	4	相模800す7818	ニッサン CBF-SQ2F24	平成25年3月	トーハツ	30	B 3
	5	相模800す605	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6012	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800す5756	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
6	1	相模800す5005	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800す4187	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800さ7116	ニッサン KG-SR8F23改	平成14年9月	トーハツ	46	B 3
	4	相模88た5311	ニッサン GB-SK2F23	平成8年12月	トーハツ	37	B 3
	5	相模88た7373	ニッサン GB-SK2F23	平成9年12月	トーハツ	33	B 3
	6	相模800す604	ニッサン TC-SH4F23	平成16年12月	トーハツ	46	B 3
7	1	相模800す1893	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	2	相模800す5757	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	3	相模800す5006	ニッサン CBF-SQ2F24	平成21年2月	トーハツ	30	B 3
	4	相模88た3618	ニッサン GB-SK2F23改	平成8年1月	トーハツ	33	B 3
	5	相模800す3118	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800さ6013	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	7	相模800さ9168	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3
	8	相模800さ1677	ニッサン GE-SH4F23	平成12年1月	トーハツ	40	B 3
	9	相模800さ9102	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

分団	部	車 両 番 号	型 式	購 入 年 月	ポ ン プ 性 能		
					社 名	馬 力	級 別
8	1	相模800す4188	ニッサン CBF-SQ2F24	平成20年2月	トーハツ	30	B 3
	2	相模800さ6014	ニッサン GE-SH4F23	平成14年1月	トーハツ	46	B 3
	3	相模88た3619	ニッサン GB-SK2F23改	平成8年1月	トーハツ	33	B 3
	4	相模800す3119	ニッサン TC-SH4F23	平成18年12月	トーハツ	62	B 2
	5	相模800す1894	ニッサン TC-SH4F23	平成17年12月	トーハツ	46	B 3
	6	相模800す5758	ニッサン CBF-SQ2F24	平成22年2月	トーハツ	30	B 3
	7	相模800さ9169	ニッサン GE-SH4F23	平成15年12月	トーハツ	46	B 3

小型動力ポンプ付積載車 5 2 台

## 18 水防・資材倉庫施設一覧表

(平成25年4月1日現在)

名 称		所 在 地	延(占有) 面積(m <sup>2</sup> )	設 置 年 月	構 造
水 防 倉 庫	厚木水防倉庫	旭町3丁目14番4号	16.56	平成5年3月	鉄筋コンクリート
	依知水防倉庫	中依知661番6	26.50	平成2年3月	木造カラー石綿葺
	林水防倉庫	林3丁目1567番先	33.12	昭和54年4月	木造亜鉛葺
	睦合水防倉庫	三田2727番地2	29.40	平成21年12月	鉄骨造ガルバリウム鋼板葺
	荻野水防倉庫	上荻野1203番地2	34.78	昭和59年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	小鮎水防倉庫	飯山1433番地1	33.12	昭和57年3月	木造亜鉛葺
	玉川水防倉庫	小野2161番地	39.74	昭和60年3月	木造カラー鉄板瓦棒葺
	南毛利水防倉庫	温水612番地	31.05	昭和63年3月	鉄骨造
	相川水防倉庫	戸田366番地1	45.54	昭和63年1月	鉄骨造
資 材 倉 庫	関口資材倉庫	関口31番地	100.00	平成16年3月	鉄骨造カラー鉄板
	毛利台資材倉庫	毛利台1丁目28番8号	31.10	昭和62年12月	鉄骨造炭酸マグネシウム板
	荻野資材倉庫	下荻野1071番地4	39.74	昭和58年3月	プレハブ平屋造カラー鉄板

# 厚木鳶職組合 古式消防保存会

## 1 古式消防保存会のあゆみ

厚木市鳶職組合によって創設された古式消防保存会は、惜しまれる古式消防のしきたりを後継者に引継ぎ、消防昔日の姿を保存することを目的に、昭和45年5月9日に会員59人を以て結成された。

現在は、年頭における消防出初め式をはじめ、各種福祉施設等に出向き、木遣り歌、はしご乗りの勇姿を披露、大勢の方々から大きな期待が寄せられている。

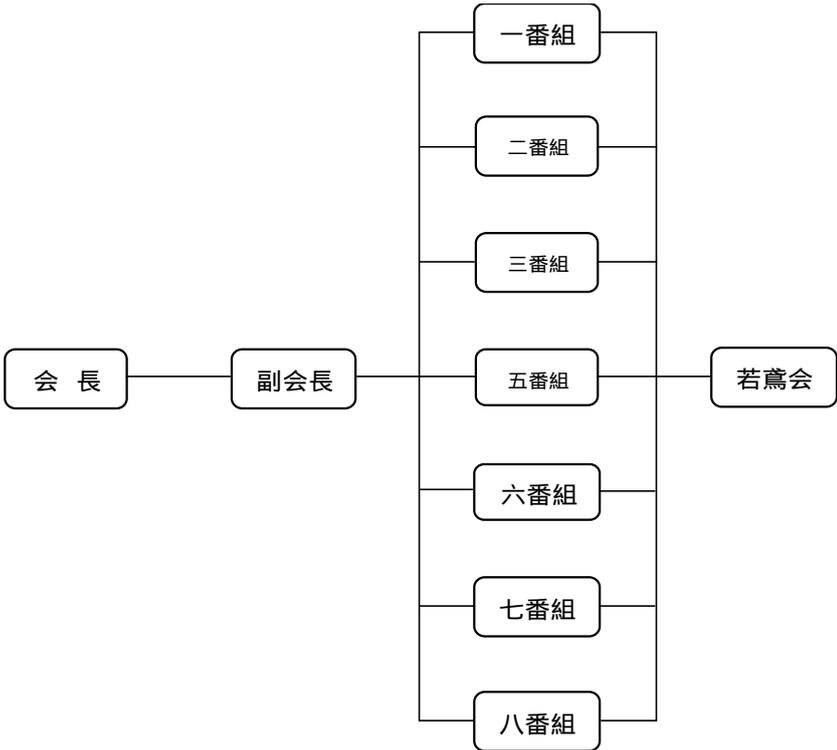
古式消防保存会歴代会長

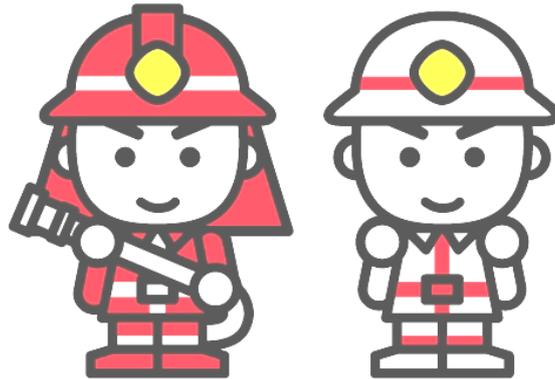
就任日	会 長 名		
昭和45. 5 . 9	初代会長	飯島 正治	氏
昭和49. 3 . 15	2代目会長	石井 倉造	氏
昭和53. 4 . 1	3代目会長	桐生 高雄	氏
平成元. 4 . 1	4代目会長	井上 忠雄	氏
平成3. 4 . 1	5代目会長	小池 高利	氏
平成5. 4 . 1	6代目会長	加藤 邑夫	氏
平成7. 4 . 1	7代目会長	小池 高利	氏
平成13. 4 . 1	8代目会長	中村 直二	氏
平成17. 4 . 1	9代目会長	栗原 幸男	氏
平成25. 4 . 1	10代目会長	森屋 知之	氏



厚木鳶職組合は、昭和39年に初代組合長である内田石松氏と組合員19人で結成された。その後、2代目組合長として関野保治氏（昭和41年就任）、3代目組合長として森屋種治氏（昭和43年就任）が組織の拡大に尽力を注ぎ、4代目組合長として飯島正治氏（昭和45年就任）が就任した際に、古式消防保存会が創設された。

## 2 組織図





平成 25 年版

## 消 防 年 報

平成 25 年 8 月

編集発行 厚木市消防本部 消防総務課消防総務係  
神奈川県厚木市寿町 3 丁目 4 番 10 号  
電話 046-223-9366(直通)  
FAX 046-223-8251  
[http : //www.city.atsugi.kanagawa.jp](http://www.city.atsugi.kanagawa.jp)

表紙の写真は、北消防署睦合分署消防ポンプ自動車  
(平成 25 年 3 月 19 日更新)

# 消すまでは 心の警報 ONのまま

(平成 25 年度 全国統一防火標語)

